

四街道市子どもの生活状況調査

調査結果報告書

令和6年3月

四街道市 健康こども部 子育て支援課

目 次

	頁
I 調査の概要.....	1
II 保護者の生活状況編.....	4
1. 保護者回答者の基本属性.....	4
①保護者と子どもの関係.....	4
②お住まいの学区.....	5
③家族人数.....	6
④家族構成・兄弟姉妹の人数（参考掲載）.....	7
⑤ケア等を必要とする家族の有無.....	8
⑥婚姻状況.....	9
⑦養育費の状況.....	9
2. 経済的な状況や暮らしの状況について.....	10
①世帯全体の年間収入.....	10
②等価世帯収入.....	11
③経済的状況への感じ方.....	13
④食料が買えなかった経験.....	14
⑤栄養バランスを考えた食事を用意できなかった経験.....	15
⑥衣服が買えなかった経験.....	16
⑦料金未払いの経験.....	17
3. 保護者が最後に卒業・修了した学校.....	18
4. 就労の状況について.....	19
①親の就労状況.....	19
②働いていない理由.....	20
5. 学校行事や地域行事等へ参加状況.....	21
6. 子どもとの関わり方について.....	22
7. 進学・進路について.....	24
①保護者が希望する子どもの進路.....	24
②現実的な子どもの進路.....	25
③現実的な進路の選択理由.....	26
8. 頼れる人について.....	28
①子育てに関する相談で頼れる人.....	28
②困ったときのお金の援助で頼れる人.....	30
9. 保護者の心理的な状態や幸福度について.....	32
①心理的状态の判定.....	32
②幸福感.....	34
10. 支援制度等の利用について.....	36
①各種支援制度の利用状況.....	36
②各種支援制度を利用していない理由.....	37
③各種施設やサービスの利用状況.....	40
④各種施設やサービスの今後の利用意向.....	42
11. 子どもにしていることや体験等について.....	45
①子どもにしていること.....	45
②過去1年間の体験.....	47
12. 子どもの成長にとって最も重要なこと.....	48

	頁
Ⅲ 子どもの生活状況編.....	50
1. 子ども回答者の基本属性.....	50
①性別.....	50
②身長・体重別.....	50
2. 学習や勉強、成績、授業理解の状況について.....	51
①授業以外での勉強方法.....	51
②授業以外の勉強時間.....	55
③成績への自己評価.....	58
④授業理解について.....	60
⑤わからなくなった時期.....	61
3. 進学希望や将来の目標について.....	62
①希望する進学先.....	62
②進学先選定理由.....	64
③夢や希望の有無.....	66
4. 諸活動への参加状況や習い事の実施状況について.....	68
①諸活動への参加状況.....	68
②参加していない理由.....	69
③習い事の実施状況.....	70
5. 食生活や日常生活等の状況について.....	71
①朝食や夕食、長期休暇時の昼食の摂食状況.....	71
②各種食物の摂取状況.....	72
③就寝状況.....	74
④自身にあてまること.....	75
6. 相談できると思う人について.....	77
7. 幸福感や子どもの心理的な状態、逆境体験について.....	79
①幸福感.....	79
②情緒の問題.....	80
③仲間関係の問題.....	82
④向社会性.....	84
⑤逆境体験.....	86
8. 各種施設や場所の利用について.....	88
①利用経験や利用意向.....	88
②利用したことによる状況の変化.....	89
9. 家族ケア（世話や家事）の状況について.....	90
①家族ケアの実施状況.....	90
②家族ケアの内容.....	91
③家族ケアの頻度.....	92
10. 自身で使用可能なもの等の所有について.....	93
Ⅳ 資料編（調査白票）.....	96

I 調査の概要

調査の目的・掲載内容について

「(仮称) 四街道市こども計画」を策定するにあたり、調査を行い、子どもの貧困に関する現状や課題、意識やニーズの分析を行うことにより、基礎資料とするために実施しました。

実施方法及び実施時期

調査は郵送配布、郵送回収方式で、令和5年12月1日～12月20日(調査票上の実施期間)に行いました。

調査対象及び有効回答数・有効回収率

調査対象(調査票種類)は以下の4種で行い、総計3,566件を配布し、総計1,628件の有効回答(有効回収率45.7%)がありました。

調査対象 (調査票種類)	配布数	有効回答数	有効回収率
①小学生の保護者 (小学5年生の保護者)	877	413	47.1%
②中学生の保護者 (中学2年生の保護者)	906	404	44.6%
③子ども (小学5年生)	877	412	47.0%
④子ども (中学2年生)	906	399	44.0%

※集計・分析にあたって

図表中の「n」とは回答者総数(または該当者質問での該当者数)のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。

数値(%)は単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないこともあります。

例：回答者総数3人で、「はい」：1人(33.3%)、

「いいえ」：1人(33.3%)、「無回答」：1人(33.3%)

の場合等、合計しても必ずしも100%とはなりません。

図表中の数値(%)の合計と分析文中の数値(%)の合計は、数値(%)を単位未満四捨五入している影響により一致しないことがあります。

複数回答の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えることがあります。

本文において、グラフ等の図や表中に掲載した内容のうち、5%水準で統計的に有意ではない結果については、割愛しています。

本文及びグラフ等の図や表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢があります。グラフ等の図中データラベルの表記については、視認性を鑑みて分析に影響のない範囲で非表示としている場合があります。

※グラフの種類について

円グラフ：全体に対する各項目の構成比を示す際に使います。

棒グラフ：棒の長短で数量（割合）の大小を比較します。

帯グラフ：全体に対する各項目の構成比を示す際に使います。異なる帯グラフを並べることで、項目の構成比の変化を捉えることができます。

※設問文章後の記号 (XX) について

(SA)：「単数回答、回答は1つのみ」の意味です。

(MA)：「複数回答、回答はいくつでも」の意味です。

(NA)：「数値回答、数値」での回答です。

(FA)：「自由回答、自由記述」での回答です。

※「等価世帯収入」に基づく世帯の年間収入の水準分類について

本報告書においては、世帯の年間収入の水準について、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も参照し、下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行いました。

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値としました。

例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とします。

なお、「1000万円以上」は1050万円としました。

○上記の値を、保護者票で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除しました。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類しました。

●等価世帯収入の中央値：325万円、等価世帯収入の中央値の2分の1：162.5万円

各データを等価世帯収入に基づき、下記の3層に分類後、結果の分析に資しました。

<中央値の2分の1未満> = 162.5万円未満

<中央値の2分の1以上中央値未満> = 162.5万円以上 325万円未満

<中央値以上> = 325万円以上

なお、本報告書の等価世帯収入の項において比較分析に用いている『内閣府の令和3年子供の生活状況調査』については、同様の分類を行っています。

『千葉県の子どもの生活実態調査（令和元年度）』については、低所得要素の他に2要素を加味した分類を行っています。

※「世帯構成」の分類について

本報告書において、<ふたり親世帯>、<ひとり親世帯>、<母子世帯>の分類については、保護者調査の「問6 親の婚姻状況」及び「問1 お子さんとの関係」の回答内容を優先しての分類を行いました。

※標本誤差と信頼度について

◆標本誤差と信頼度の概要

アンケート調査では、母集団から無作為に抽出した標本データを元に、調査対象の全体を推計するため、得られた回答に誤差が生じる可能性があります。その誤差は、標本誤差と呼ばれており、標本誤差の推定が 100 回のうち 95 回当たる、すなわちその度合いで正確さが保障できるとい場合、信頼度 95%と呼びます。

通常のアンケート調査の場合は、信頼度 95%を用いるのが一般的であり、許容できる標本誤差の範囲は、5%未満が望ましいとされています。

◆標本誤差の計算式

母集団が N 人、標本データが n 人、ある選択肢の回答値が P%とすると、信頼度 95%における、標本誤差 E%の計算式（母集団が 100,000 人以上の場合）は、下記の通りとなります。

$$E = 1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

◆本アンケート調査での標本誤差

本アンケート調査では、保護者、子どもそれぞれから 800 人程度の回答が得られており、例えば、ある選択肢の「はい」との回答値が 50%であった場合、標本誤差は約 3.5%となるため、母集団すなわち A 及び B の賛成率は、95%の確率で 46.5%(50%-3.5%)から 53.5%(50%+3.5%)の間にあると言えます。なお、標本誤差は、回答値が 50%の時に最も高く、回答率が 0%もしくは 100%に近づくほど減少します。

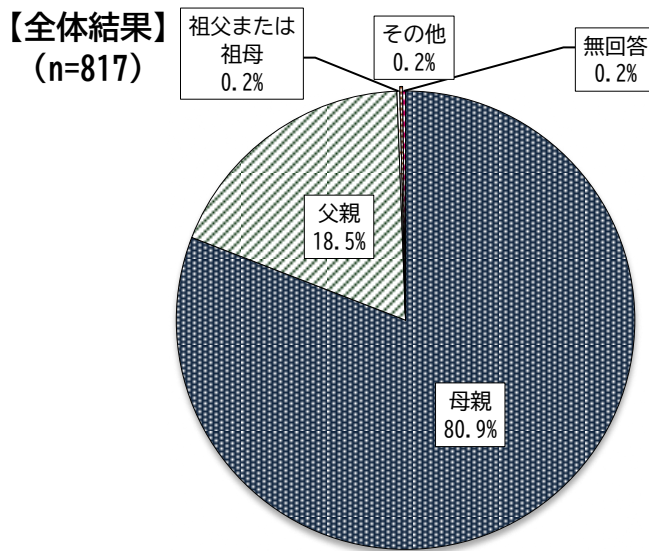
以上より、本アンケート調査では、各調査対象の全体像をみる場合、標本誤差が最大でも約 3.5%となり、許容できる標本誤差の範囲である 5%未満に収まるため、母集団に対し妥当な標本データ数を得ることができたと言えます。

Ⅱ 保護者の生活状況編

1. 保護者回答者の基本属性

①保護者と子どもの関係

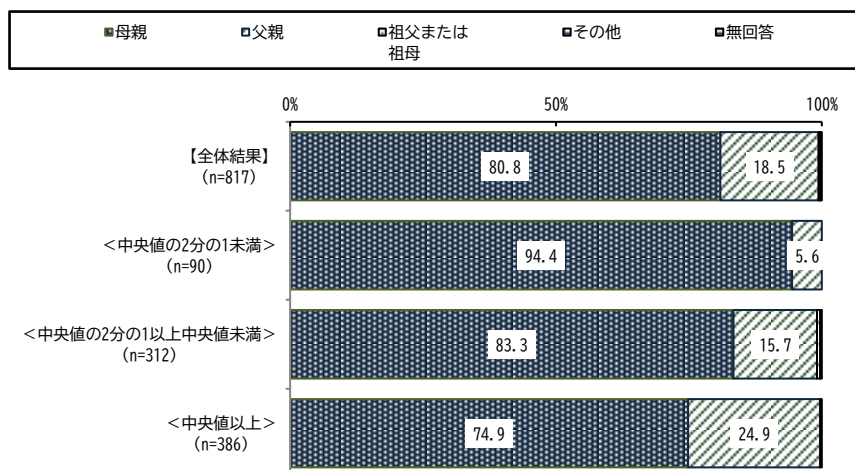
問 お子さんとあなたとの関係は、どれにあたりますか。お子さんからみた関係でお答えください。(SA)



【結果のサマリー】

「母親」からの回答が多数を占めています。

(等価世帯収入別にみた「保護者との関係」)



【特徴的な傾向や課題など】

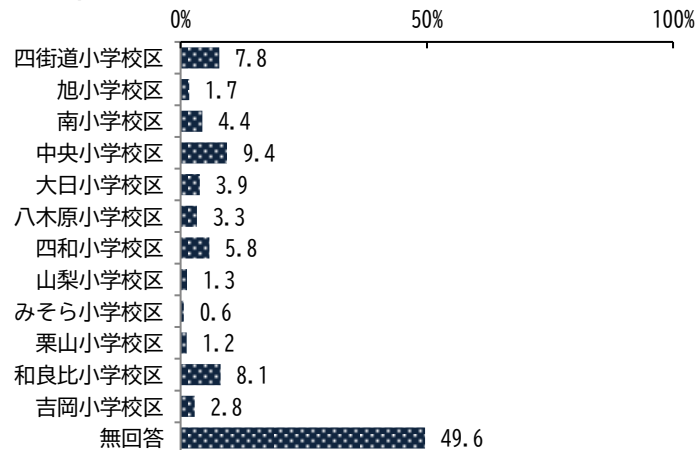
各世帯での役割分担にもよりますが、<等価世帯収入が低い層>（以降、<中央値の2分の1未満>のことをいう）では、特に「母親」からの回答が多くなっています。

②お住まいの学区

問 お子さんがお住まいの学区を教えてください。(SA)

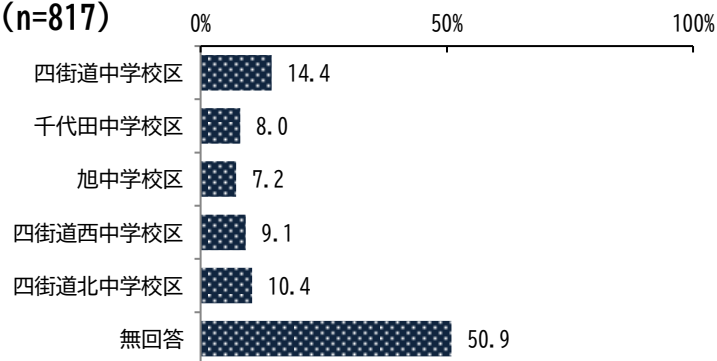
(小学生の保護者結果)

【全体結果】
(n=817)



(中学生の保護者結果)

【全体結果】
(n=817)



【結果のサマリー】

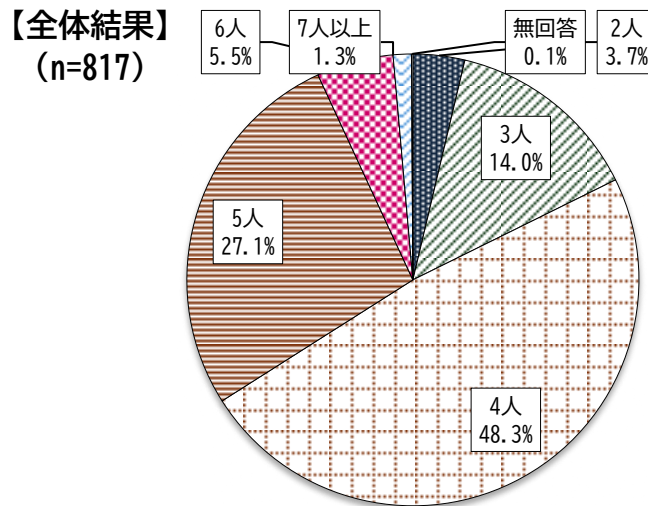
各調査対象別の分布は上図のとおりです。

【特徴的な傾向や課題など】

各調査対象とも、子どもの実人口構成比と大きな乖離はみられなく、市内全域より回答が寄せられていることが伺えます。

③家族人数

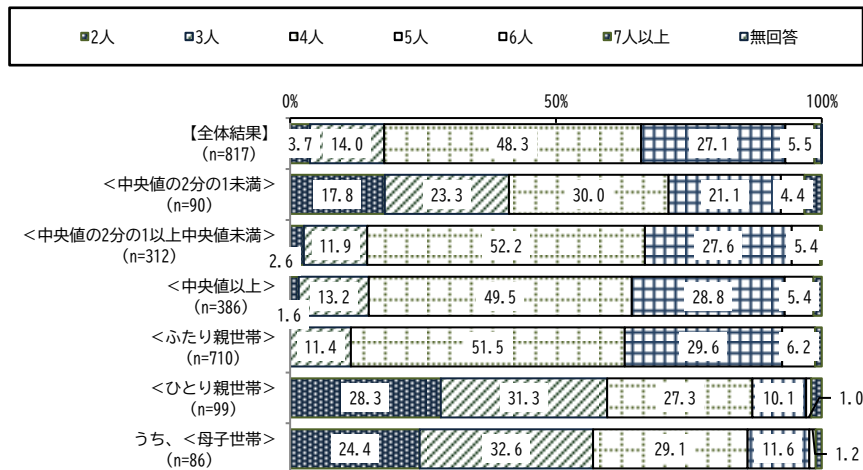
問 お子さんと生計を同一にしているご家族の人数（あなた、お子さんを含む）を教えてください。（SA）



【結果のサマリー】

全体では、「4人」が半数弱を占めています。

（等価世帯収入別・世帯構成別にみた「家族人数」）



【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>では、『2～3人』が4割を超えています。

<ひとり親>世帯では、『2～3人』が6割程度を占めています。

④家族構成・兄弟姉妹の人数（参考掲載）

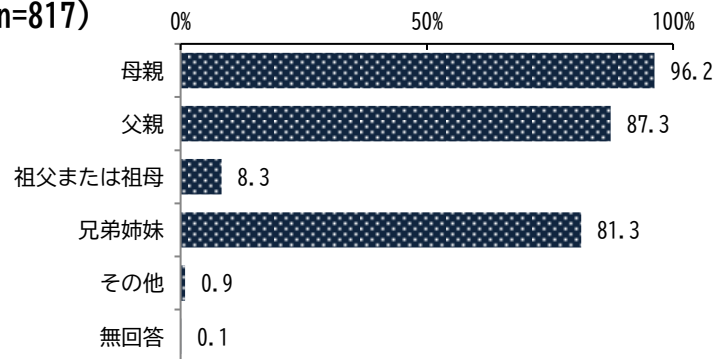
問 前問で回答した「ご家族」の構成を教えてください。お子さんからみた関係でお答えください。(SA)

問 兄弟姉妹の人数 ※お子さんを除いてお答えください。(NA)

(家族構成)

【全体結果】

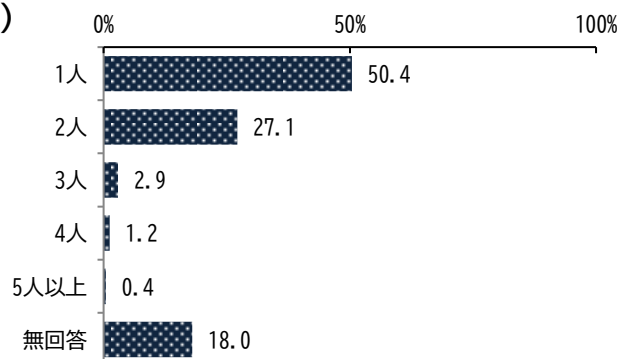
(n=817)



(兄弟姉妹の人数)

【全体結果】

(n=817)



【結果のサマリー】

家族構成と兄弟姉妹の人数分布は上図のとおりです。

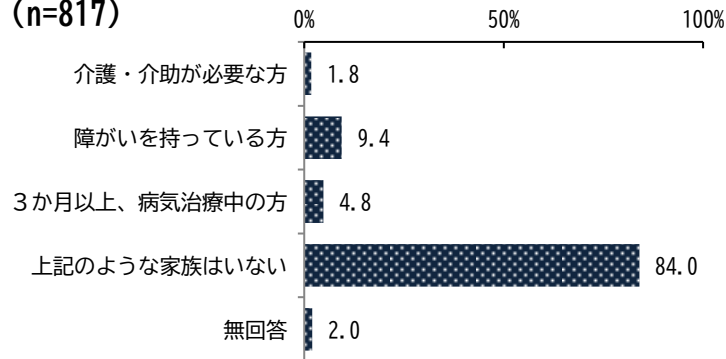
各調査対象とも、子どもとの関係ではなく、回答者自身からみた関係で回答したケースも含まれており、参考掲載にとどめます。

⑤ケア等を必要とする家族の有無

問 前問で回答した「ご家族」に、次のような方はいらっしゃいますか。(MA)

【全体結果】

(n=817)

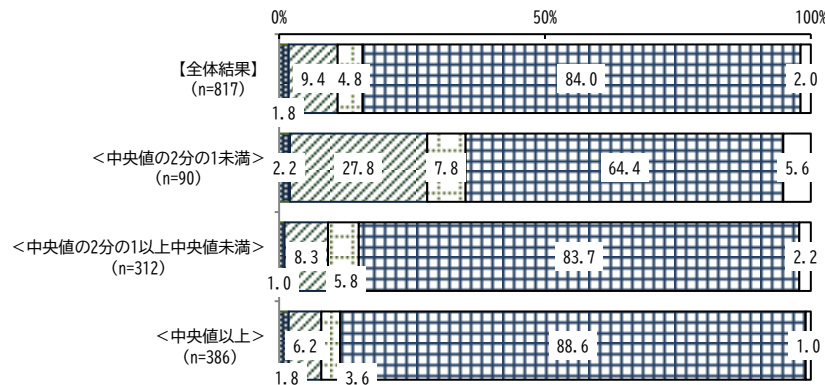


【結果のサマリー】

全体では、多数が「いない」としています。

(等価世帯収入別に見た「ケア等を必要とする家族の有無」)

■介護・介助が必要な方 □障がいを持っている方 □3か月以上、病気治療中の方 □上記のような家族はいない □無回答

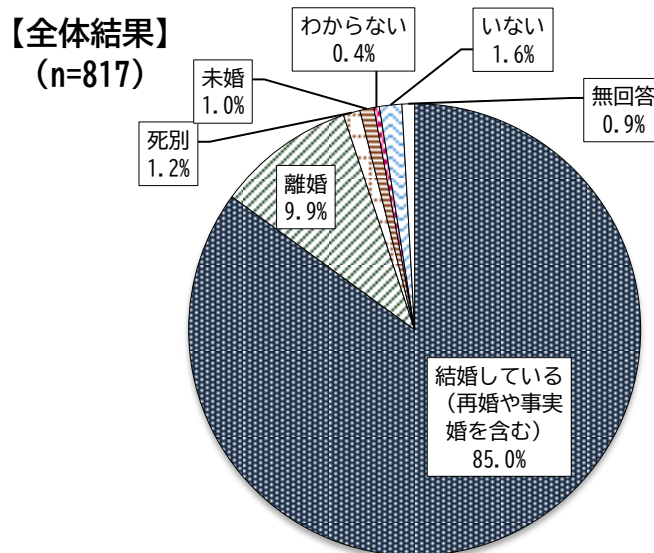


【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>では、「いない」とする比率が他層よりも低く、『何らかのケアを要する家族のいる』世帯が多いことがうかがえます。

⑥婚姻状況

問 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(SA)

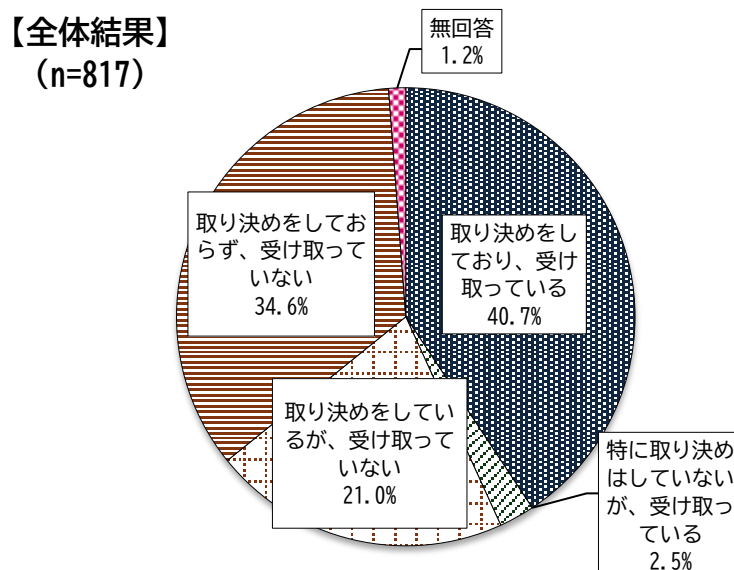


【結果のサマリー】

全体では、「離婚」は約1割です。

⑦養育費の状況

該当設問 前問で「2 離婚」と答えた方は、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。(SA)



【結果のサマリー】

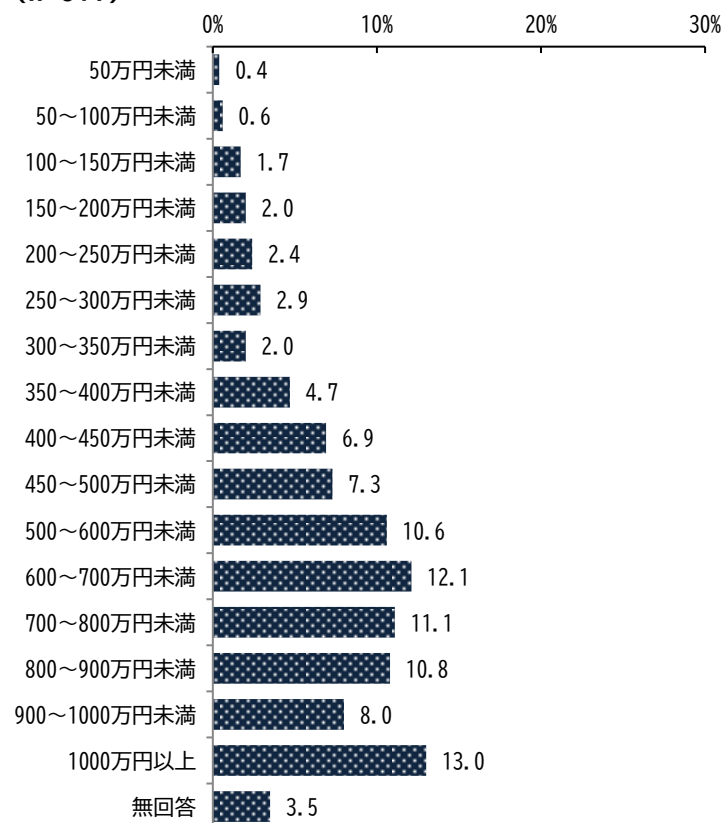
約3人に1人は「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答しています。

2. 経済的な状況や暮らしの状況について

①世帯全体の年間収入

問 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(SA)

【全体結果】 (n=817)



【結果のサマリー】

世帯全体の年間収入の分布は左図のとおりです。

「1000万円以上」が最も多く、「600～700万円未満」が続きます。

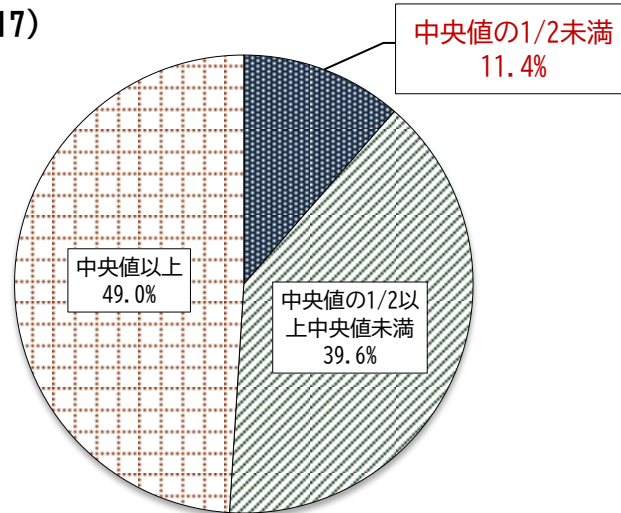
【特徴的な傾向や課題など】

収入が1000万円を超える世帯の比率が1割超となっている一方で、『300万円未満』に該当する比率も1割あります。

本報告書においては、世帯の年間収入の水準について、前出4頁の考え方で『等価世帯収入』による分類を行い、その結果のまとめを次頁に掲載しています。

②等価世帯収入

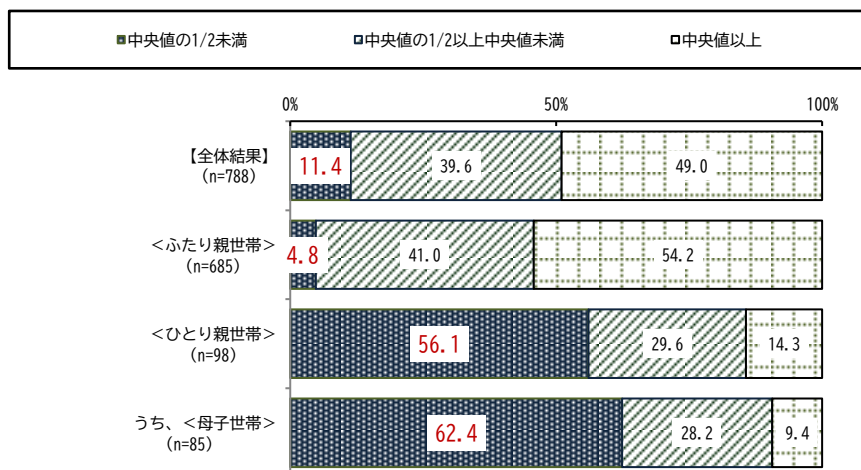
【全体結果】 (n=817)



【結果のサマリー】

分類の結果、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する世帯は11.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは39.6%でした。

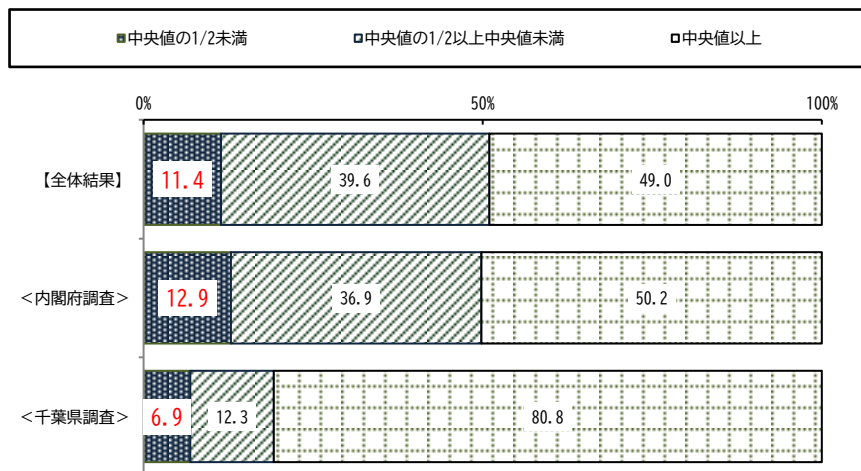
(世帯構成別にみた「等価世帯収入」)



【特徴的な傾向や課題など】

世帯構成別に等価世帯収入の水準をみると、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する比率は、「ひとり親世帯」では56.1%となっており、「ふたり親世帯」と比べてかなり高くなっています。「母子世帯」においては62.4%と更に比率は上昇します。

(参考結果：内閣府、千葉県調査結果との比較)



【結果のサマリー】

千葉県調査の結果については、

『困窮層』 = <中央値の2分の1未満>

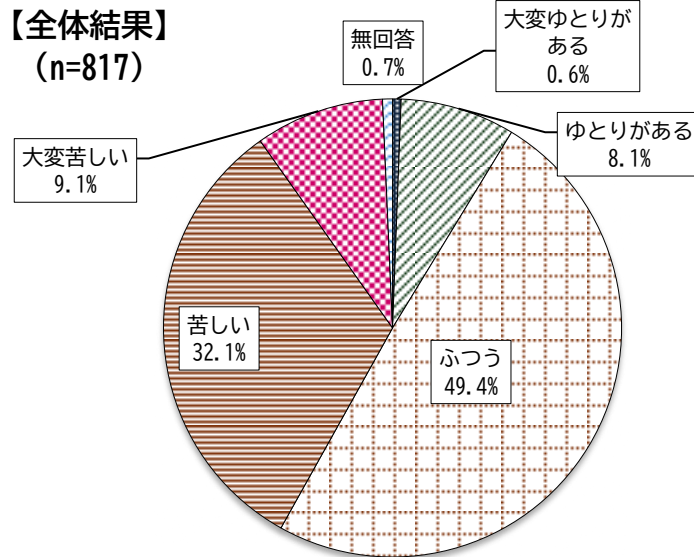
『周辺層』 = <中央値の2分の1以上中央値未満>

『一般層』 = <中央値以上>と読み換えての参考比較となります。

内閣府調査結果と比較すると、一般的に本市と同様の結果でした。

③経済的状況への感じ方

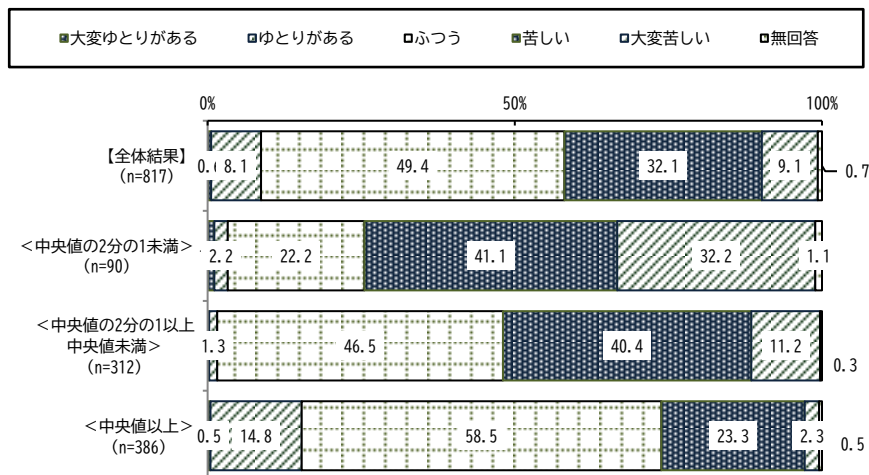
問 あなたは、現在の経済的な状況をどのように感じていますか。(SA)



【結果のサマリー】

『ゆとり』を感じている人は1割弱です。4割程度は『苦しい』と感じています。

(等価世帯収入別に見た「経済的状況への感じ方」)



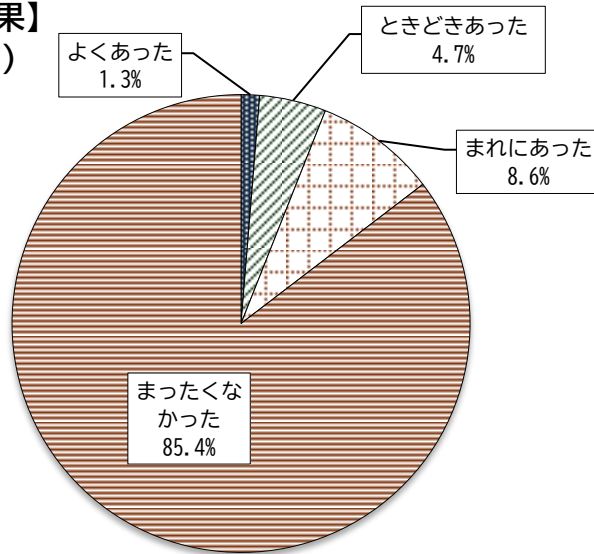
【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>の約3世帯に1世帯では「大変苦しい」と感じています。

④食料が買えなかった経験

問 あなたのご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(SA)

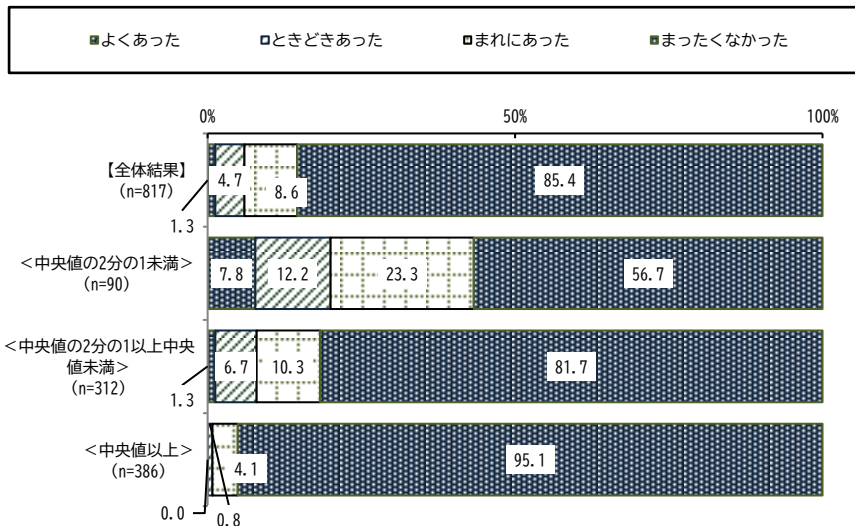
【全体結果】
(n=817)



【結果のサマリー】

1割以上の方が頻度の差はあれ、食料を買えなかった経験があります。

(等価世帯収入別に見た「食料が買えなかった経験」)



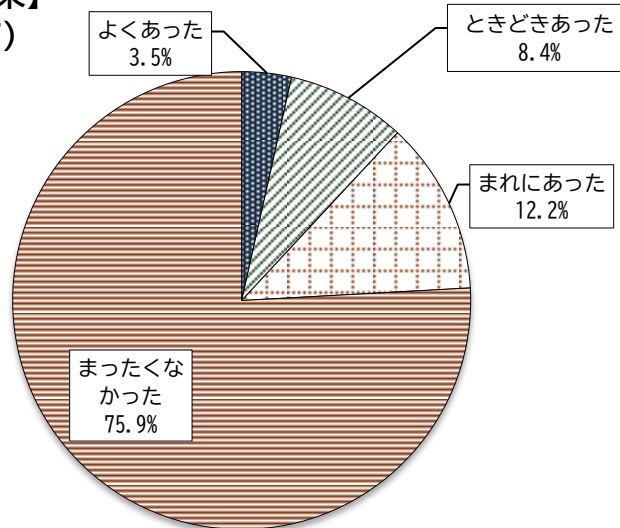
【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>の4割以上は食料を買えなかった経験があります。

⑤栄養バランスを考えた食事を用意できなかった経験

問 あなたのご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由で、夏休みや冬休みなどの期間のお子さんの昼食として、栄養バランスを考えた食事を用意できないことがありましたか。(SA)

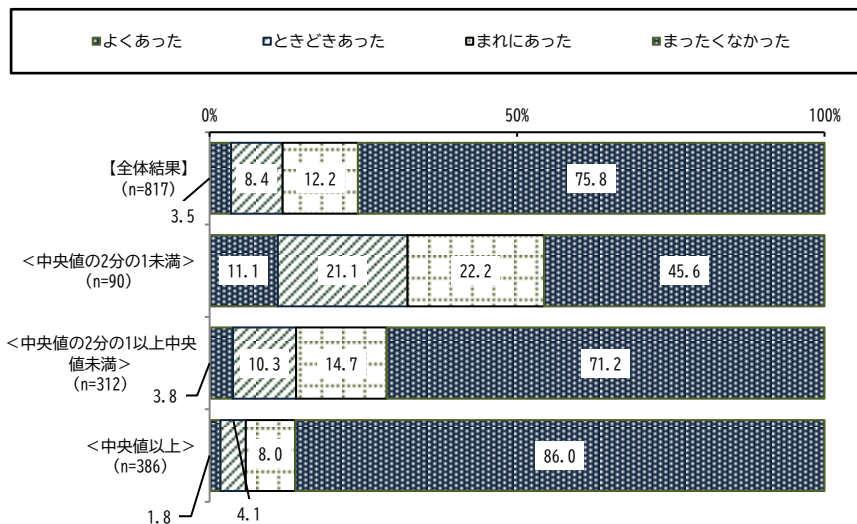
【全体結果】
(n=817)



【結果のサマリー】

2割以上の方が頻度の差はあれ、栄養バランスを考えた食事を用意できなかった経験があります。

(等価世帯収入別に見た「栄養バランスを考えた食事を用意できなかった経験」)



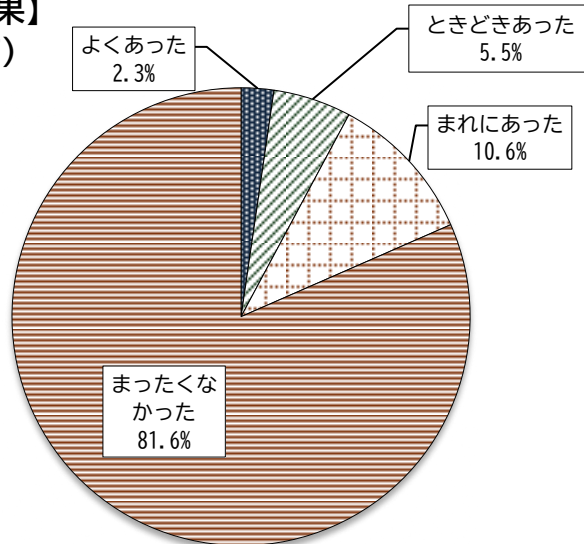
【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>の半数以上は、栄養バランスを考えた食事を用意できなかった経験者で、前項の『食料』よりも経験者が多くなっています。

⑥衣服が買えなかった経験

問 あなたのご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。(SA)

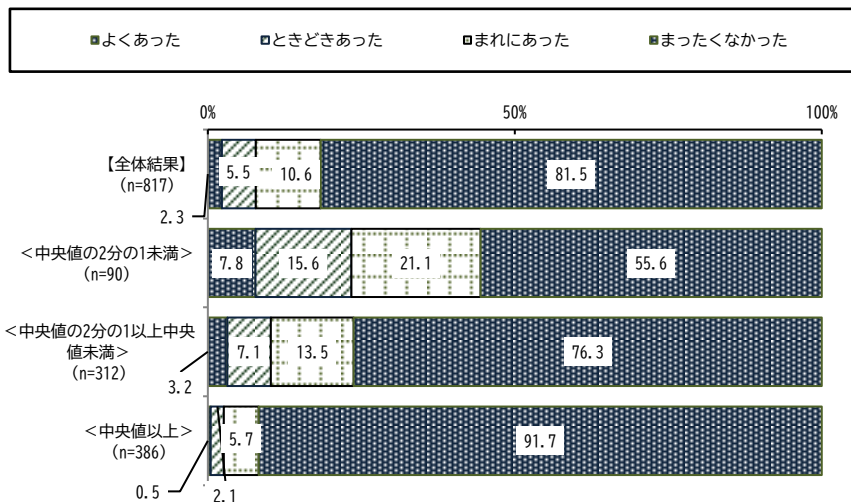
【全体結果】
(n=817)



【結果のサマリー】

2割弱の人が頻度の差はあれ、必要とする衣服を買えなかった経験があります。

(等価世帯収入別に見た「衣服が買えなかった経験」)



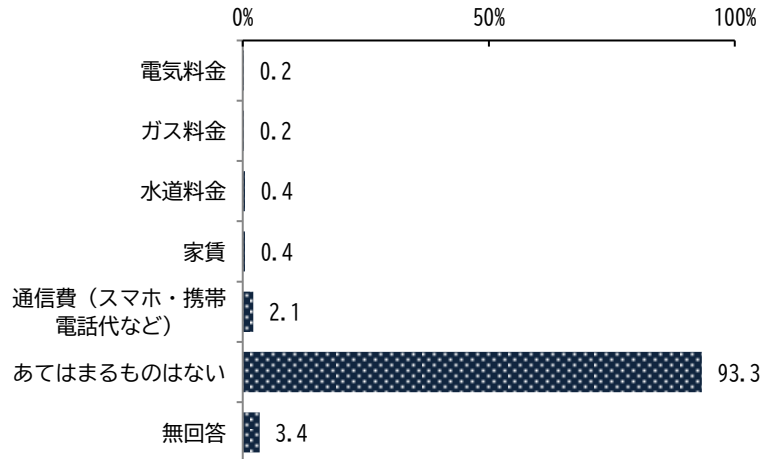
【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>の4割以上は、必要とする衣服を買えなかった経験者で、前出の『食料』と同程度の経験者がいます。

⑦料金未払いの経験

問 あなたのご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由で、以下の料金が未払いになったことがありますか。(SA)

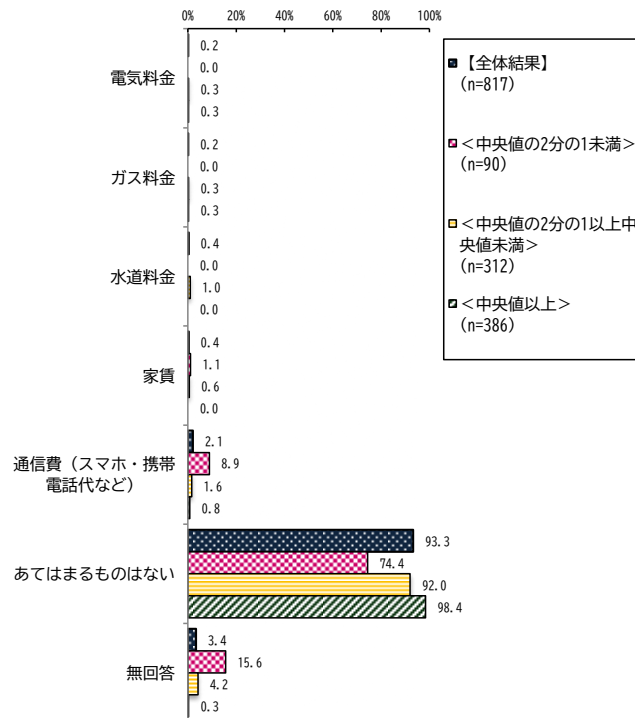
【全体結果】 (n=817)



【結果のサマリー】

大多数の人は未経験者ですが、ライフラインの料金未払い者も皆無ではありません。

(等価世帯収入別に見た「料金未払いの経験」)

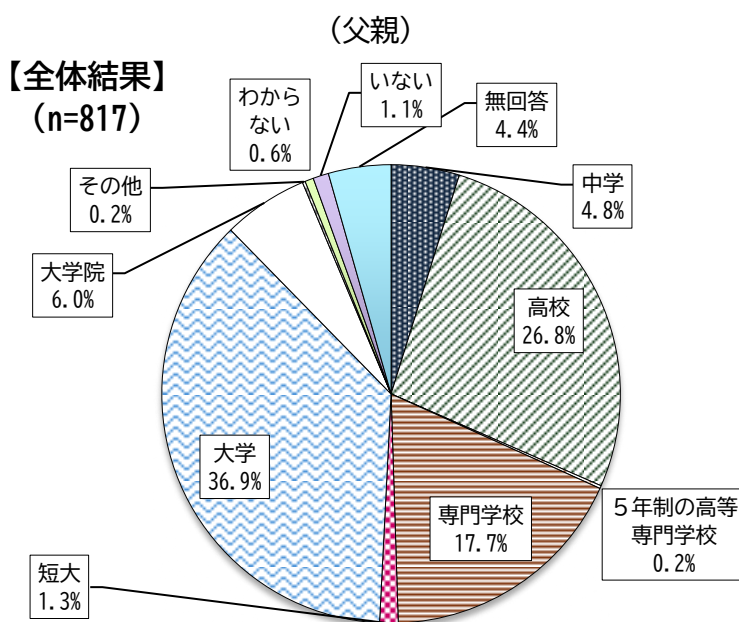
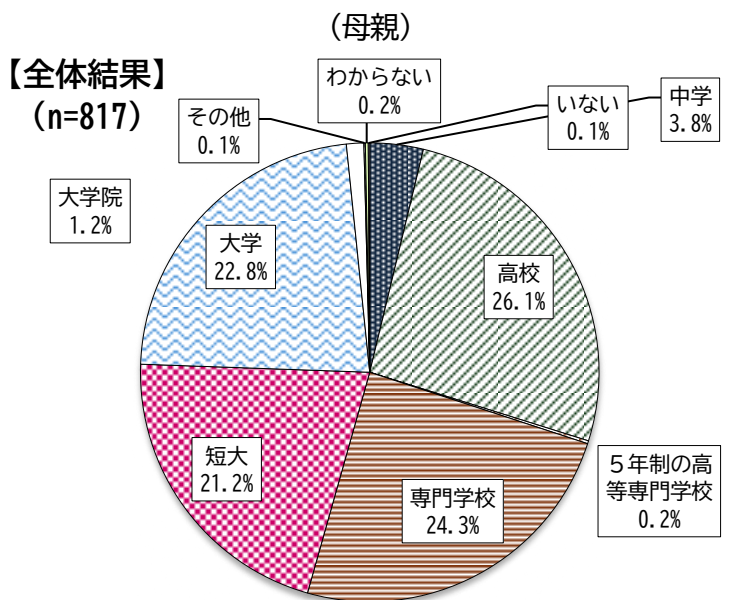


【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>においては、未経験者が約4人に3人と他の層に比べて少なくなっています。

3. 保護者が最後に卒業・修了した学校

問 お子さんの親が最後に卒業・修了した学校を教えてください。(SA)



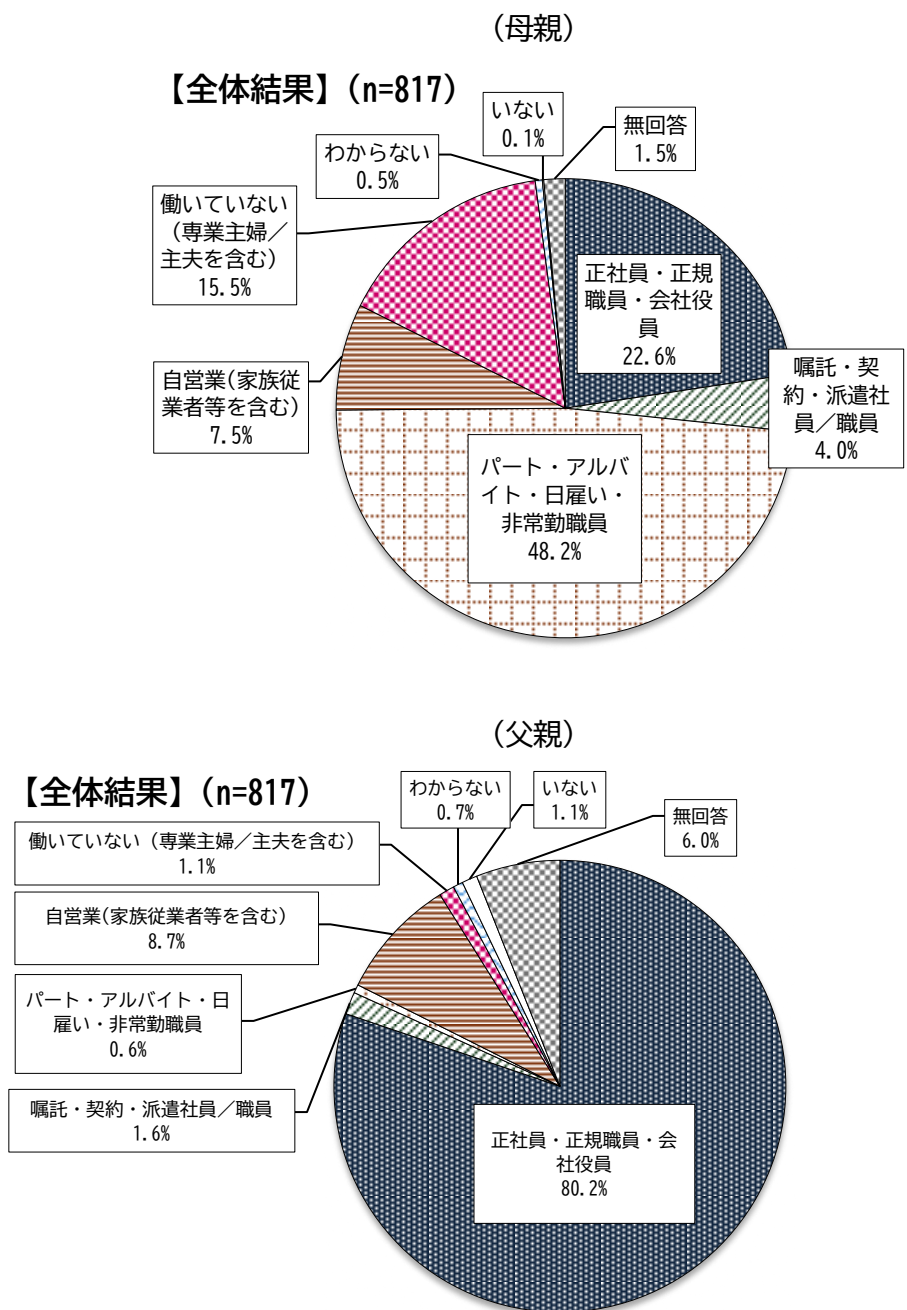
【結果のサマリー】

父親は「大学」の割合が母親と比べて高くなっています。

4. 就労の状況について

①親の就労状況

問 お子さんの親の就労状況を教えてください。(SA)



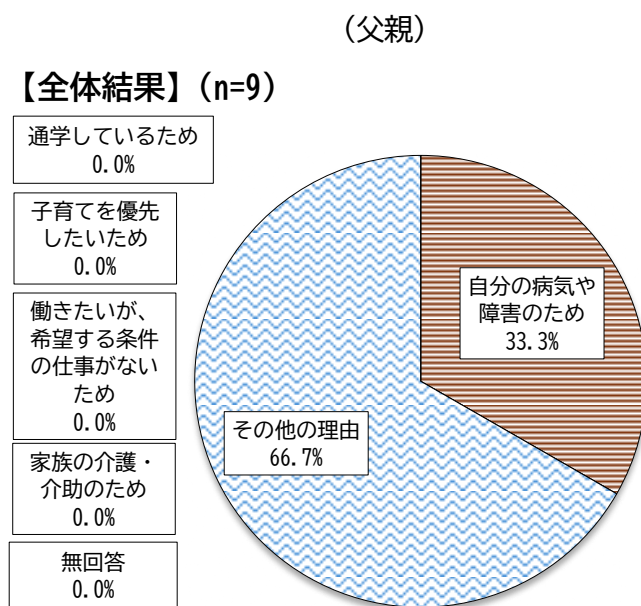
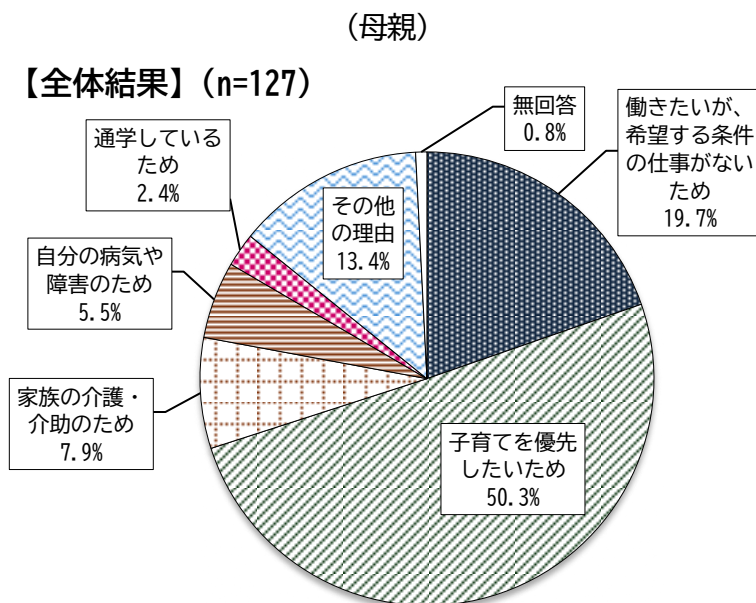
【結果のサマリー】

『母親』と『父親』の就労状況の分布は上図のとおりです。

『母親』において、「正社員・正規職員・会社役員」で働いている人は、4人に1人弱にとどまります。

②働いていない理由

問 前問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。
(SA)



【結果のサマリー】

『母親』と『父親』の働いていない理由の分布は上図のとおりです。

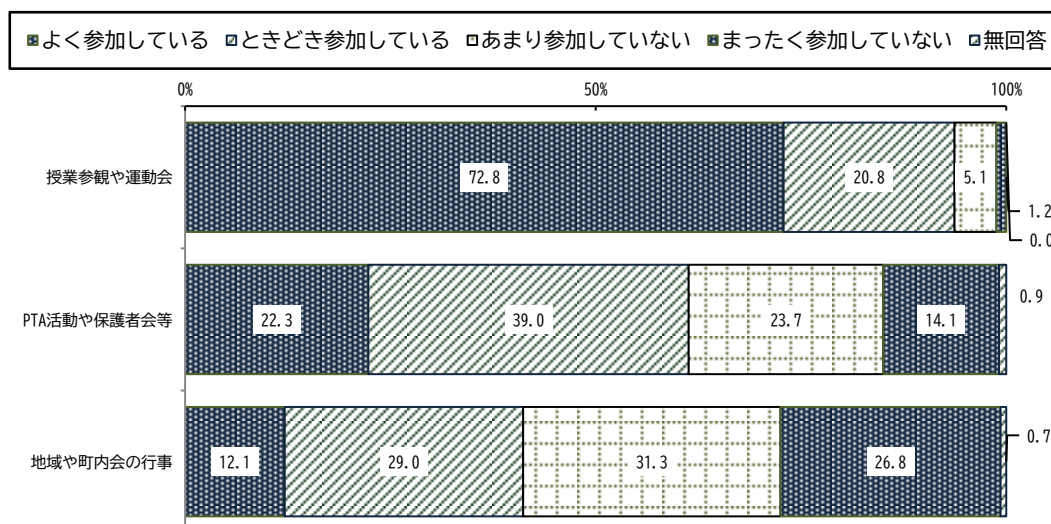
『父親』においては該当数が極めて少ないため参考掲載とします。

5. 学校行事や地域行事等へ参加状況

問 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(各 SA)

- a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加
- b) PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加
- c) 地域や町内会の行事への参加

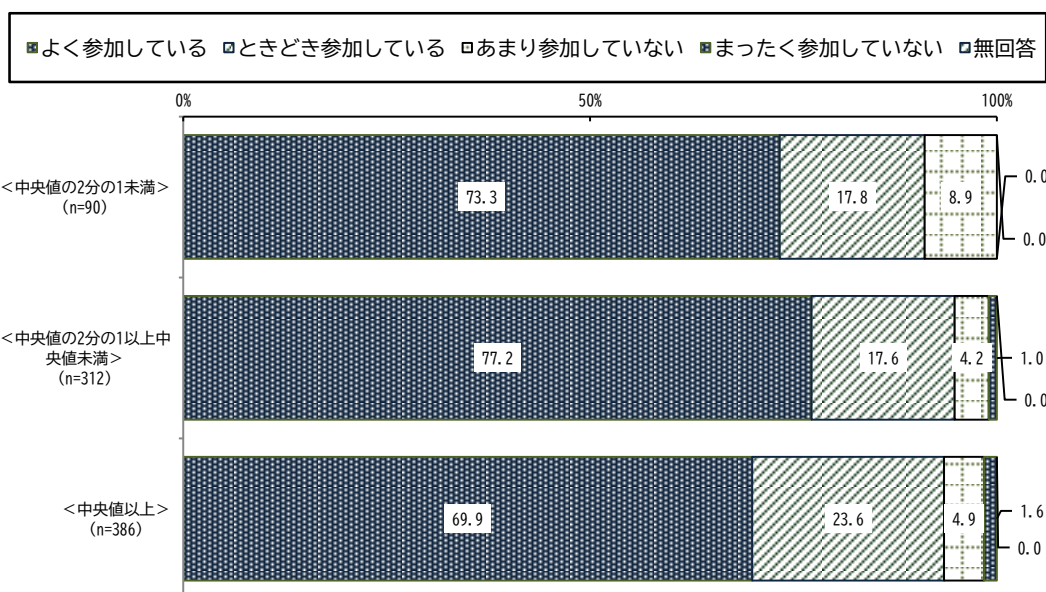
【全体結果】(n=817)



【結果のサマリー】

「授業参観や運動会などの学校行事」への高頻度での参加が特に多くなっています。

(等価世帯収入別にみた「授業参観や運動会などの学校行事」への参加状況)



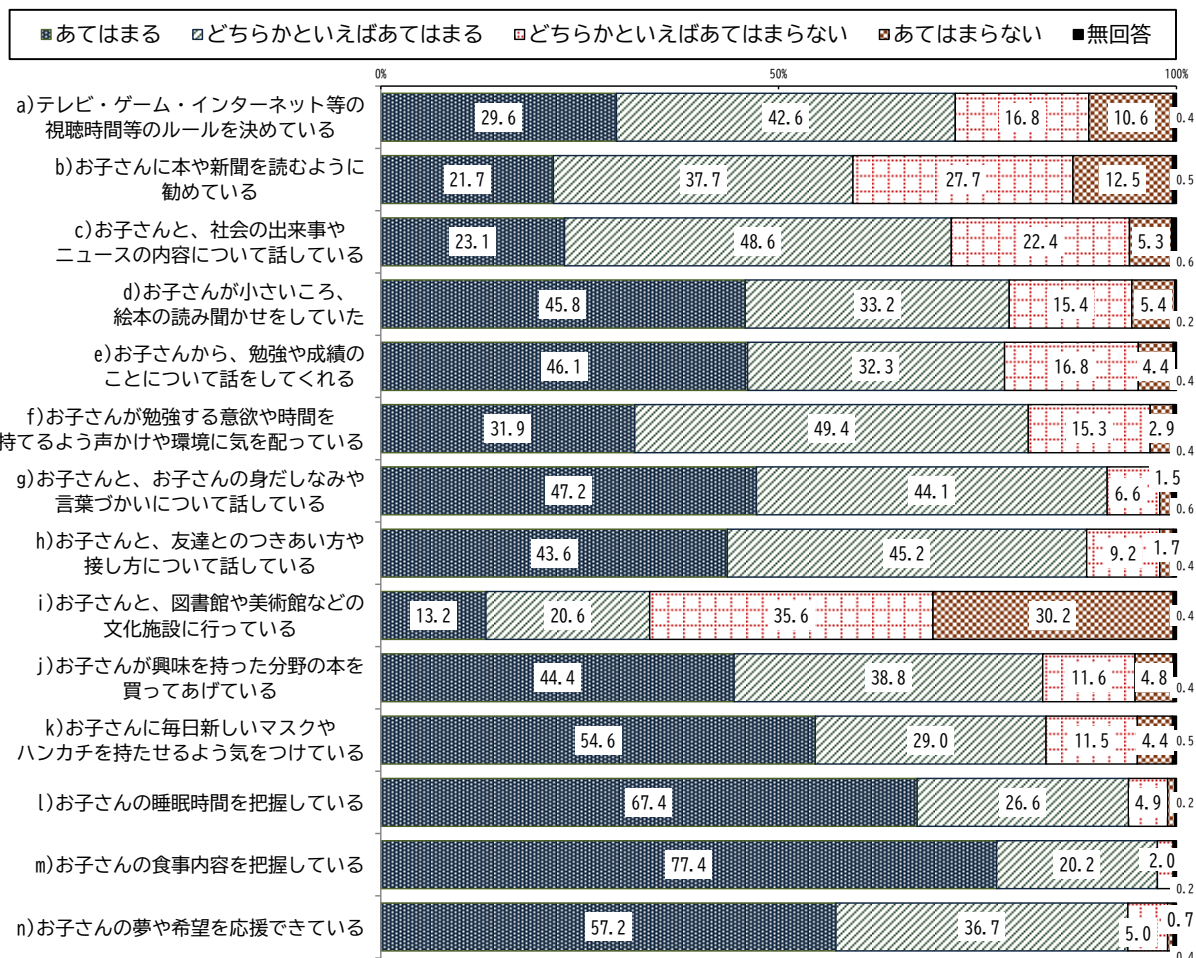
【特徴的な傾向や課題など】

<中央値以上>の世帯において「よく参加している」の割合が他の層よりもやや低くなっています。

6. 子どもとの関わり方について

問 あなたとお子さんの関わり方について、以下のようなことにどれくらいあてはまりますか。
(各 SA)

【全体結果】(n=817)




【結果のサマリー】

<テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている>については、7割以上が『あてはまる』と回答しています。

<お子さんと、社会の出来事やニュースの内容について話している>についても、7割以上が『あてはまる』と回答しています。

<お子さんに本や新聞を読むように勧めている>については、約6割が『あてはまる』と回答しています。

<お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる>については、8割弱が『あてはまる』と回答しています。



【特徴的な傾向や課題など】

<お子さんの睡眠時間を把握している>、<お子さんの食事内容を把握している>等については、高い割合で『あてはまる』と回答されており、保護者は子どもの日常生活への関与に重点を置いていることがわかります。

一方で、<お子さんと、図書館や美術館などの文化施設に行っている>については、3人に1人程度のみが『あてはまる』と回答しており、文化施設への関与は比較的低い傾向にあります。

文化施設への関与が低いことから、子どもの文化的な教養や興味を育む機会が不足している可能性があります。

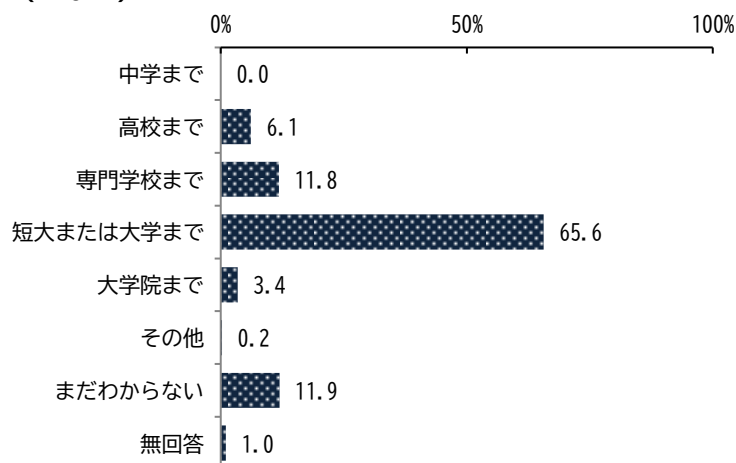
テレビやインターネットの使用に関するルールは設定されているものの、本や新聞を読むことを勧める割合がそれほど高くないことから、読書習慣の促進が課題となっている可能性があります。

7. 進学・進路について

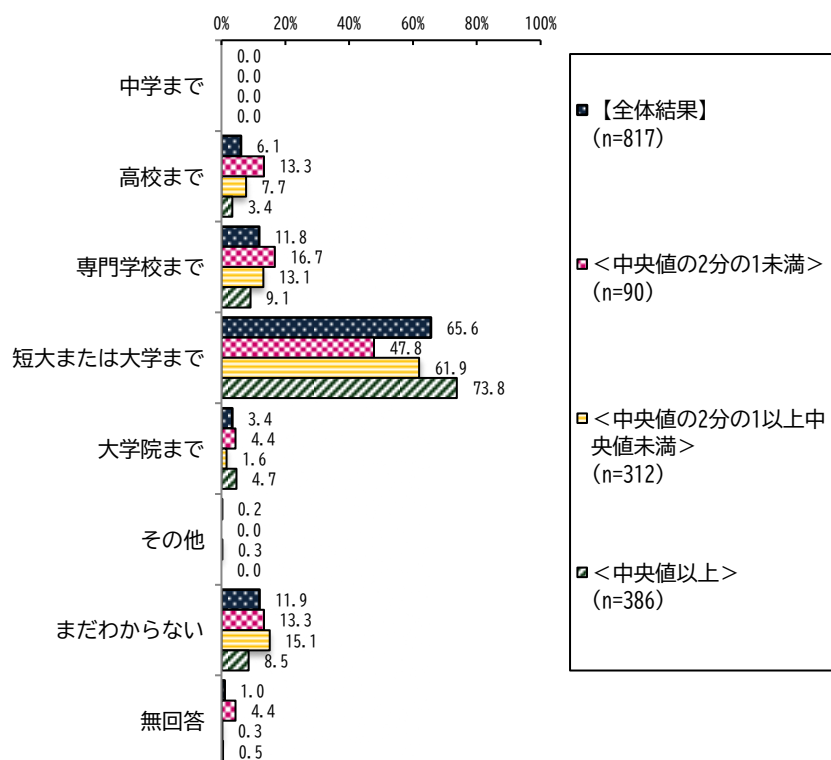
①保護者が希望する子どもの進路

問 a) 保護者の希望 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(SA)

【全体結果】 (n=817)



(等価世帯収入別に見た「保護者が希望する子どもの進路」)



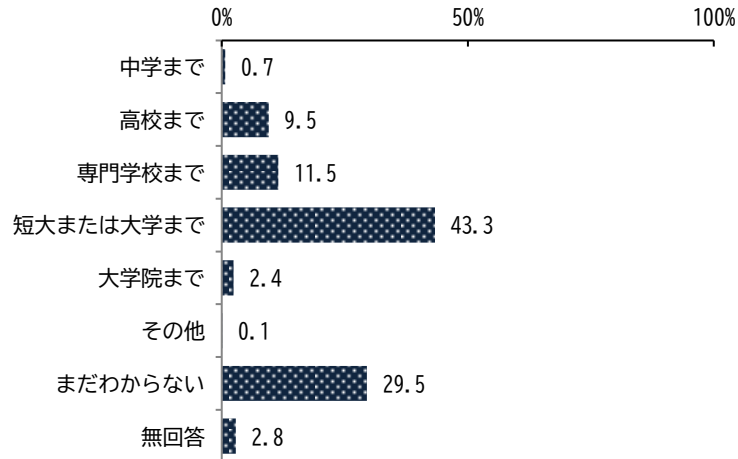
【結果のサマリー】

<等価世帯収入が低い層>においては、「短大または大学まで」の割合が他の層よりも低くなっています。

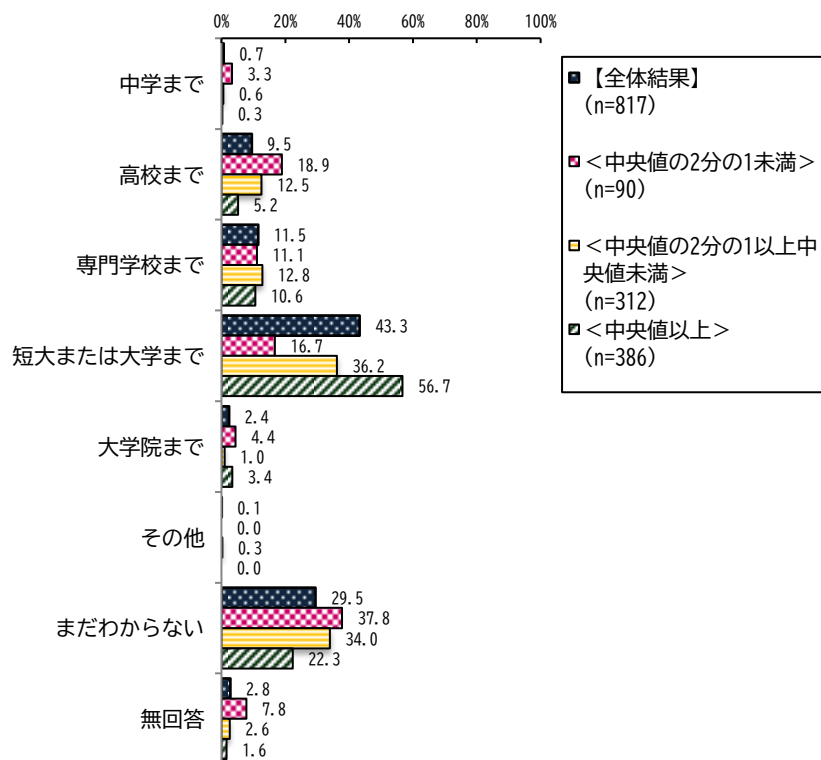
②現実的な子どもの進路

問 b) 現実的な進路 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(SA)

【全体結果】 (n=817)



(等価世帯収入別に見た「現実的な子どもの進路」)



【結果のサマリー】

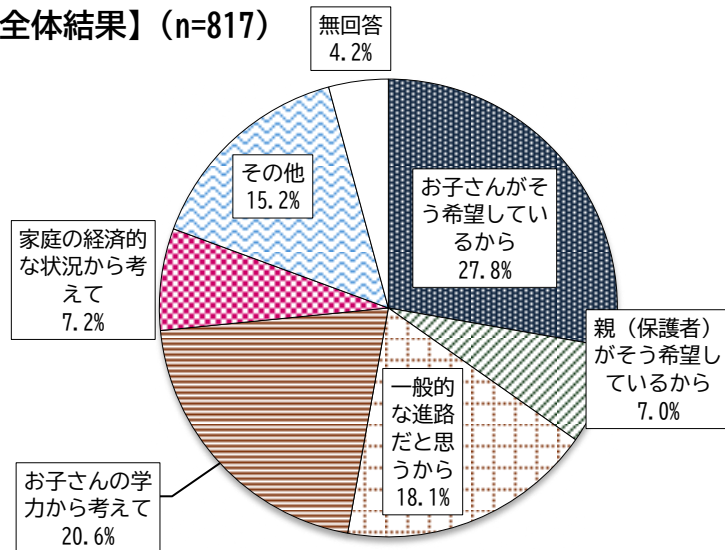
前項の希望と比べると、「短大または大学まで」の割合が低下し、「まだわからないが増加します。」

前項の希望同様に<等価世帯収入が低い層>においては、「短大または大学まで」の割合が他の層よりも低くなっています。

③現実的な進路の選択理由

問 「b)現実的な進路」で選んだ答えの一番の理由を教えてください。(SA)

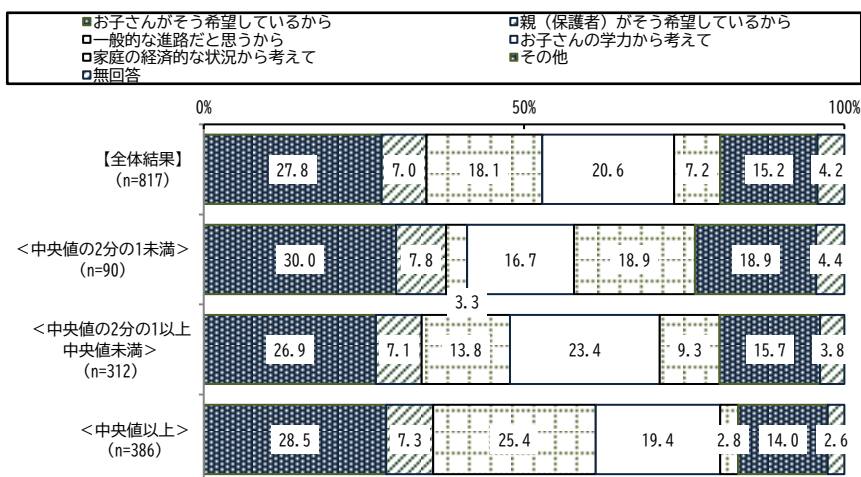
【全体結果】(n=817)




【結果のサマリー】

「家庭の経済的な状況から考えて」を選んだ割合は、全体で1割に満たない割合ですが、【等価世帯収入別】で見ると大きな差があります。＜等価世帯収入が低い層＞では2割弱がこの理由を選んでおり、＜中央値以上＞ではわずかです。＜中央値の2分の1以上中央値未満＞では1割弱と、＜等価世帯収入が低い層＞と＜中央値以上＞の中間に位置しています。家庭の経済状況が子どもの進学先選択に大きく影響していることを示しています。

(等価世帯収入別にみた「現実的な進路の選択理由」)





【特徴的な傾向や課題など】

「一般的な進路だと思うから」という理由を選んだ割合は、＜等価世帯収入が低い層＞で低く、困窮層の子どもたちが、一般的な進路よりも経済的な事情を重視していることを示唆しています。

家庭の経済状況が子どもの進学先選択に大きな影響を与えており、経済的に困窮している家庭の子どもたちは、希望する進路を選択できない可能性が高いことがわかりました。

経済的に困窮している家庭の子どもたちが自分の希望を実現するのが難しい状況にあることが示されており、これにより将来の展望が制限される可能性があります。

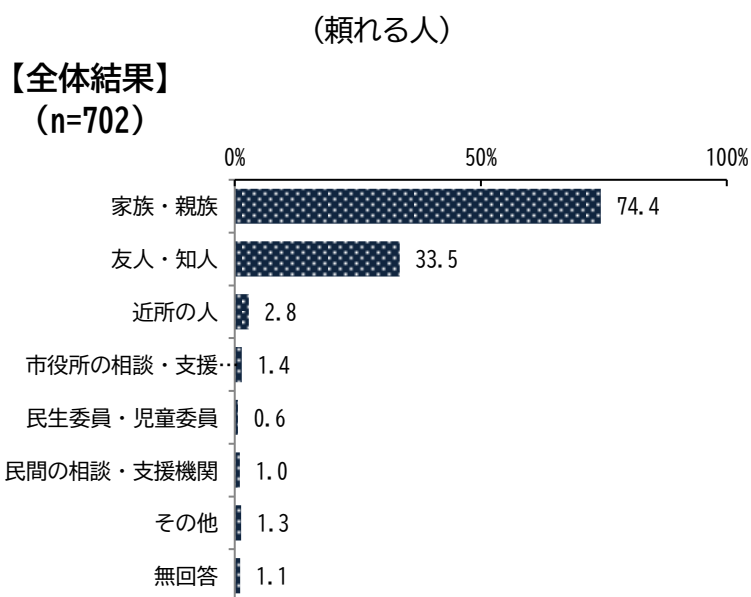
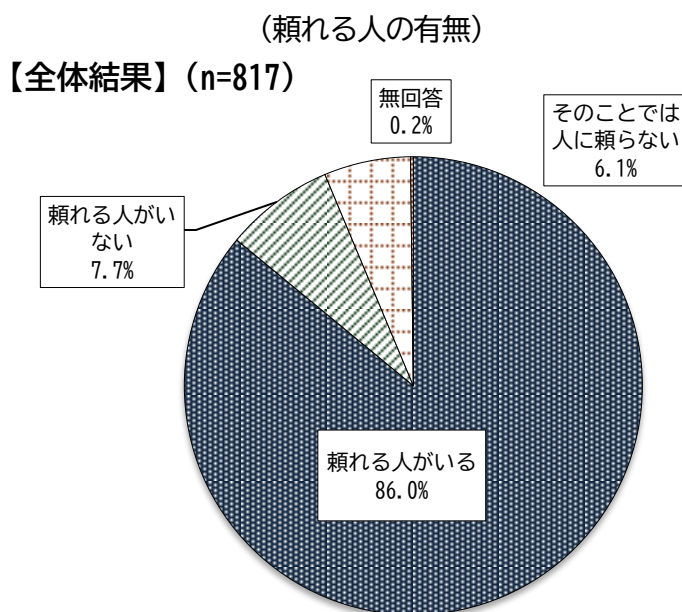
これらの結果から、経済的な困難が教育の機会に与える影響に対する支援や施策がより重要であることが伺えます。

8. 頼れる人について

①子育てに関する相談で頼れる人

問 あなたは『子育てに関する相談』で頼れる人はいますか。(SA)

問 『子育てに関する相談』で頼れる人は誰ですか。(MA)

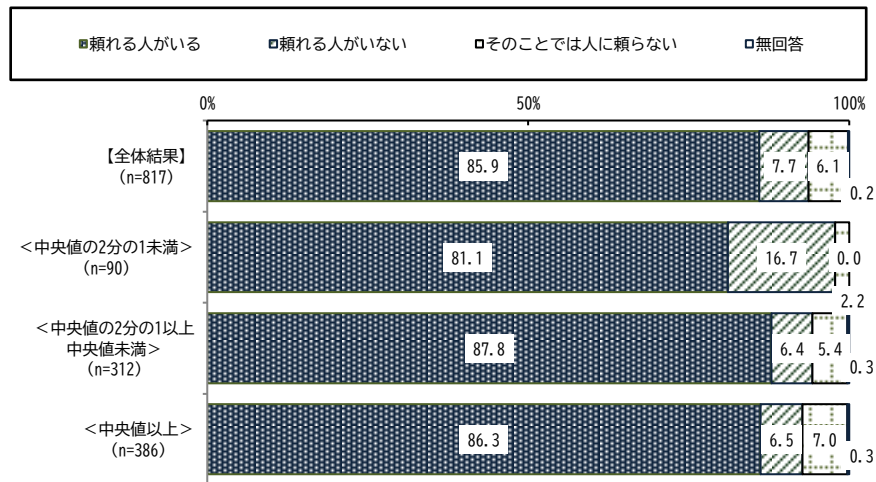


【結果のサマリー】

「頼れる人がいない」とする人も1割弱います。

『頼れる人』の大多数は「家族・親族」です。

(等価世帯収入別に見た『子育てに関する相談』で頼れる人の有無)



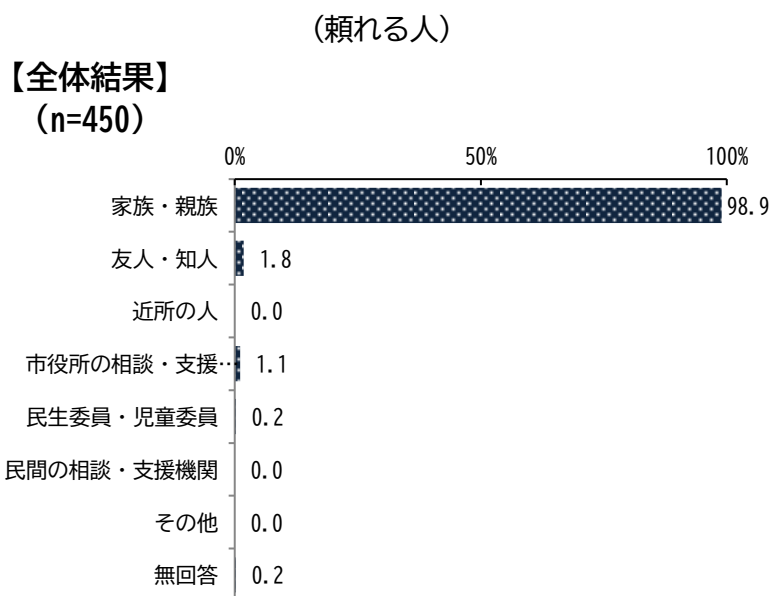
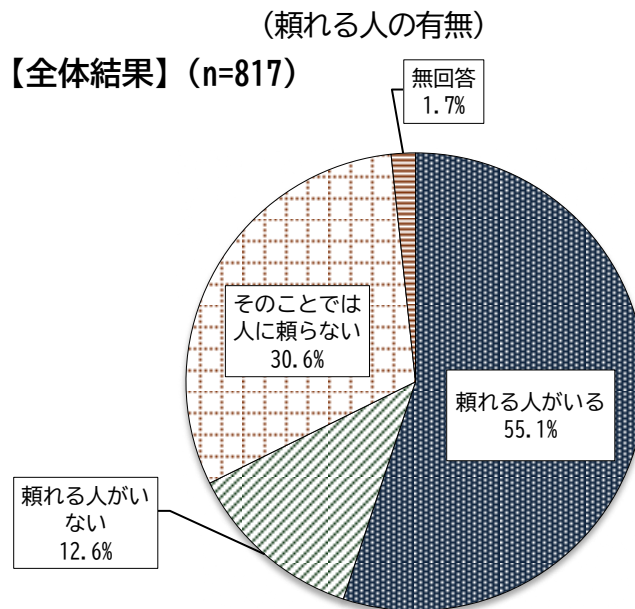
【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>において「頼れる人がいない」が他の層よりも高くなっています。

②困ったときのお金の援助で頼れる人

問 あなたは『困ったときのお金の援助』で頼れる人はいいますか。(SA)

問 『困ったときのお金の援助』で頼れる人は誰ですか。(MA)

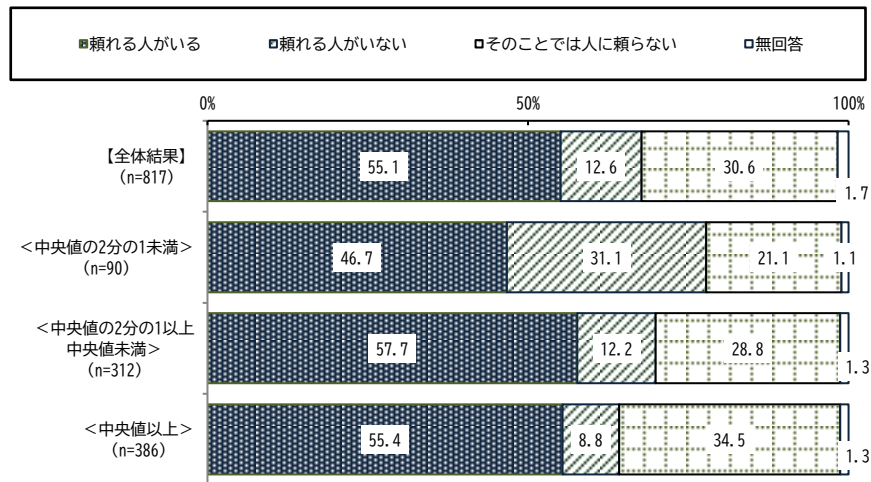


【結果のサマリー】

前項の『子育てに関する相談』よりも「頼れる人がいない」、「そのことでは人に頼らない」とする人が増加します。

『頼れる人』の大多数は「家族・親族」です。

(等価世帯収入別に見た『困ったときのお金の援助』で頼れる人の有無)



【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>において「頼れる人がいない」が他の層よりも高くなっています。

9. 保護者の心理的な状態や幸福度について

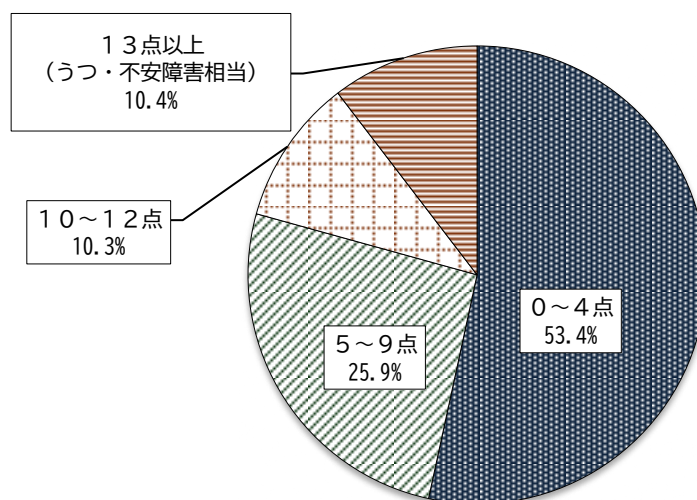
①心理的状态の判定

問 以下の a)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。(各 SA)

- a)神経過敏に感じた
- b)絶望的だと感じた
- c)そわそわ、落ち着かなく感じた
- d)気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e)何をするのも面倒だと感じた
- f)自分は価値のない人間だと感じた

- 選択肢：1 いつも（感じていた） <=4点>
2 たいてい（感じていた） <=3点>
3 ときどき（感じていた） <=2点>
4 少しだけ（感じていた） <=1点>
5 まったくない（感じなかった） <=0点>

【全体結果】(n=817)



保護者の心理的な状態に関して、調査では<K6※>と呼ばれる指標を把握するための6つの項目を設定しました。

この6つの調査項目の結果を足し合わせて、K6のスコアを算出しています(0～24点)。

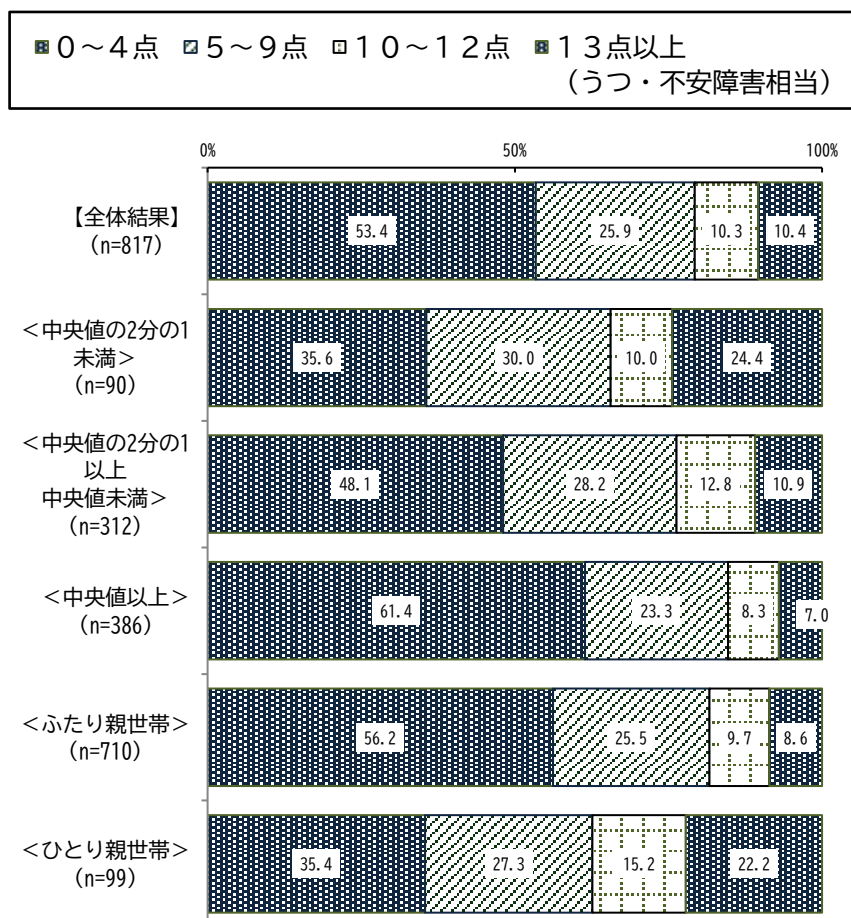
「13点以上」は<うつ・不安障害相当>とされます。

- ※ K6はうつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されています。採点方法は、ひとつの質問ごとに0点から4点(上記<点数>の配点)を振り、0点から24点で合計を計算しています。スコアが高くなるほど抑うつ状態が強いことを示します。

【結果のサマリー】

約1割が「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」です。

(等価世帯収入別に見た「心理状態の判定点数」)



【結果のサマリー】

全体では、約1割の保護者が「13点以上（うつ・不安障害相当）」と判定されていますが、<等価世帯収入が低い層>では、この割合が約4人に1人と非常に高く、生活困難が心理的な健康に大きく影響していることが示されています。

<中央値の2分の1以上中央値未満>では約1割、<中央値以上>では1割以下となっており、生活困難度が低くなるにつれて、うつ・不安障害相当の割合も低くなっています。

<ふたり親世帯>では、1割弱の保護者が「13点以上（うつ・不安障害相当）」と判定されています。

<ひとり親世帯>では、この割合が2割を超え、<ふたり親世帯に比べて>心理的な健康の問題が顕著になっています。

【特徴的な傾向や課題など】

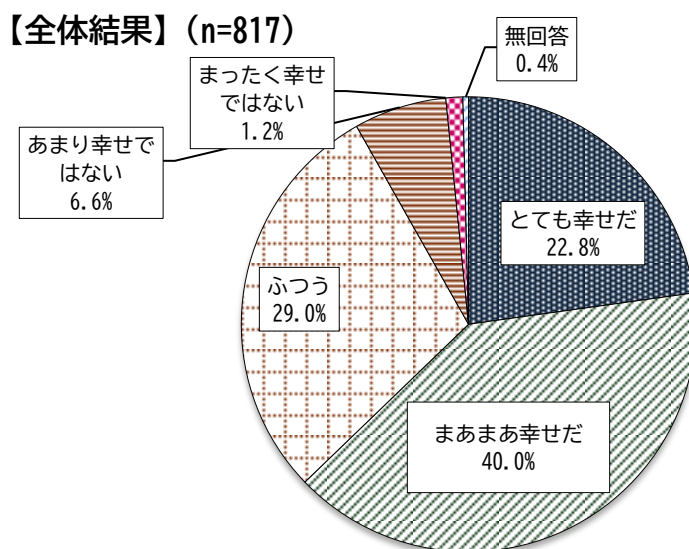
<等価世帯収入が低い層>では、心理的な健康問題の割合が高く、社会的なサポートが必要であることが示されています。

<ひとり親世帯>でも同様に、心理的な健康問題が顕著であり、特にこの世帯に対する支援が重要であると考えられます。

以上の結果から、<等価世帯収入が低い層>や<ひとり親世帯>の保護者に対して、心理的な健康をサポートするための支援を強化する必要があると言えます。

②幸福感

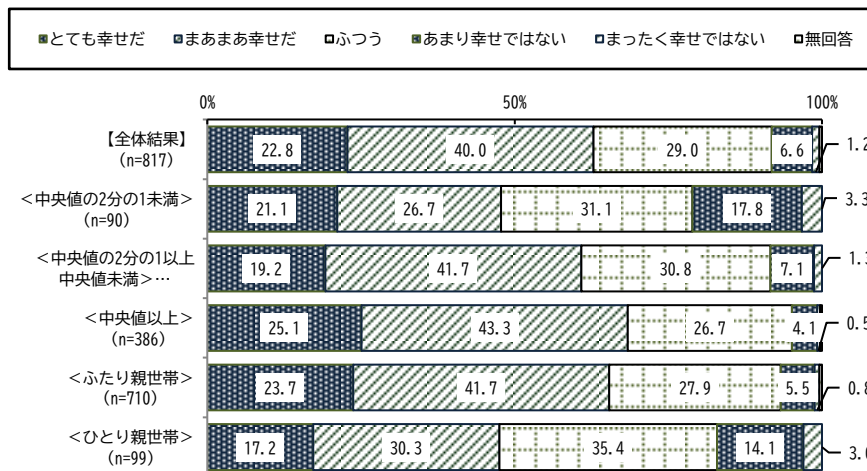
問 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい幸せだと感じていますか。(SA)



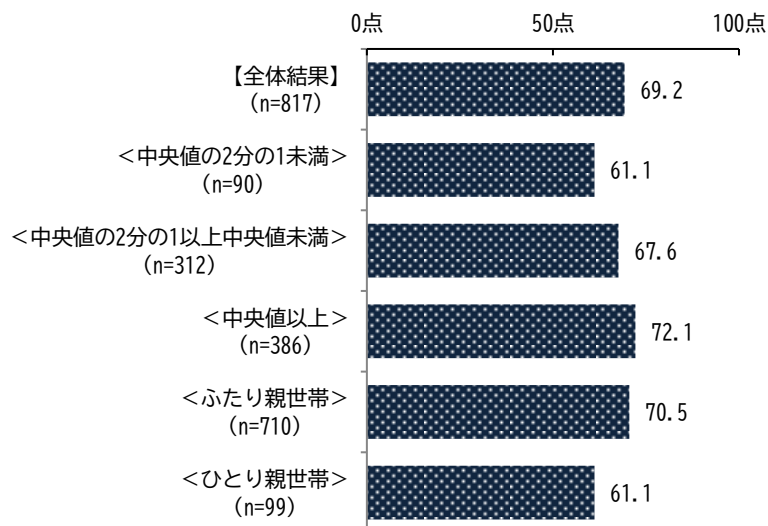
【結果のサマリー】

『幸せだ』と感じている人が6割以上を占めていますが、一方で『幸せではない』と感じている人も1割弱はいます。

(等価世帯収入別・世帯構成別にみた幸福感)



(等価世帯収入別・世帯構成別にみた幸福感の平均スコア)



【特徴的な傾向や課題など】

『幸せだ』とする人の割合は、<等価世帯収入が低い層>で、他の層よりも一段低くなっています。

また、上記の平均スコア図は、「とても幸せだ=100点」、「まあまあ幸せだ=75点」、「ふつう=50点」、「あまり幸せではない=25点」、「まったく幸せではない=0点」のスコアを与え、平均スコアを比較したものです。

<等価世帯収入が低い層>や<ひとり親世帯>での平均スコアが他の層よりも低くなっています。

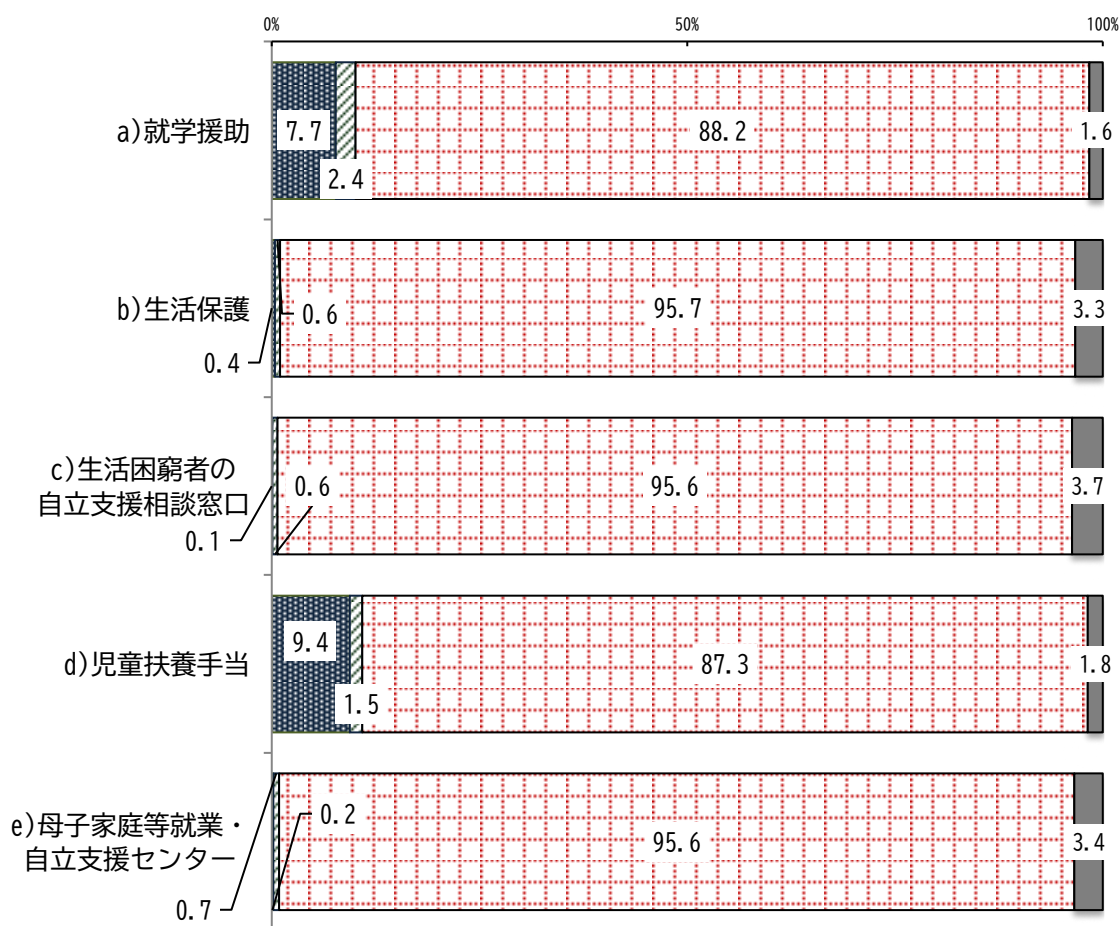
10. 支援制度等の利用について

①各種支援制度の利用状況

問 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(各 SA)

【全体結果】(n=817)

■現在利用している □以前利用したことがある □利用したことがない ■無回答



【結果のサマリー】

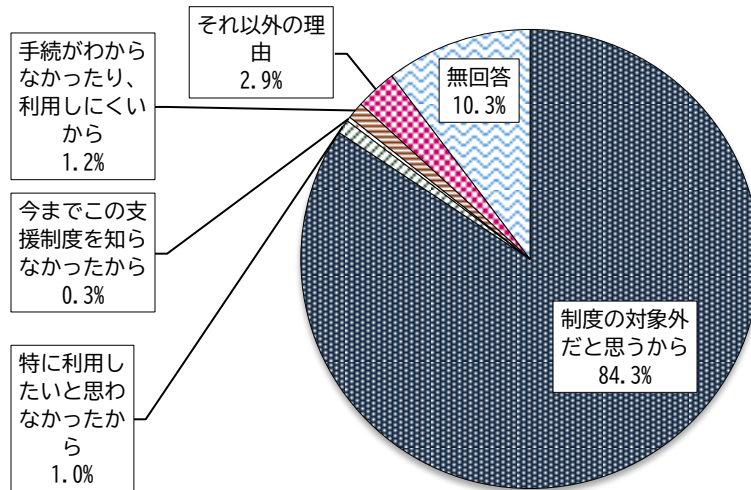
各種制度の利用状況は上図のとおりです。いずれの制度も利用者は限られており、比較的用户の多かった「児童扶養手当」や「就学援助」でも経験者を含めて1割程度です。

②各種支援制度を利用していない理由

該当設問 「利用したことがない」 場合、その理由を教えてください。(各 SA)

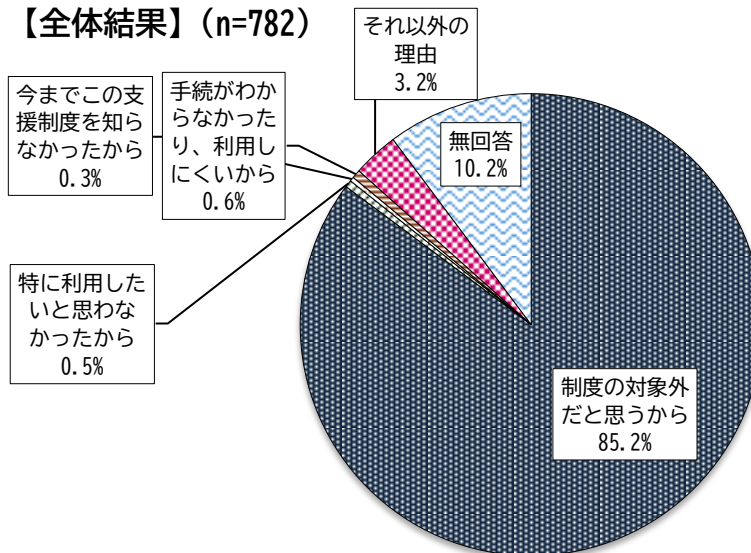
a) 就学援助を利用していない理由

【全体結果】 (n=721)

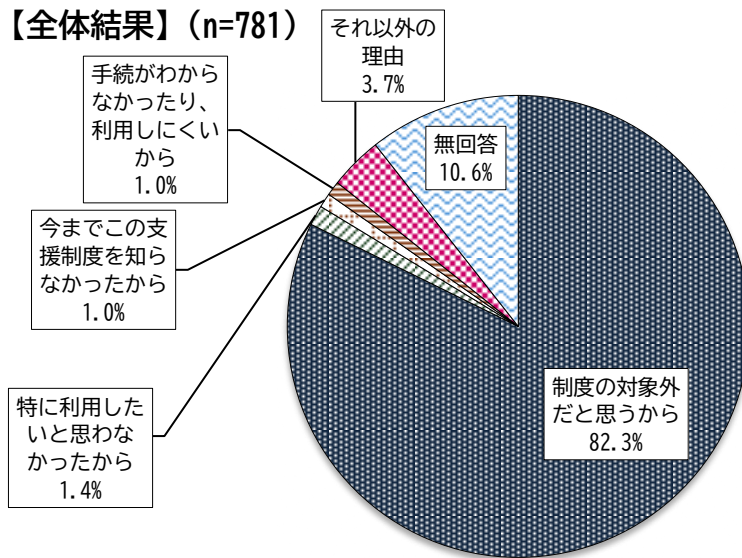


b) 生活保護を利用していない理由

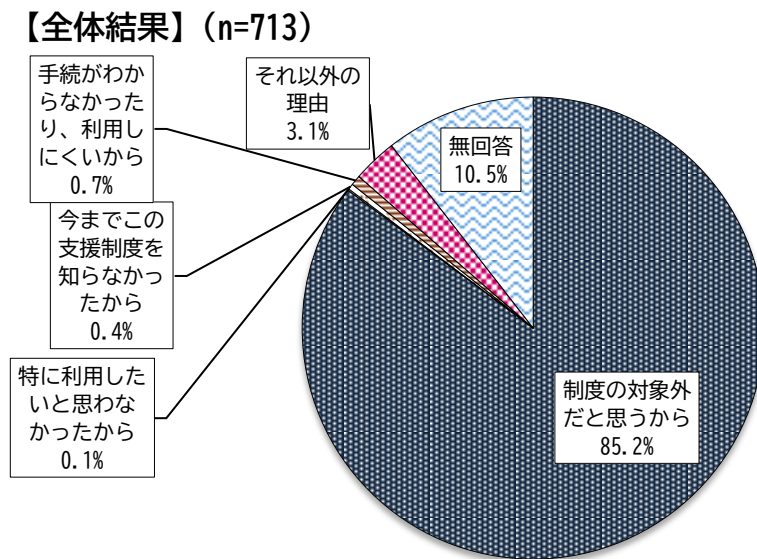
【全体結果】 (n=782)



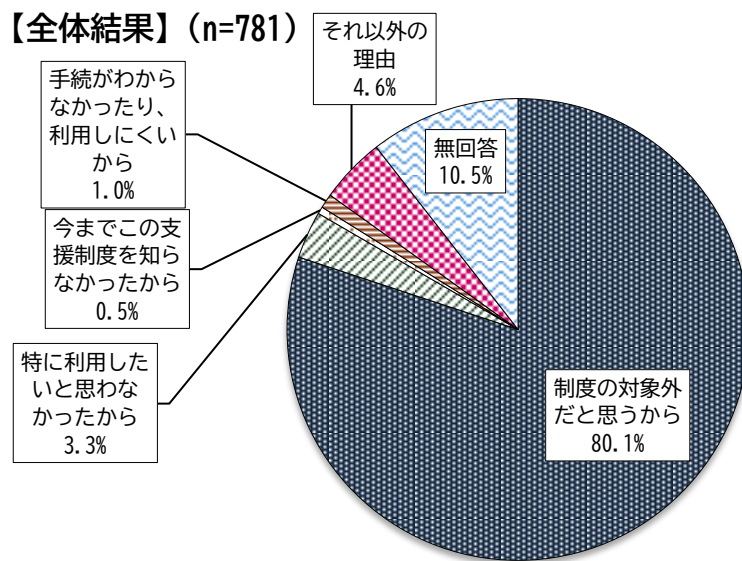
c)生活困窮者の自立支援相談窓口を利用していない理由



d)児童扶養手当を利用していない理由



e)母子家庭等就業・自立支援センターを利用していない理由



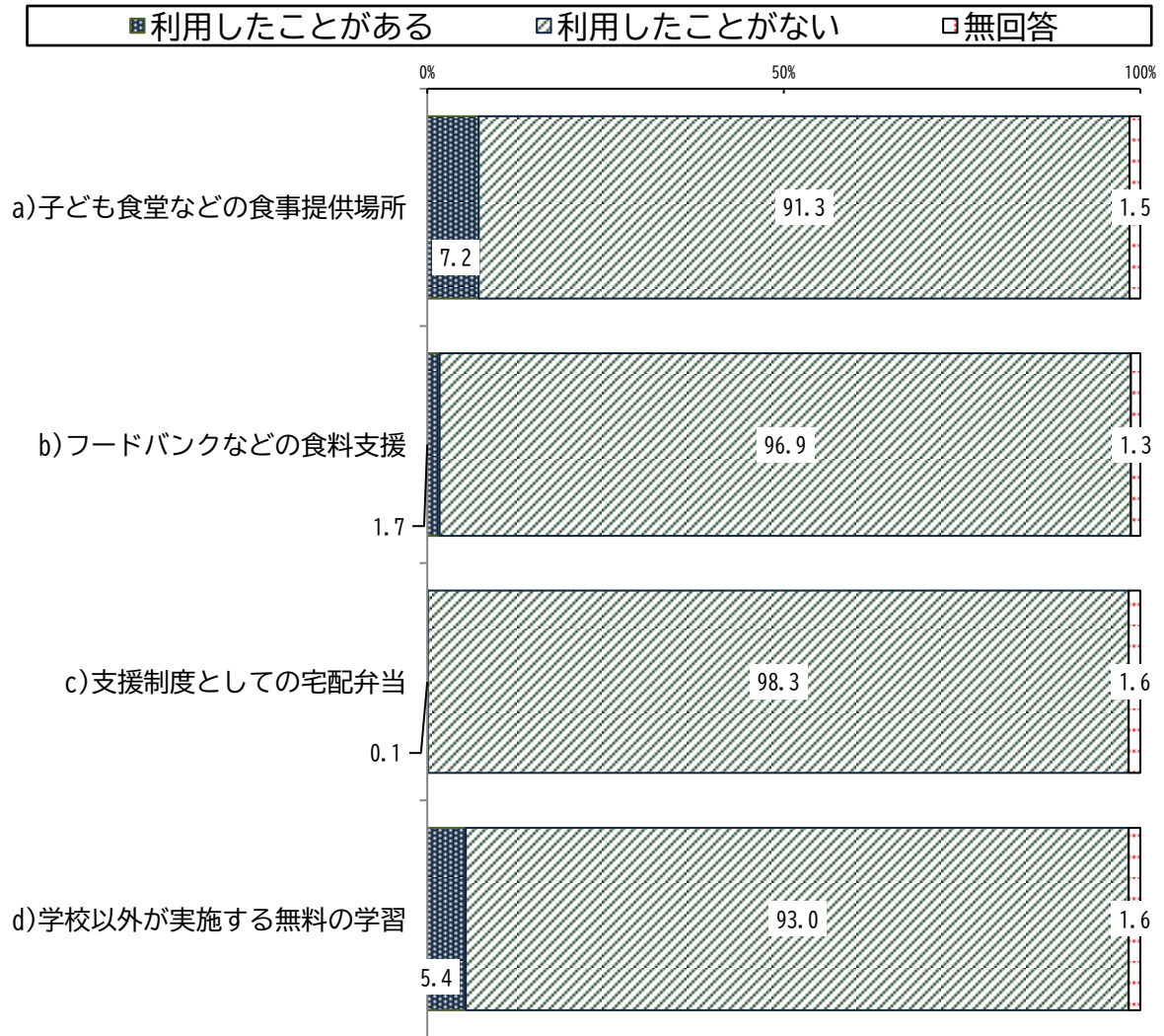
【結果のサマリー】

いずれの支援制度も「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」という理由が8割以上を占めています。

③各種施設やサービスの利用状況

問 あなたのご家庭では、以下の支援をこれまでに利用したことがありますか。(各 SA)

【全体結果】(n=817)

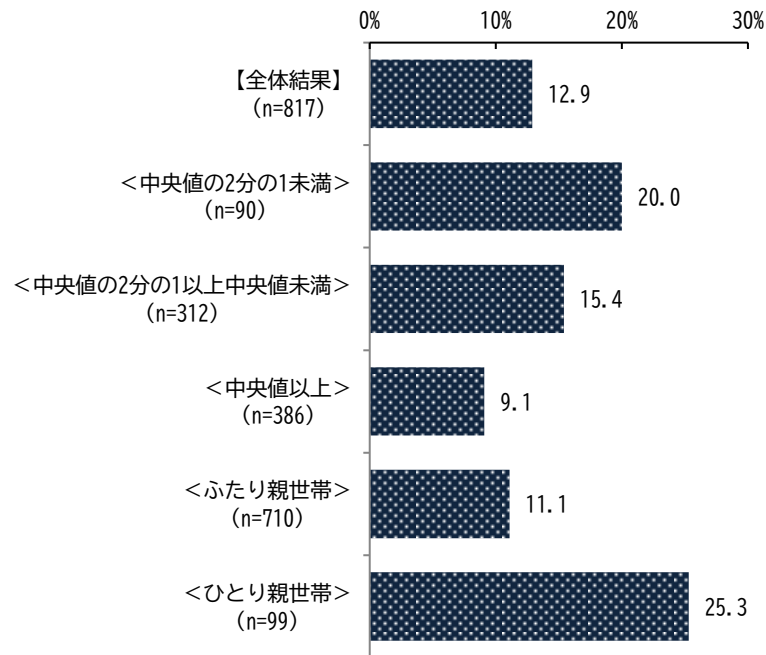


【結果のサマリー】

大多数はこれらの施設やサービスを「利用したことがない」人です。
最も利用経験者が多かったのは「子ども食堂などの食事提供場所」です。

(等価世帯収入別・世帯構成別にみた『施設やサービスを1つ以上利用している』人の割合)

『1つ以上利用している』



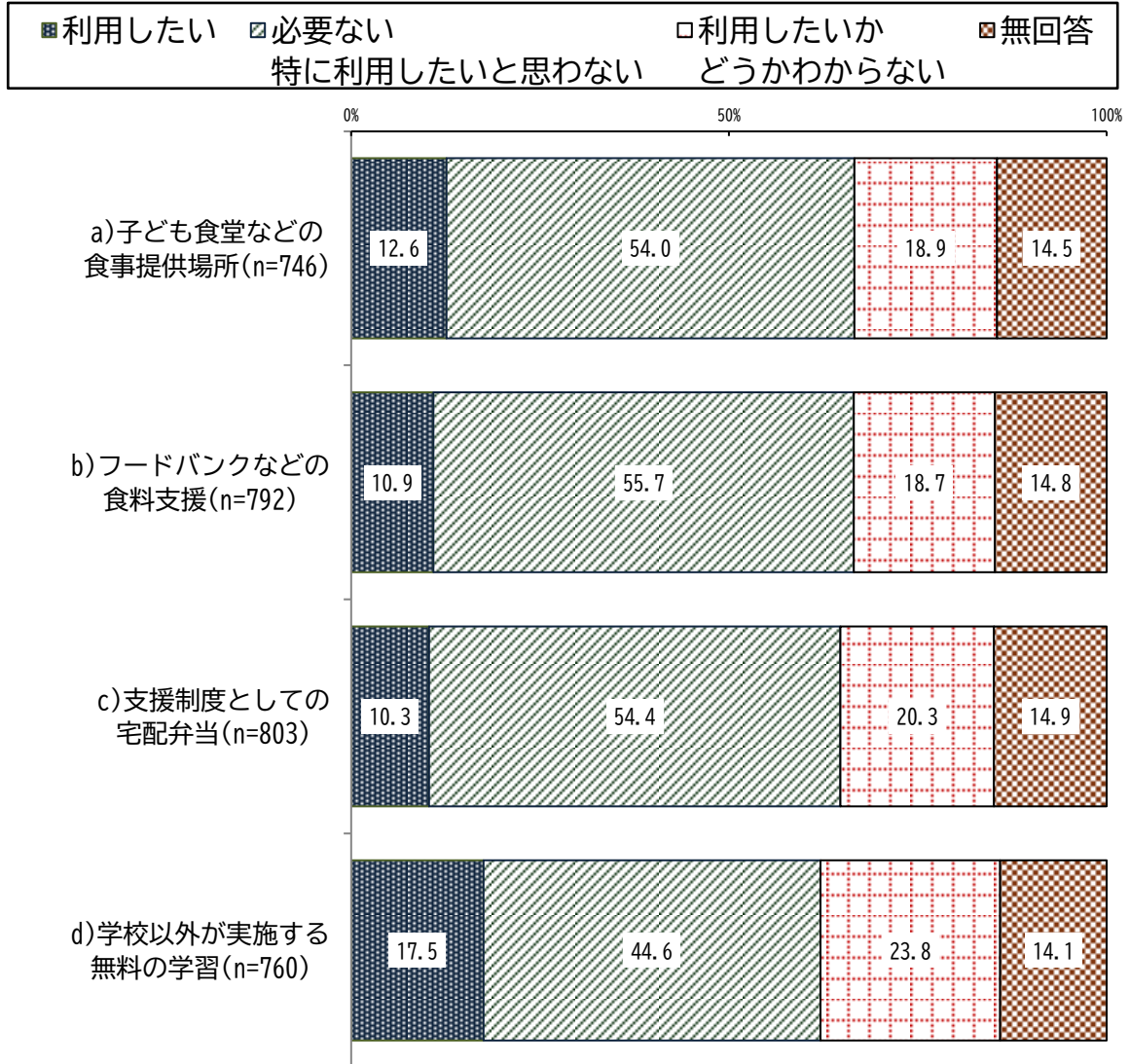
【特徴的な傾向や課題など】

上図は『施設やサービスを1つ以上利用している』人を再度集計し、まとめたものです。

<等価世帯収入が低い層>や<ひとり親世帯>では、何れかの施設やサービスの利用者の割合が2割台となっており、他の層よりも利用者は多くなっています。

④各種施設やサービスの今後の利用意向

該当設問 「利用したことがない」場合は、今後利用したいと思いますか。(各 SA)



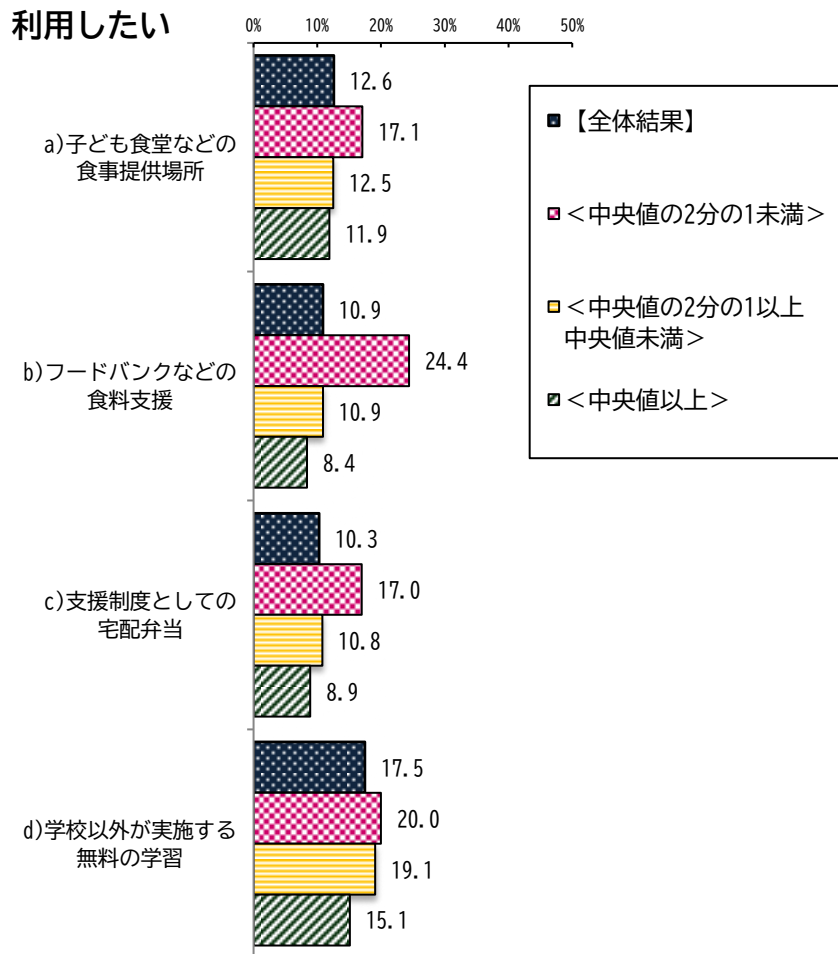
【結果のサマリー】

食事提供場所や食料支援よりも、学習支援に対する今後の利用意向が比較的高い傾向にあります。

【特徴的な傾向や課題など】

学習支援へのニーズが高いことから、教育支援の充実が求められている可能性があります。
全体として、食事提供や食料支援の利用意向が比較的小さいことから、これらのサービスの周知や利便性等の向上が必要かもしれません。

(等価世帯収入別に見た『利用したい』人の割合)



【結果のサマリー】

<等価世帯収入が低い層>では、全てのサービスに対する利用意向が他の層よりも高くなっています。特に「フードバンクなどの食料支援」への意向が4人に1人程度あります。

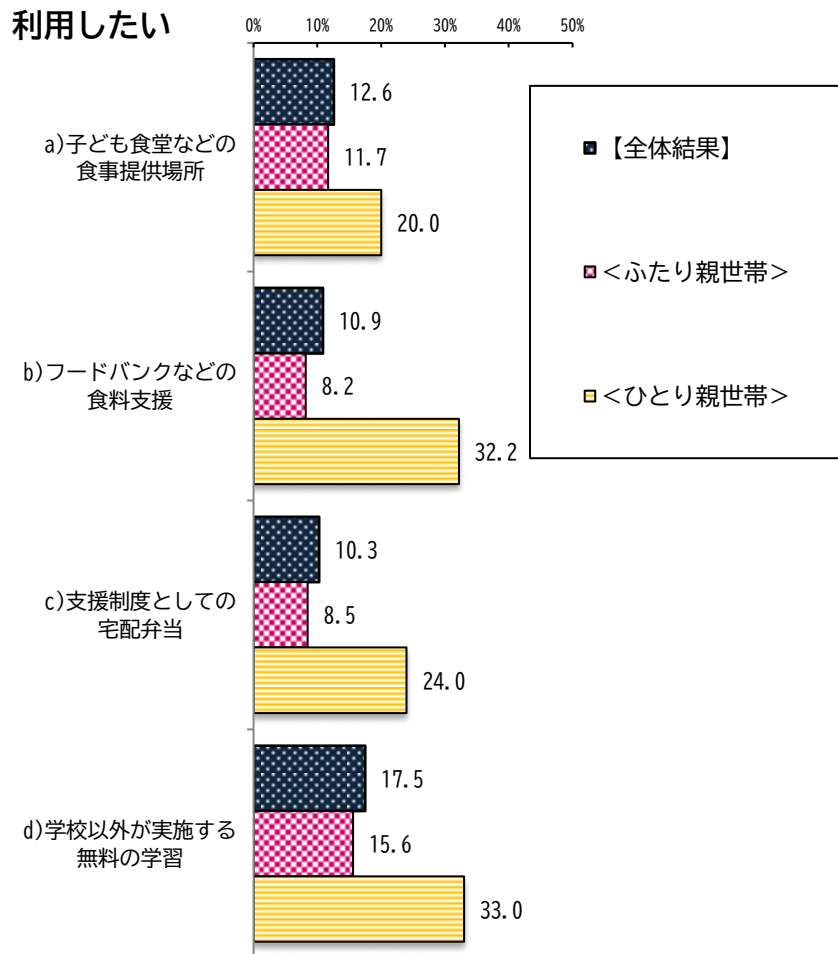
収入が増加するにつれて、全てのサービスに対する利用意向は低下しています。

【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>ほど、特に食事提供や食料支援、宅配弁当などの食料・食事の支援に関する需要が高いことが明らかになりました。

<等価世帯収入が低い層>ほど、食事提供や食料支援などの生活支援サービスに対する需要が高く、経済的な困難が直接的な生活の質に影響を与えることがわかりました。

(世帯構成別にみた『利用したい』人の割合)



【結果のサマリー】

再掲になりますが、全体では「学校以外が実施する無料の学習」に対する利用意向が最も高く、次いで「子ども食堂などの食事提供場所」、「フードバンクなどの食料支援」、「支援制度としての宅配弁当」の順ですが、世帯構成別でも、各層で「学校以外が実施する無料の学習」に対する利用意向が最も高くなっています。

<ひとり親世帯>では、全てのサービスに対する利用意向が高く、特に「フードバンクなどの食料支援」への意向が3人に1人程度あります。

【特徴的な傾向や課題など】

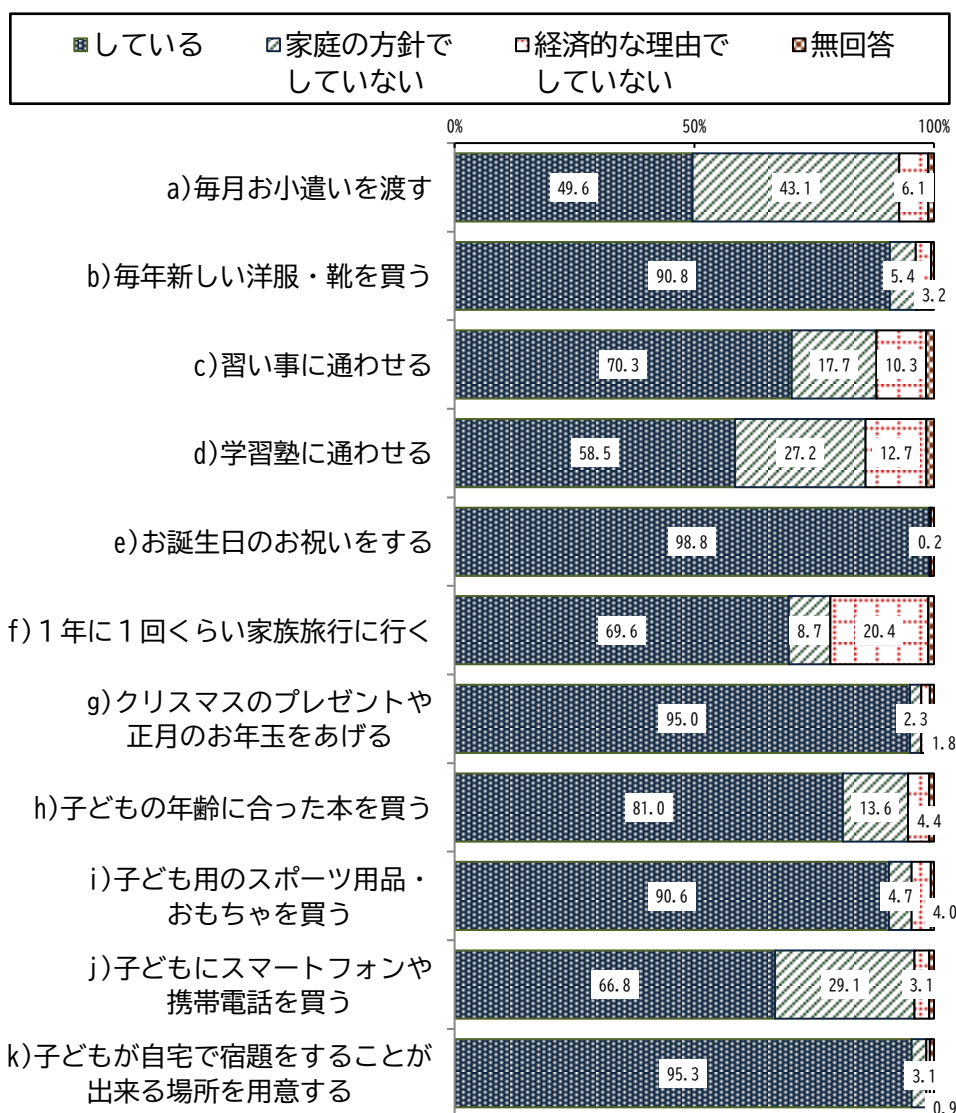
<ひとり親世帯>のすべてに対しての高い利用意向は、経済的な困難に加えて、子育ての負担が大きいことを反映している可能性があるため、<ひとり親世帯>を対象とした更なる支援策の充実が必要であると考えられます。

11. 子どもにしていることや体験等について

①子どもにしていること

問 あなたのご家庭では、お子さんに以下のことをしていますか。
「していない」場合は、「ご家庭の方針」か「経済的な理由」をお答えください。(各 SA)


【全体結果】(n=817)



【結果のサマリー】

結果を整理すると、「子どもが自宅で宿題をすることが出来る場所を用意する」、「クリスマス
のプレゼントや正月のお年玉をあげる」、「お誕生日のお祝いをする」、「子ども用のスポーツ用品・
おもちゃを買う」、「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施率が9割を超え、多くの家庭で行われて
いることがわかります。

一方で、「学習塾に通わせる」、「習い事に通わせる」、「1年に1回くらい家族旅行に行く」は、
経済的な理由で実施していない割合が他の事項より比較的高くなっています。



【特徴的な傾向や課題など】

家族旅行(約2割)や学習塾(1割強)、習い事(約1割)など、経済的な理由で支援を行っていない割合が高い項目は、家庭の経済状況によって子どもへの支援に差が出ていることを示しています。経済的な格差が子どもの経験や学習機会に影響を与える可能性があることがわかりました。

毎月お小遣いを渡す(4割強)や学習塾に通わせる(2割台)、スマートフォンや携帯電話を購入する(約3割)など、家庭の方針によって支援を行っていない割合が高い項目は、家庭によって子どもへの教育や生活環境に対する考え方が異なることを示しています。子どもの自立や教育方針に関する家庭内の意思決定が多様であることがわかりました。

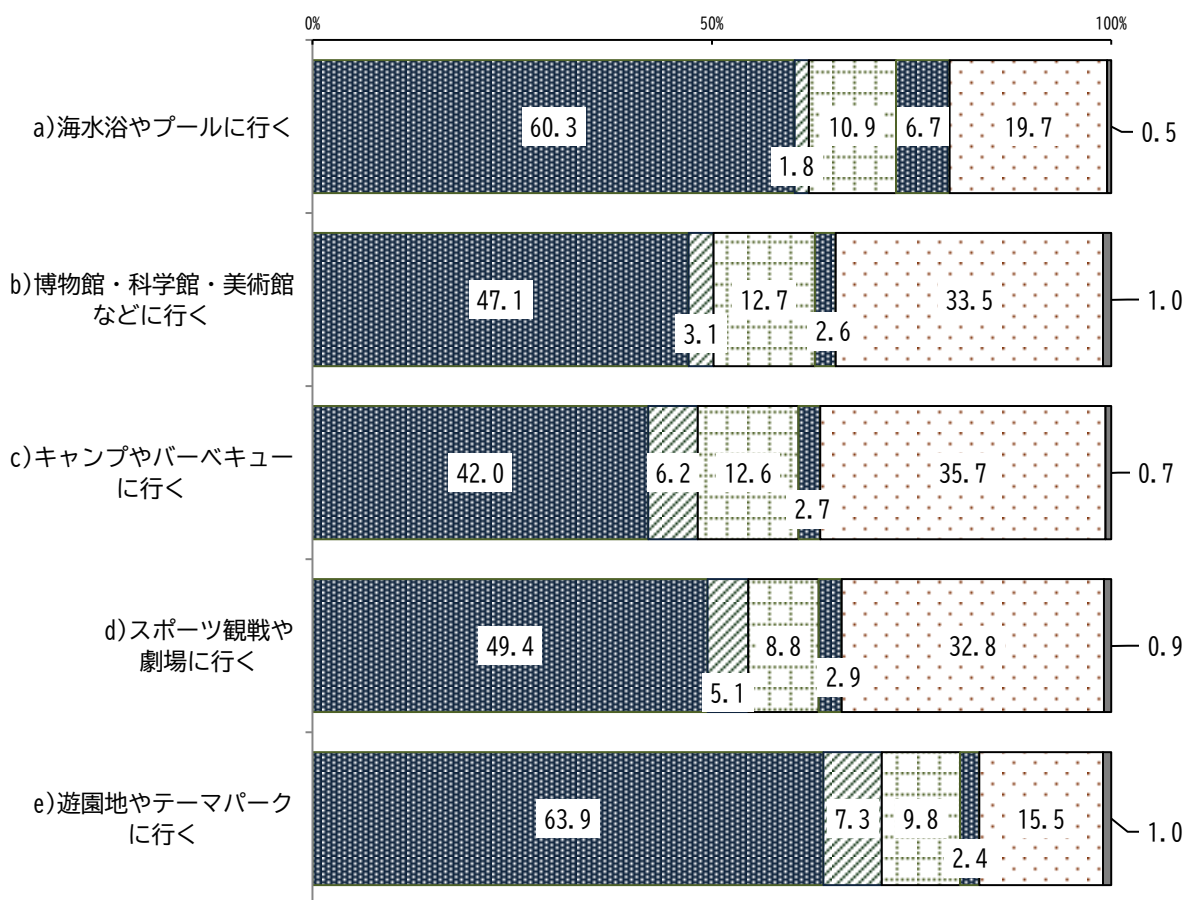
この結果から、各家庭で子どもへ行われていることには経済的な要因や家庭の方針による差異が存在し、基本的な事項は広く行われているものの、子どもの経験や学習機会に影響を与える可能性がある事項があることもわかりました。

②過去1年間の体験

問 あなたのご家庭では、過去1年間において、お子さんと一緒に以下の様な体験をしましたか。
「ない」場合は、その一番の理由としてあてはまるものをお答えください。(各 SA)

【全体結果】(n=817)

■ある □経済的理由から □時間の制約から ■コロナ対策から □その他の理由から ■無回答
ない ない ない ない



【結果のサマリー】

結果を整理すると、「遊園地やテーマパークに行った」子どもが最も多く6割以上が体験しています。「海水浴やプールに行った」子どもも約6割と高い体験率を示しています。

一方で、「スポーツ観戦や劇場に行った」や「博物館・科学館・美術館などに行った」、「キャンプ・バーベキューに行った」子どもは、それぞれ4割台と比較的低くなっています。

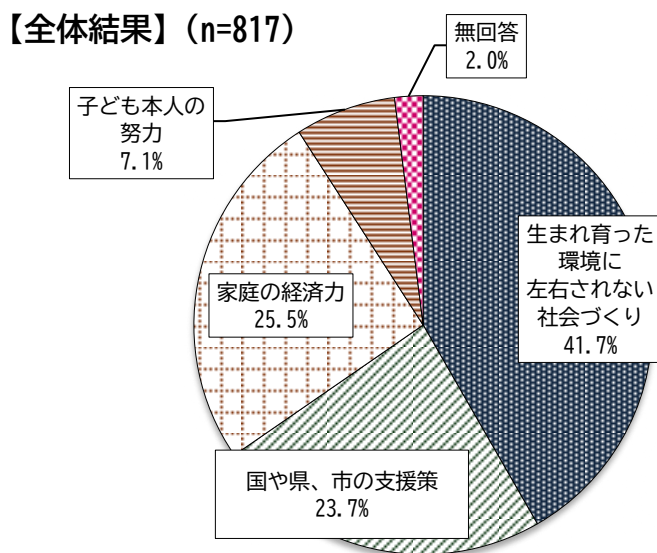
【特徴的な傾向や課題など】

最も体験率が高いのは「遊園地やテーマパーク」ですが、一方で、経済的な理由で行かなかった割合が最も高いのも「遊園地やテーマパーク」です。

経済的な理由で様々なことを体験できない子どもも一定数存在することがわかりました。特に「遊園地やテーマパーク」のようなコストがかかる活動については、体験率を上げるためにある種の経済的な支援が必要かもしれません。

12. 子どもの成長にとって最も重要なこと

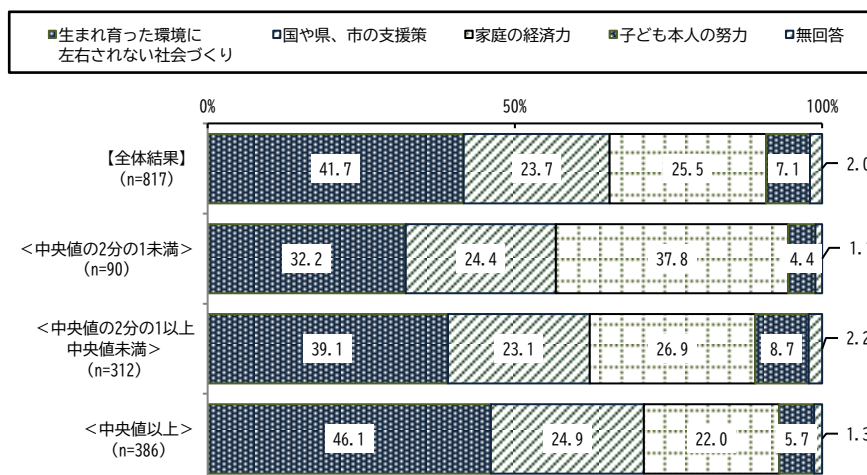
問 子どもが心身ともに健やかに成長し、教育の機会が均等に保障され、夢や希望を持って成長することができるようになるために、あなたが最も重要だと思うものを1つ選んでください。(SA)



【結果のサマリー】

最も重要だと考えられているのは「生まれ育った環境に左右されない社会づくり」、次いで「家庭の経済力」、「国や県、市の支援策」、「子ども本人の努力」の順となっています。

(等価世帯収入別・世帯構成別にみた「最も重要視すること」)



【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>では、「家庭の経済力」を重要視する割合が全体平均よりも高く、逆に「生まれ育った環境に左右されない社会づくり」を重要視する割合が最も低くなっています。

「生まれ育った環境に左右されない社会づくり」を重要視する割合が最も高いのは<中央値以上>です。

<ふたり親世帯>では、「生まれ育った環境に左右されない社会づくり」を重要視する割合が最も高く、【全体結果】とほぼ同様の傾向を示しています。

<ひとり親世帯>では、「家庭の経済力」を重要視する割合が【全体結果】よりも高く、「生まれ育った環境に左右されない社会づくり」とほぼ同等となっています。

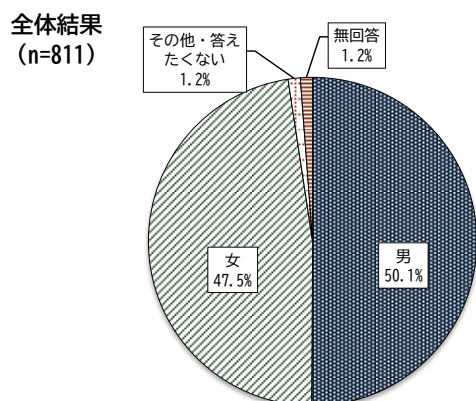
<等価世帯収入が低い層>ほど家庭の経済力を重要視する傾向があり、一方で収入が高い世帯では、社会全体の環境改善を重要視する傾向があります。また、<ひとり親世帯>では、家庭の経済力が特に重要視されています。

Ⅲ 子どもの生活状況編

1. 子ども回答者の基本属性

①性別

問 あなたの性別を教えてください。(SA)

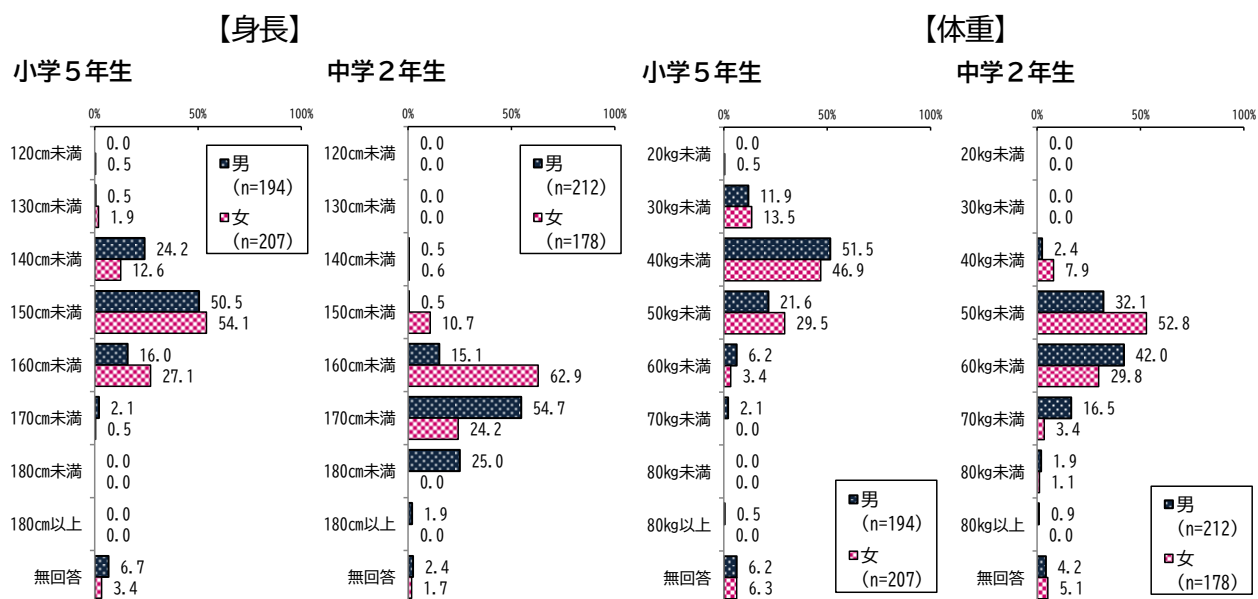


【結果のサマリー】

回答者の学年と性別は左図のとおりです。

②身長・体重別

問 あなたの身長と体重を教えてください。(NA)



【結果のサマリー】

回答者の身長と体重は上図のとおりです。

参考として、令和2年度の学校保健統計による平均値を以下に掲載します。

○小学5年生の男子：身長 140.1cm・体重 35.9 kg

○小学5年生の女子：身長 141.5cm・体重 35.4 kg

○中学2年生の男子：身長 161.4cm・体重 50.9 kg

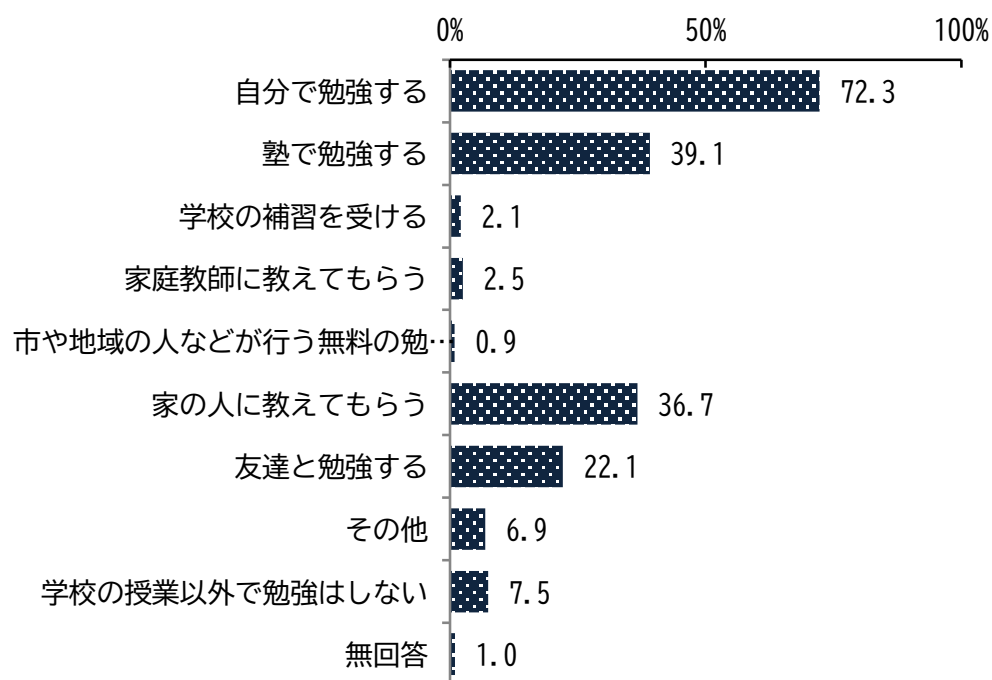
○中学2年生の女子：身長 155.2cm・体重 47.9 kg

2. 学習や勉強、成績、授業理解の状況について

①授業以外での勉強方法

問 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。勉強には、学校の宿題もふくみます。(MA)

全体結果 (n=811)

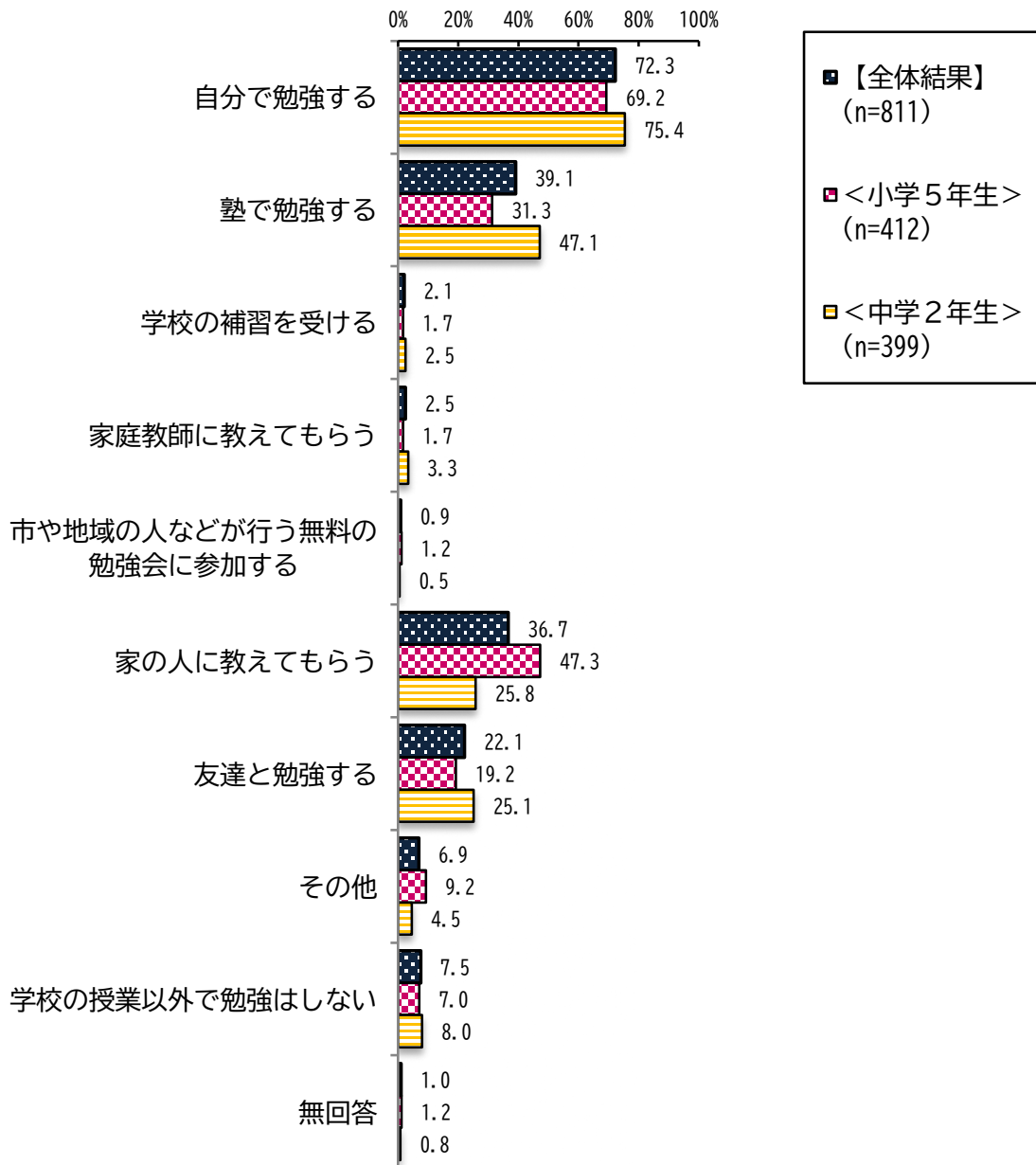


【結果のサマリー】

7割以上の子どもが「自分で勉強する」と回答しています。次いで「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」が続いています。

一方で、「学校の授業以外で勉強はしない」子どもも1割未満いることが調査よりわかりました。

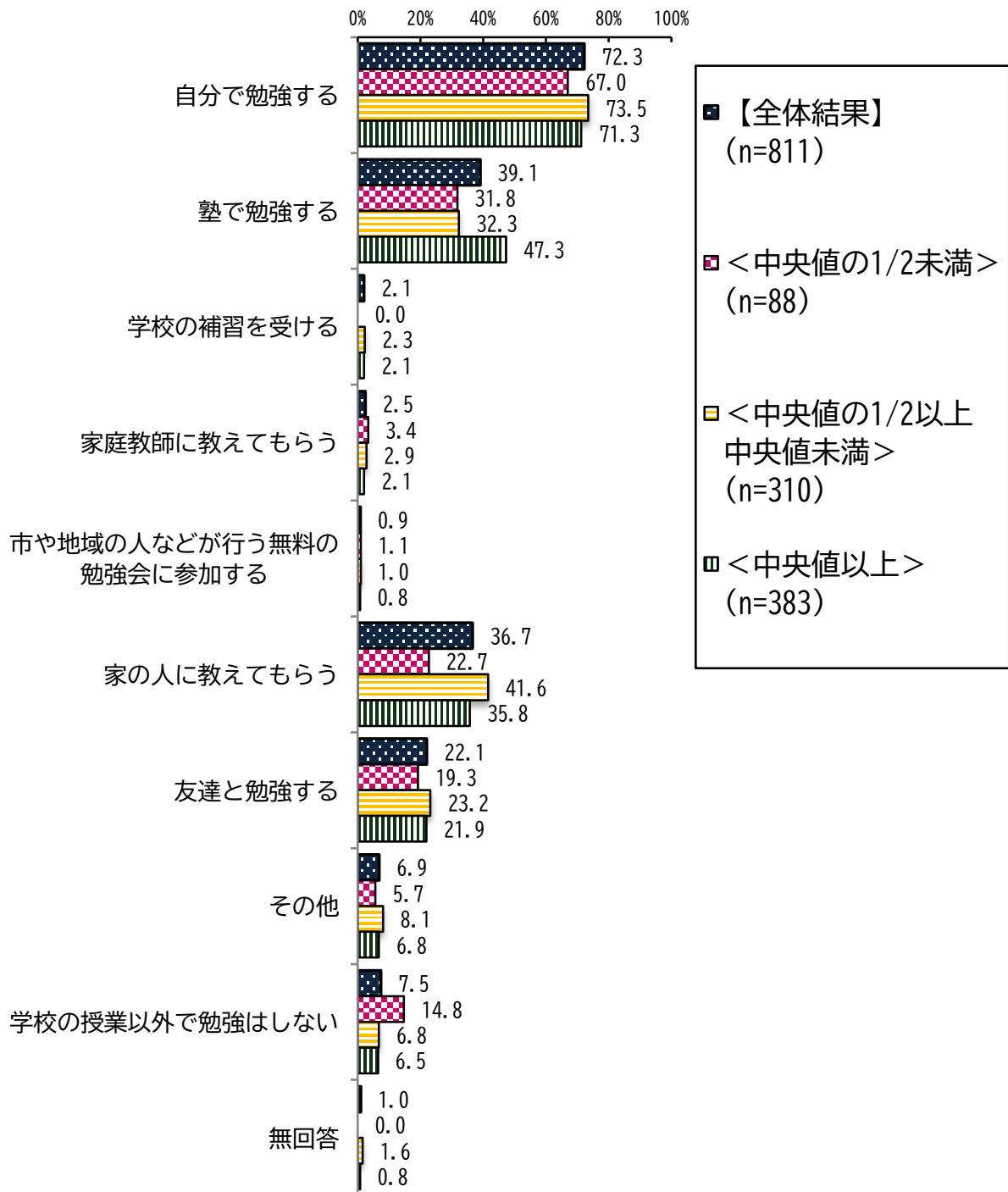
(学年別にみた「授業以外での勉強方法」)



【特徴的な傾向や課題など】

<中学2年生>の方が「塾で勉強する」割合が高く、「家の人に教えてもらう」割合が低い傾向にあります。

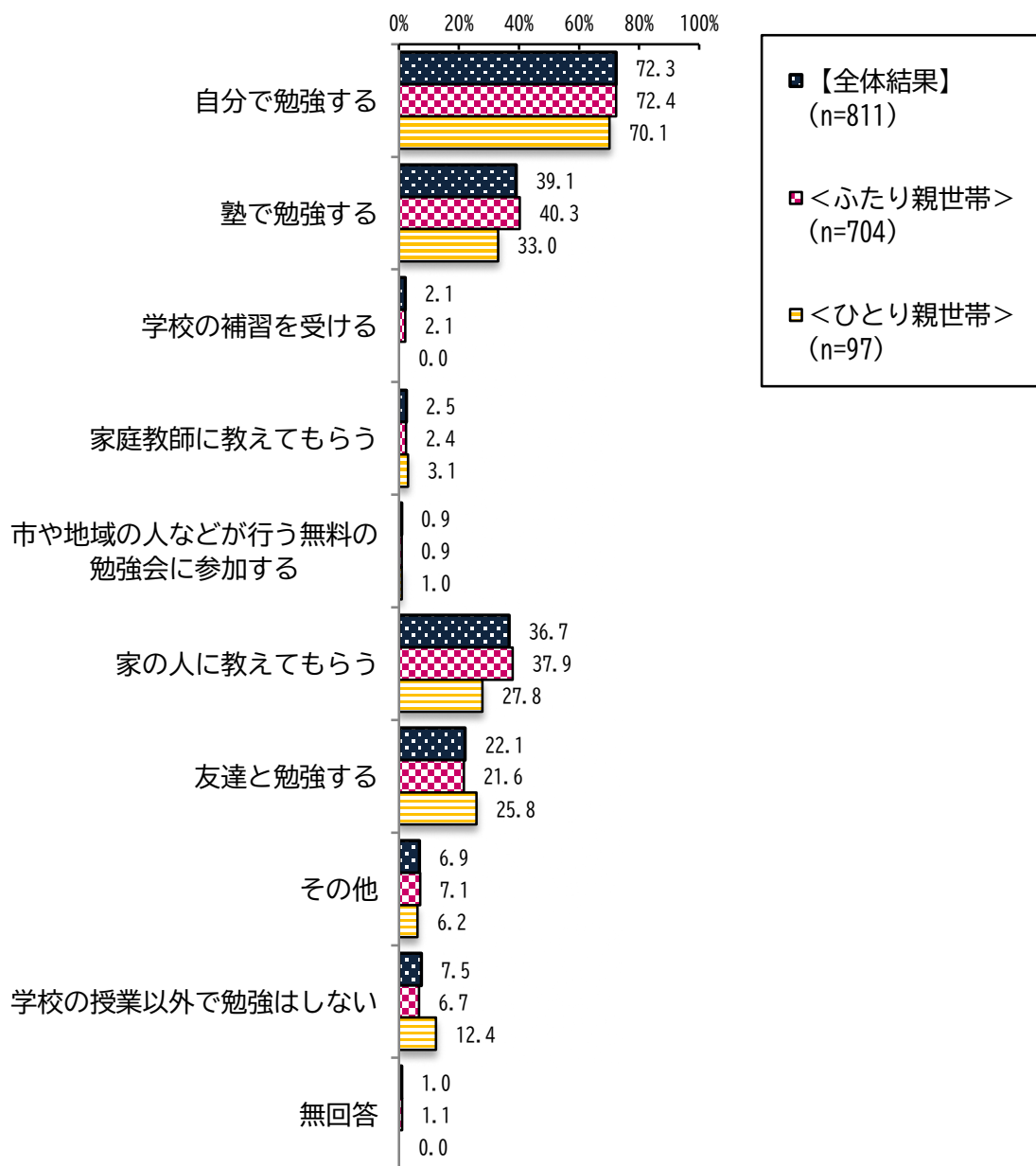
(等価世帯収入別に見た「授業以外での勉強方法」)



【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>の子どもは、他の層に比べて、塾に通う割合が低く、学校の授業以外で勉強しない割合が高くなっています。経済的な理由で学習の機会が限られている可能性があります。

(世帯構成別にみた「授業以外での勉強方法」)

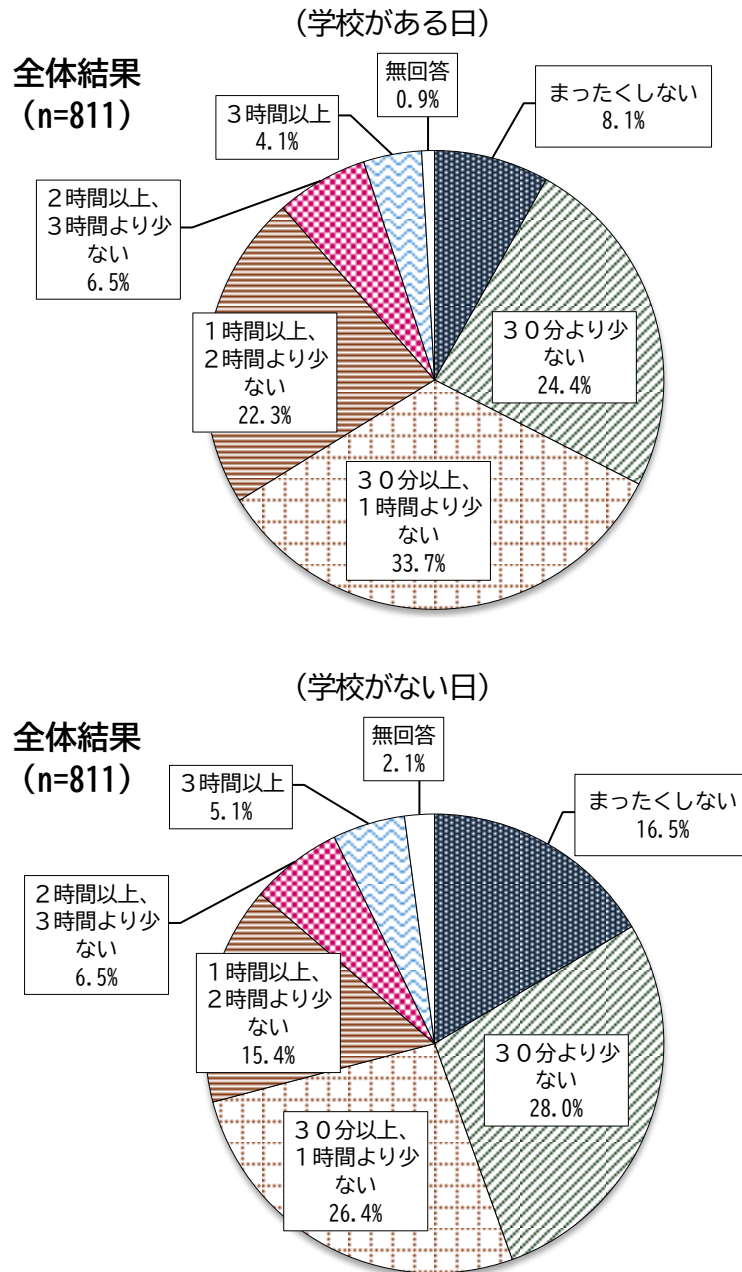


【特徴的な傾向や課題など】

<ひとり親世帯>の子どもは「家の人に教えてもらう」割合が<ふたり親世帯>よりも低いため、家庭での学習支援が十分でない可能性があります。さらに、前述のとおり、学年が上がるにつれて塾での学習が増え、家庭での学習が減る傾向にあるため、特に<ひとり親世帯>では、子どもの成長とともに家庭での学習支援が難しくなるという課題がみられました。

②授業以外の勉強時間

問 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日にどれくらいの時間、勉強をしますか。(各SA)
 a) 学校がある日(月曜日～金曜日)
 b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)

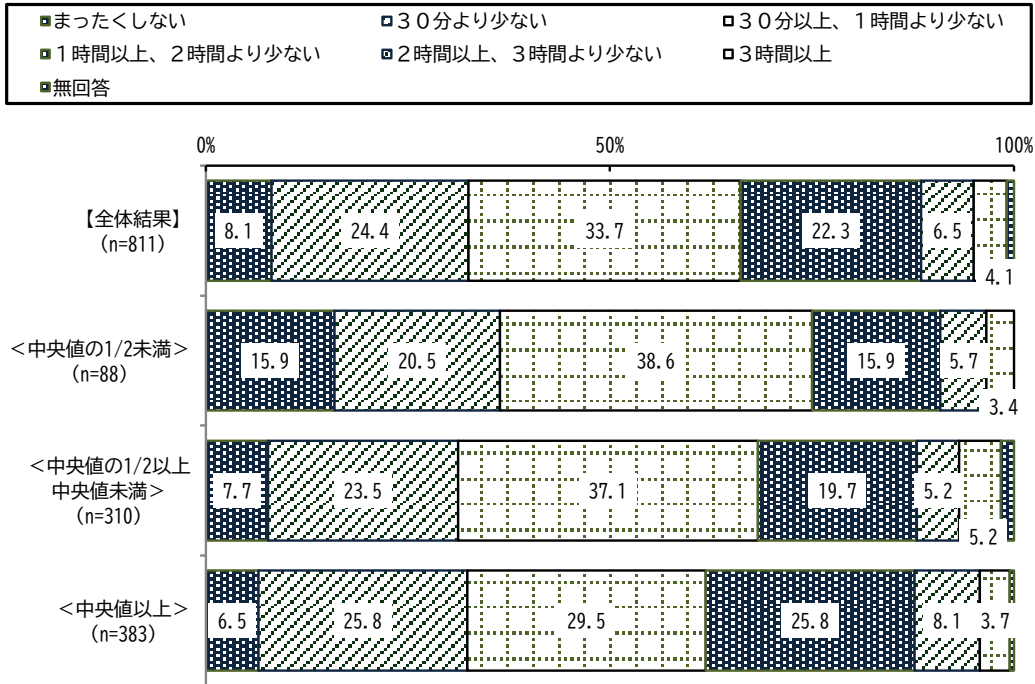


【結果のサマリー】

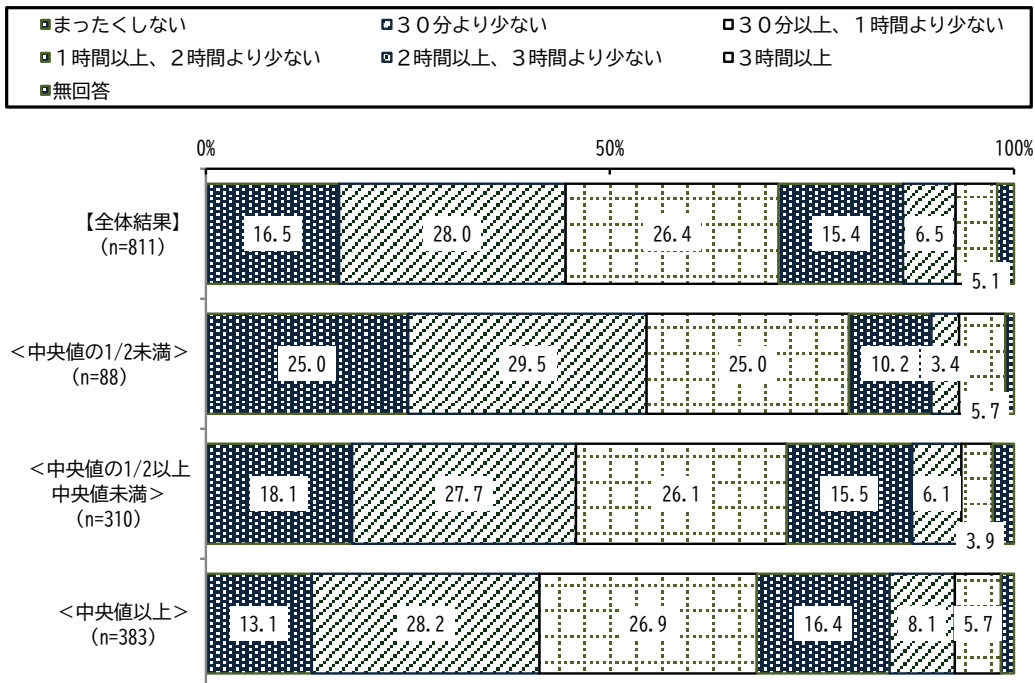
学校がある日、学校がない日ともに「30分以上、1時間より少ない」が最も多くなっています。

(等価世帯収入別にみた「授業以外の勉強時間」)

(学校がある日)



(学校がない日)

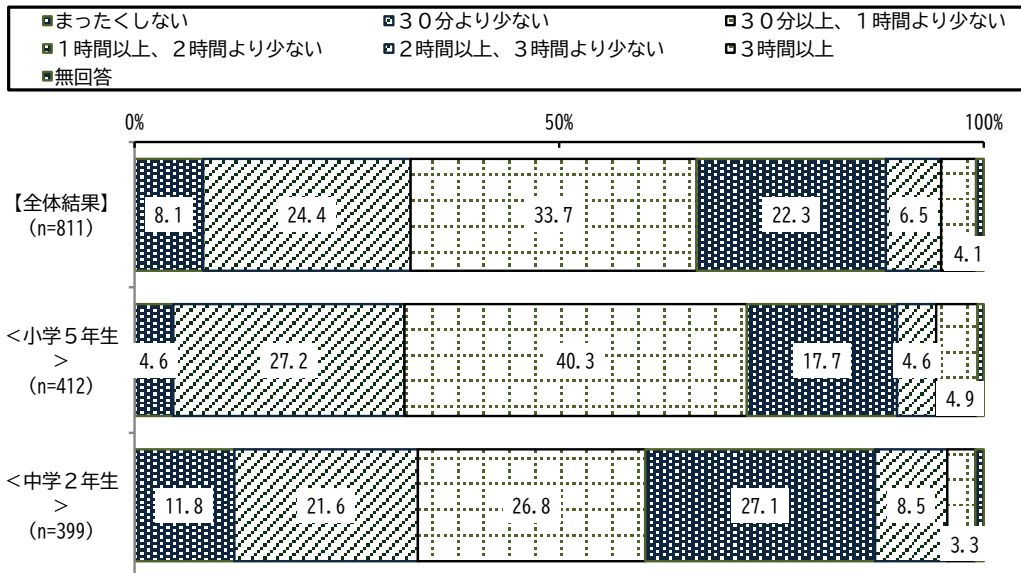


【特徴的な傾向や課題など】

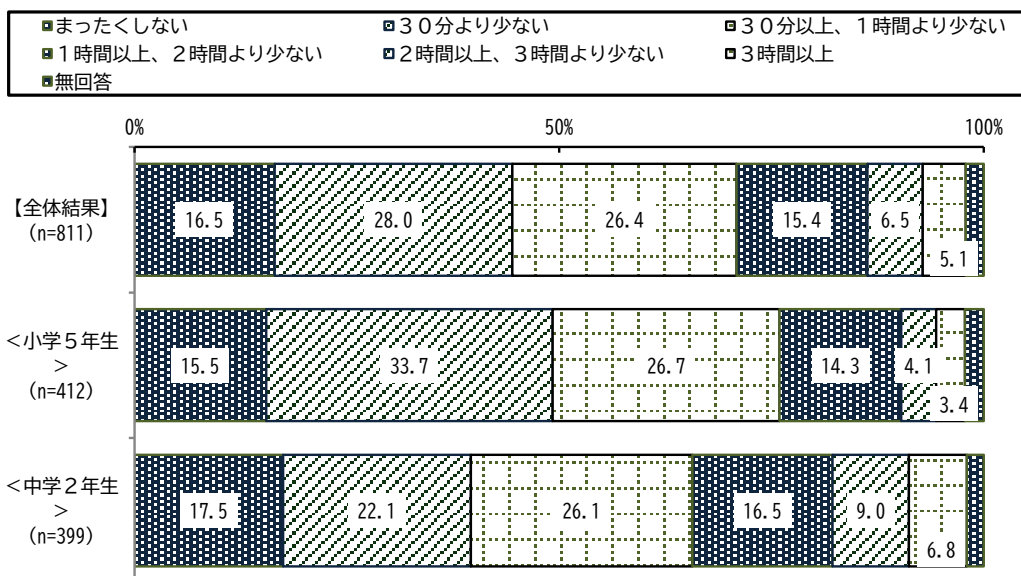
学校がある日、学校がない日ともに<等価世帯収入が低い層>では学習時間が短い傾向がみられます。放課後や休日を活用した学習支援が必要かもしれません。

(学年別にみた「授業以外の勉強時間」)

(学校がある日)



(学校がない日)

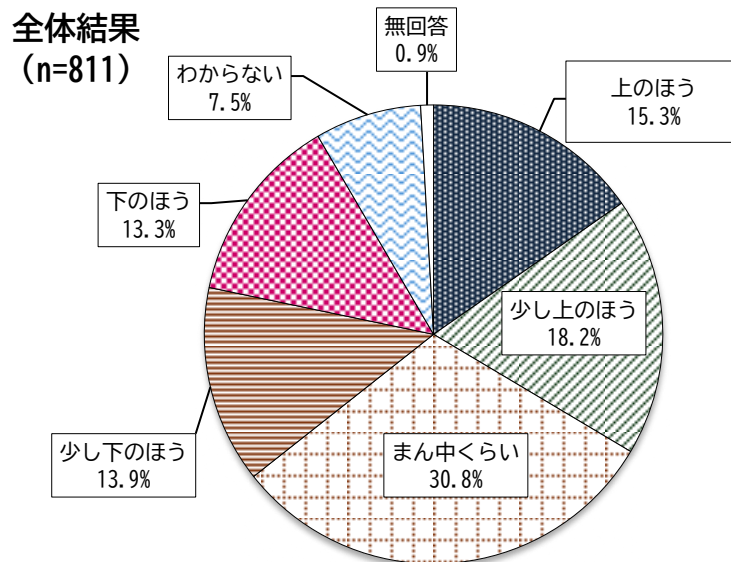


【特徴的な傾向や課題など】

学年が上がるにつれて、勉強時間は増える傾向にありますが、小学生のうちから効率的な学習習慣を身につけるための支援が必要かもしれません。

③成績への自己評価

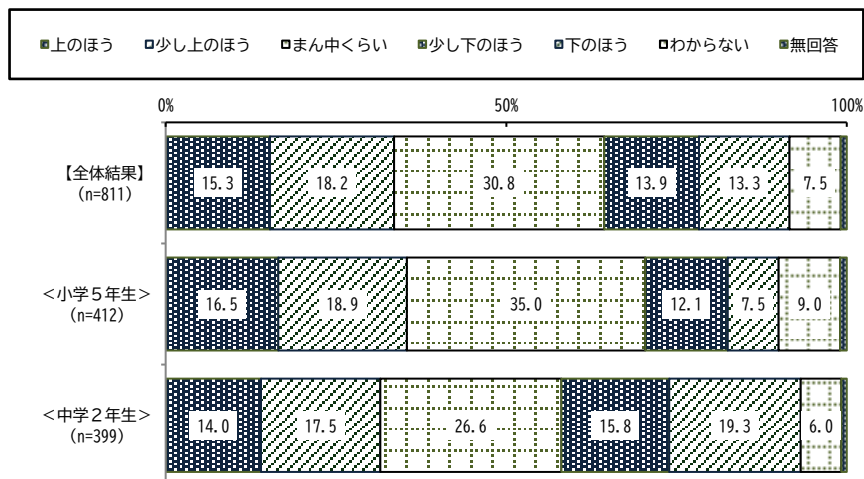
問 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(SA)



【結果のサマリー】

自己評価における成績の位置づけは「まん中くらい」が最も多く、約3割を占めています。

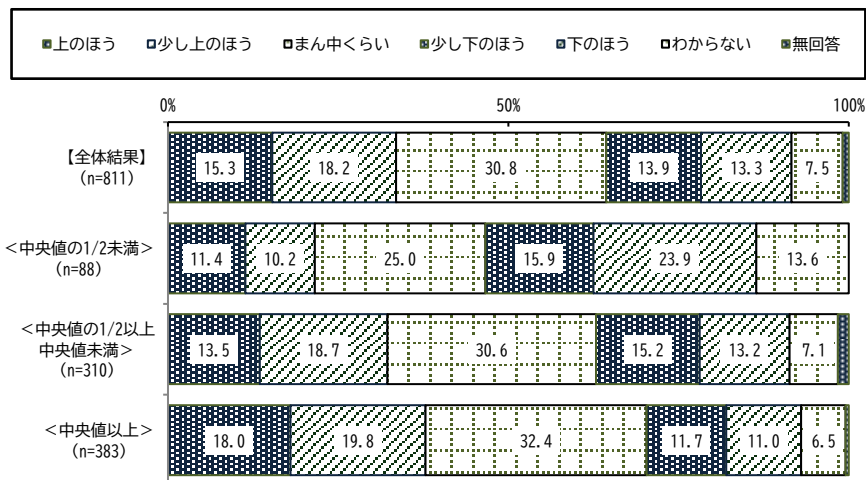
(学年別にみた「成績への自己評価」)



【特徴的な傾向や課題など】

学年が上がるにつれて、自己評価における成績の位置づけがやや低下する傾向が見られます。

(等価世帯収入別にみた「成績への自己評価」)



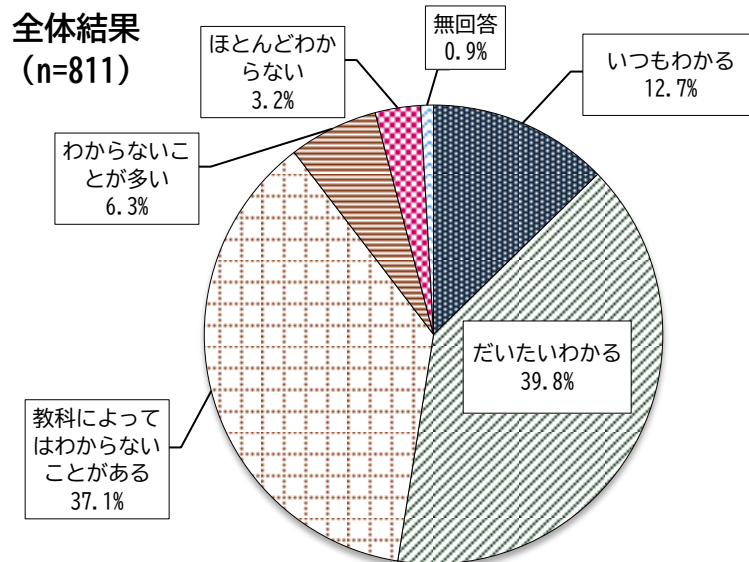
【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>では「下のほう」が全体平均よりも高く、「上のほう」が低い傾向があります。

<等価世帯収入が低い層>では自己評価が低めであることから、経済的な支援と併せて、学習の機会や環境を整えることも重要です。

④授業理解について

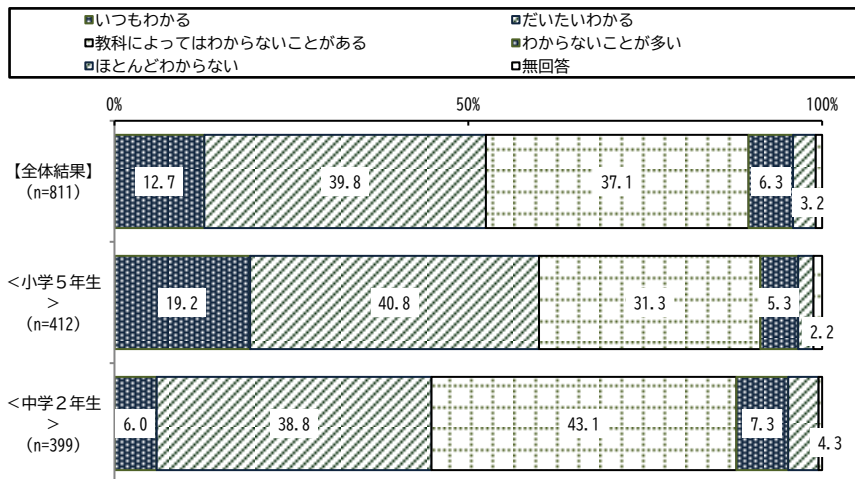
問 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(SA)



【結果のサマリー】

「だいたいわかる」と回答した割合が最も多く、約4割を占めています。
「教科によってはわからないことがある」との回答が続きます。

(学年別にみた「授業理解について」)



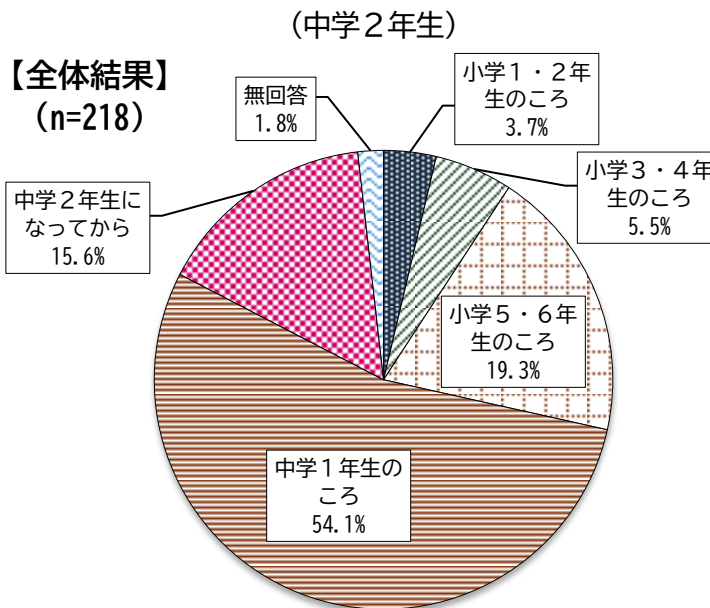
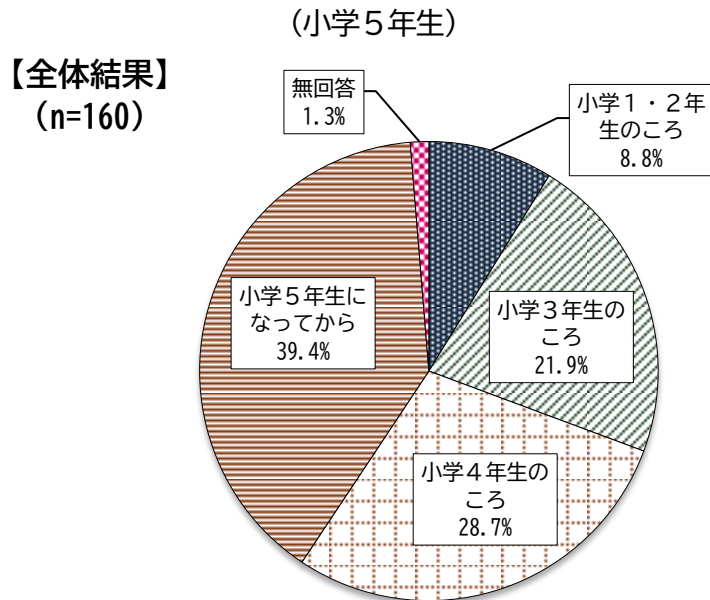
【特徴的な傾向や課題など】

学年が上がるにつれて、授業の理解度が下がる傾向が見られます。中学生になると学習内容が難しくなるため、授業の理解度を向上させるためのサポートが必要です。

また、「教科によってはわからないことがある」という回答が多いことから、個々の教科に特化した学習支援も求められます。

⑤わからなくなった時期

該当設問 いつごろから、授業がわからないことがありますようになりましたか。(SA)



【結果のサマリー】

小学生は、『小学4年生以降』になってからという回答が多くなっています。

中学生は、「中学1年生のころ」からという回答が多くなっています。

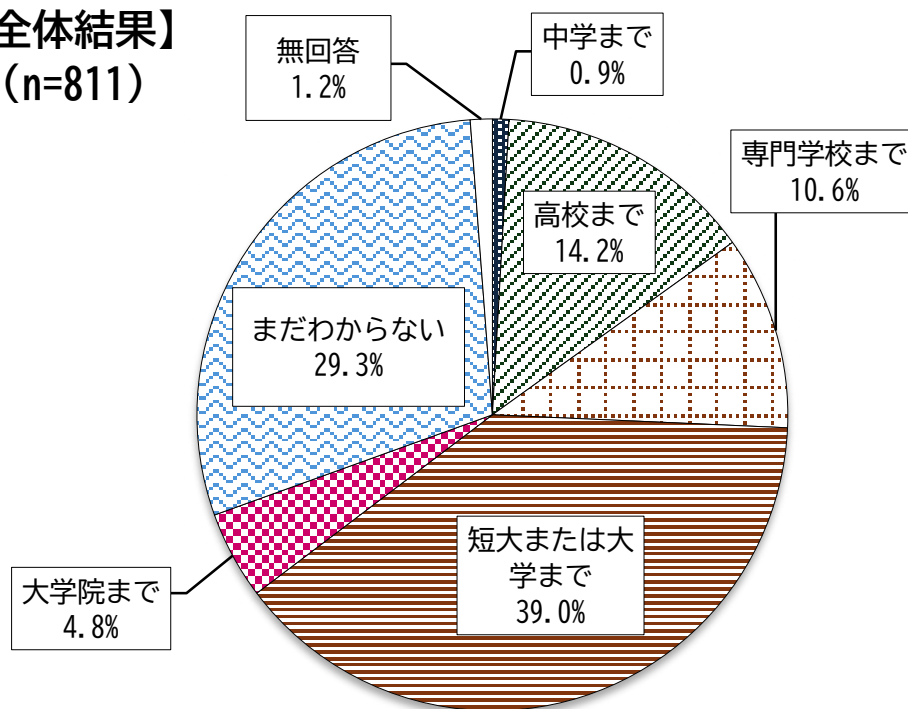
学年が上がるにつれて、授業理解に困難を感じる生徒が増える傾向が見られます。特に、小学校から中学校への移行期において、授業理解に困難を感じる生徒が多くなっています。

3. 進学希望や将来の目標について

①希望する進学先

問 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(SA)

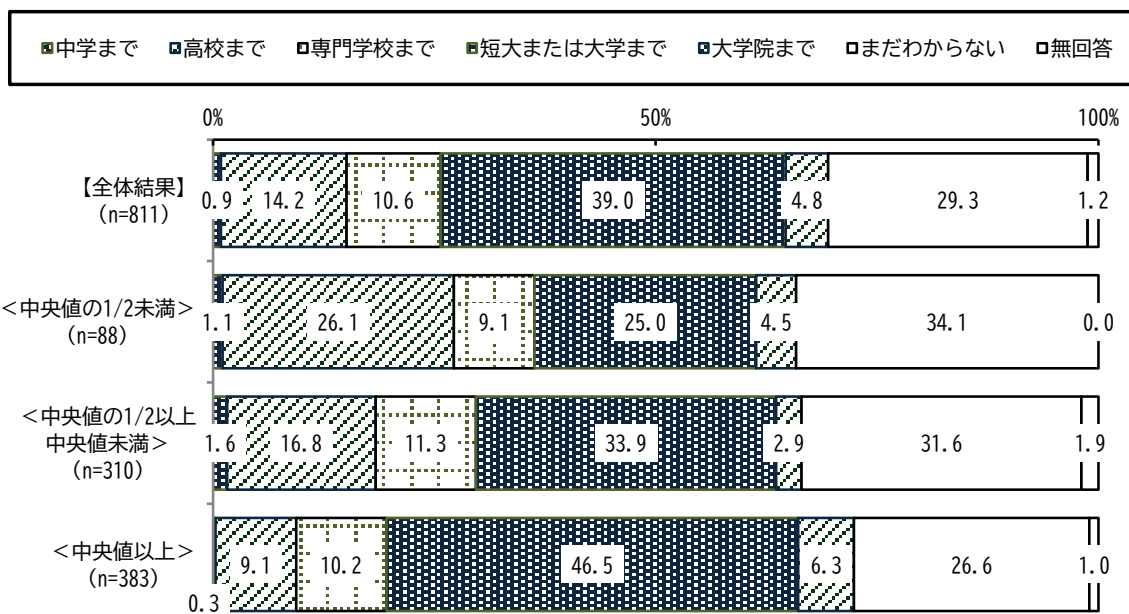
【全体結果】 (n=811)



【結果のサマリー】

「短大または大学まで」進学したいと考えている割合が最も高く、約4割を占めています。
「まだわからない」と回答した割合も約3割あります。

(等価世帯収入別に見た「希望する進学先」)



【特徴的な傾向や課題など】

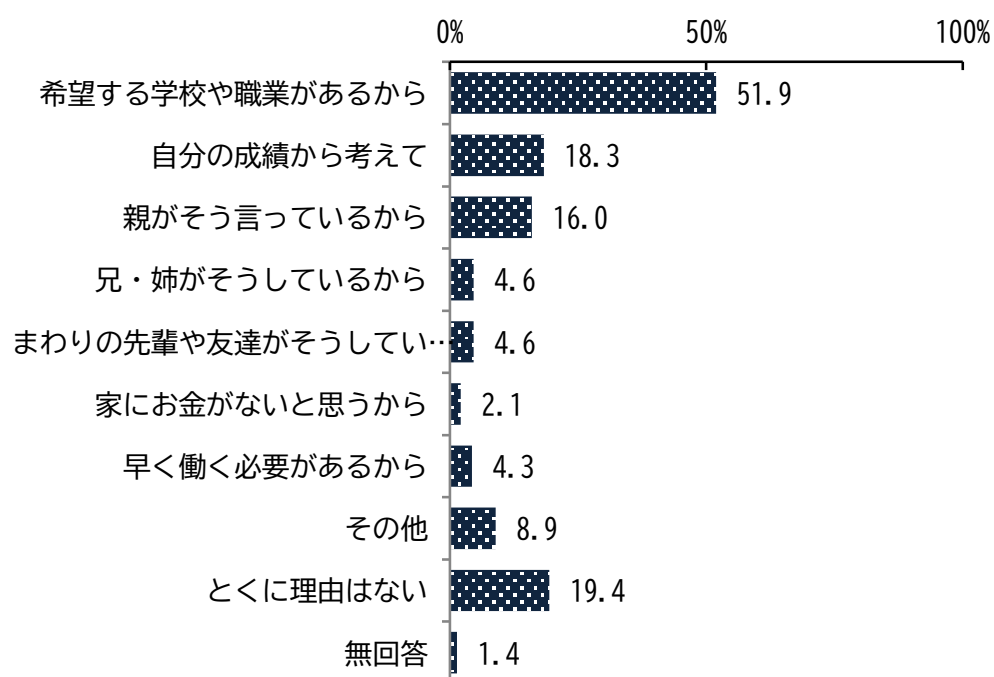
経済的な背景によって進学意向に差があることが明らかになりました。

<等価世帯収入が低い層>では「高校まで」の進学意向が高く、収入が高くなる層ほど「短大または大学まで」の進学意向がより強くなります。

②進学先選定理由

該当設問 『希望進学先』をそう考える理由を教えてください。(MA)

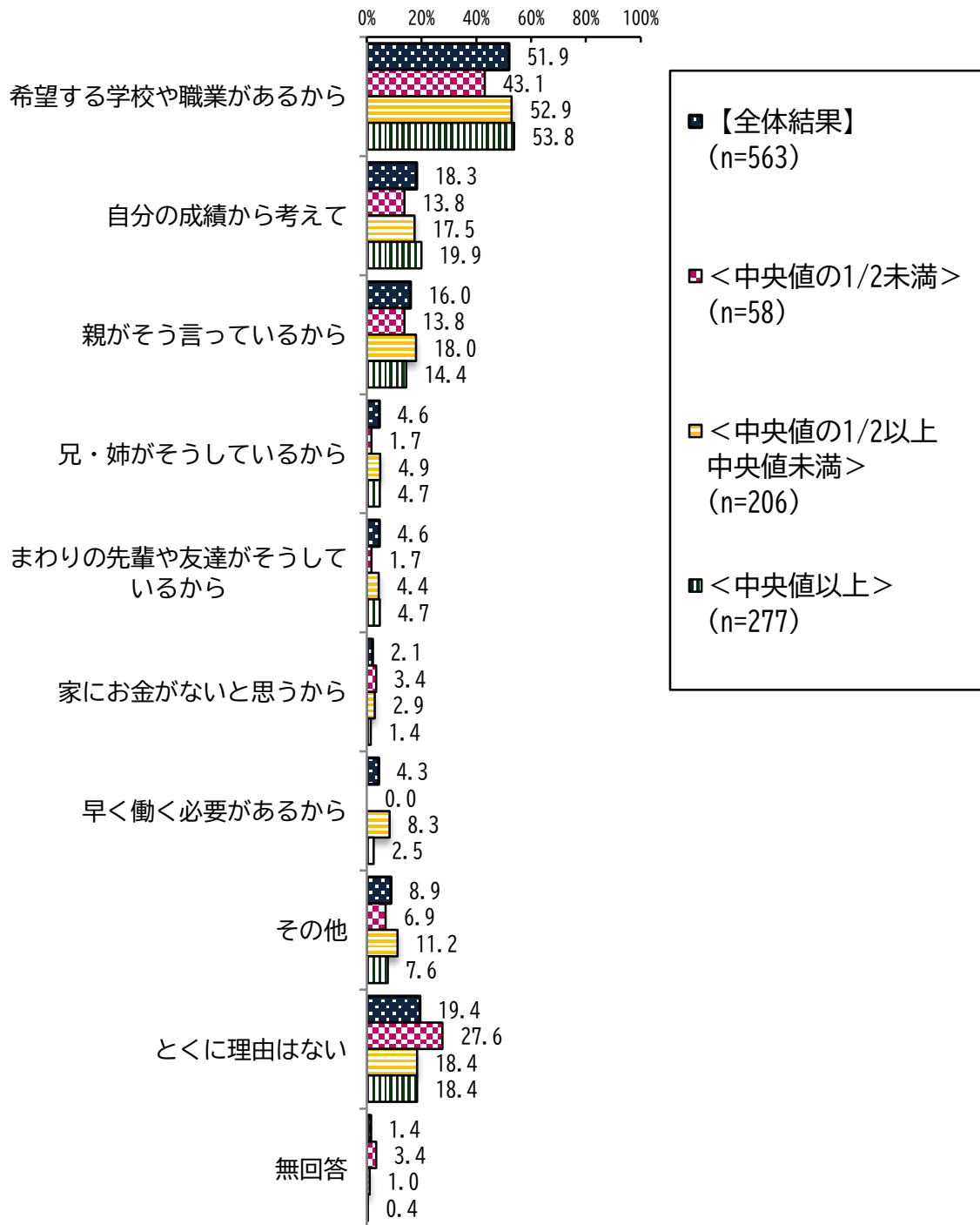
【全体結果】 (n=563)



【結果のサマリー】

最も多い理由は「希望する学校や職業があるから」で半数以上が回答しています。次いで、割合は大きく低下し、「自分の成績から考えて」や「親がそう言っているから」が続きます。

(等価世帯収入別に見た「進学先選定理由」)

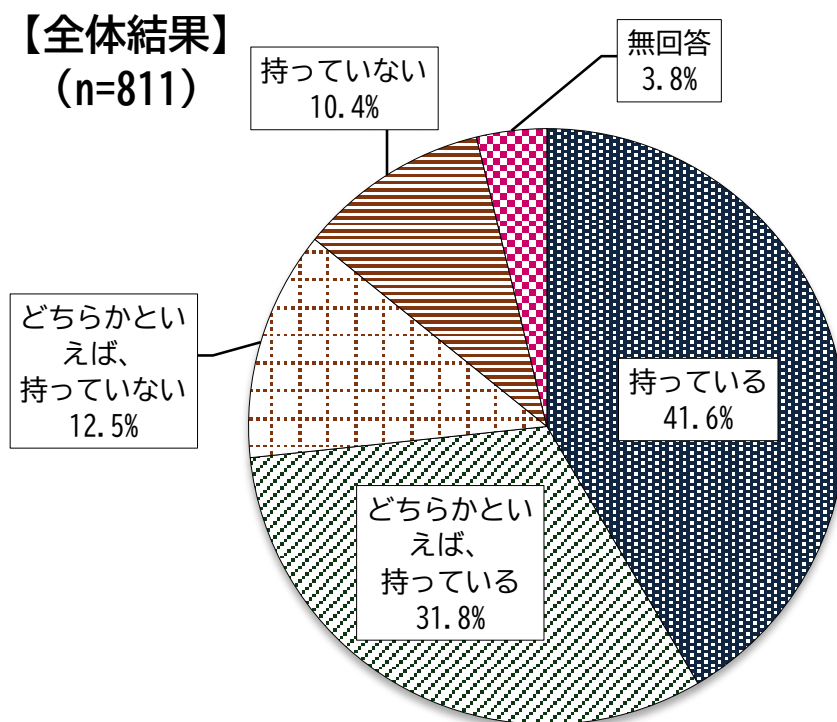


【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>では「希望する学校や職業があるから」という理由が他の層よりも少なく、「とくに理由はない」と回答する割合が高いことから、進学や将来の職業に対する具体的なビジョンが持ちにくい状況にあると考えられます。

③夢や希望の有無

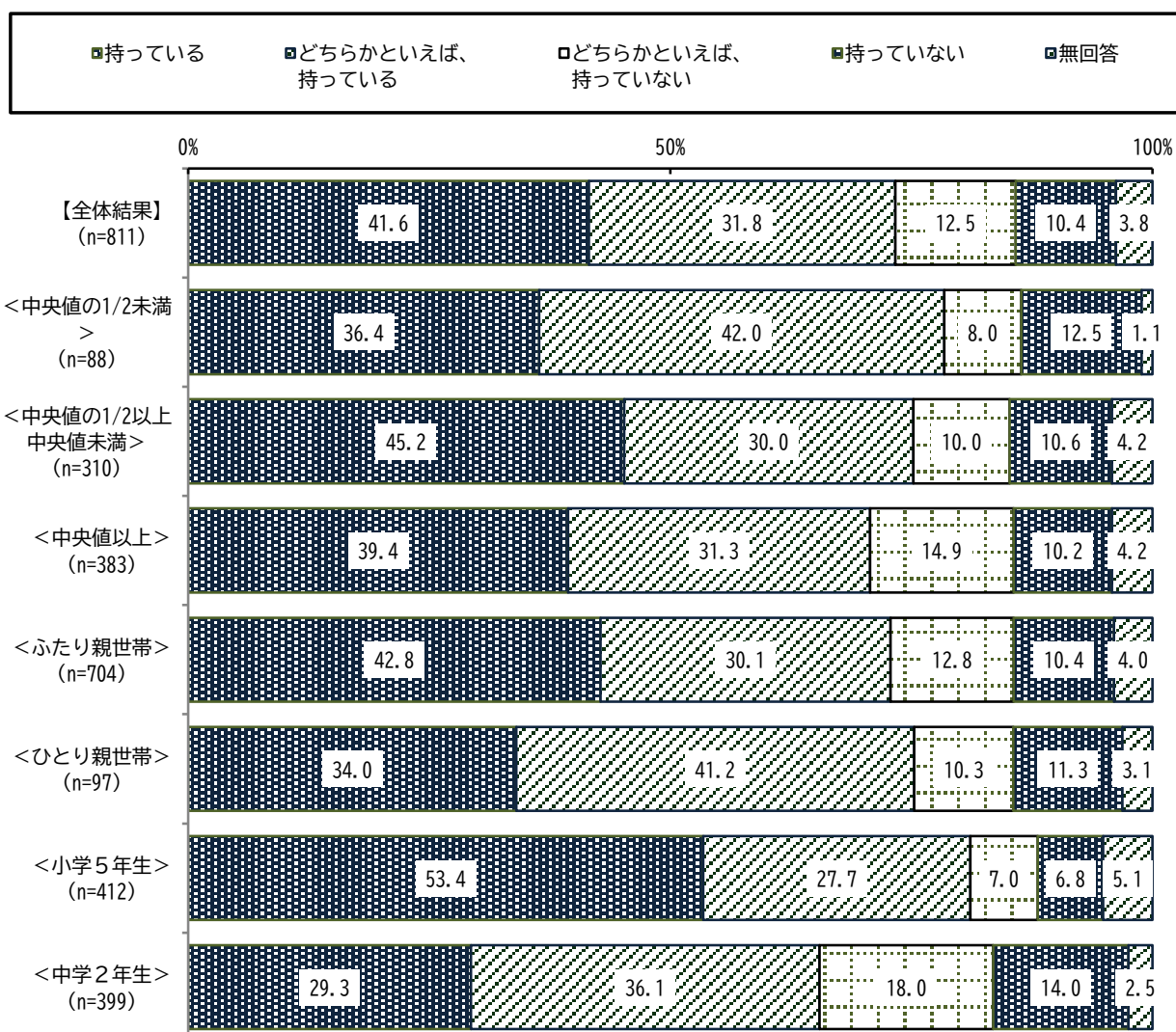
問 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。(SA)



【結果のサマリー】

「持っている」と答えた人と「どちらかといえば、持っている」と答えた人を合わせた約4人に3人(73.4%)が夢や目標を『持っている』と回答しています。

(等価世帯収入別・世帯構成別・学年別にみた「夢や希望の有無」)



【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>や<ひとり親世帯>では、「持っている」という回答が少ない一方で、「どちらかといえば、持っている」という回答が多いことから、明確な夢や目標を持ちにくい環境にある可能性が示唆されました。

<小学5年生>では将来の夢や目標を「持っている」割合が高いことから、この年齢層でのキャリア教育や夢を育む環境の提供がより重要になると考えられます。

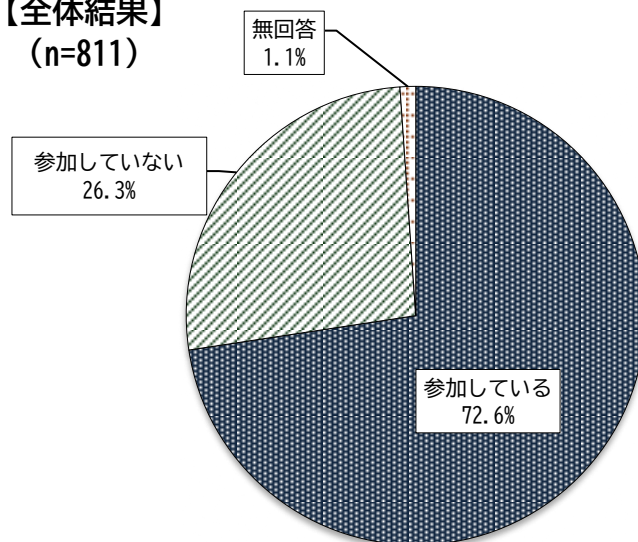
<中学2年生>では夢や目標を「持っていない」と答える割合が高く、中学生になると夢や目標に対する考え方が変化する人も増えています。

4. 諸活動への参加状況や習い事の実施状況について

①諸活動への参加状況

問 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(SA)

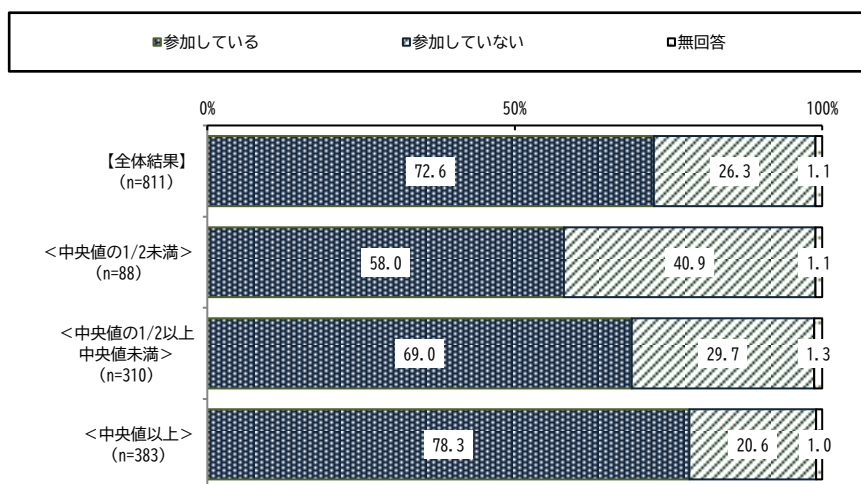
【全体結果】 (n=811)



【結果のサマリー】

7割以上の子どもがスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に「参加」しています。

(等価世帯収入別にみた「諸活動への参加状況」)



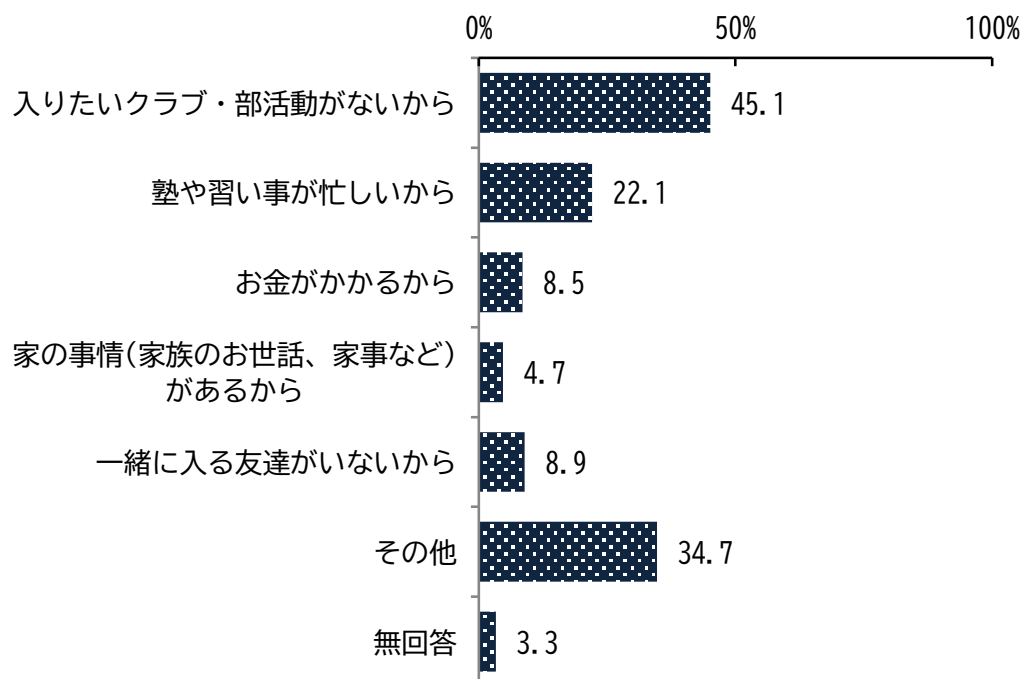
【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>は「参加している」割合が6割弱と他の層よりも低くなっています。

②参加していない理由

該当設問 参加していない理由を教えてください。(MA)

【全体結果】 (n=213)



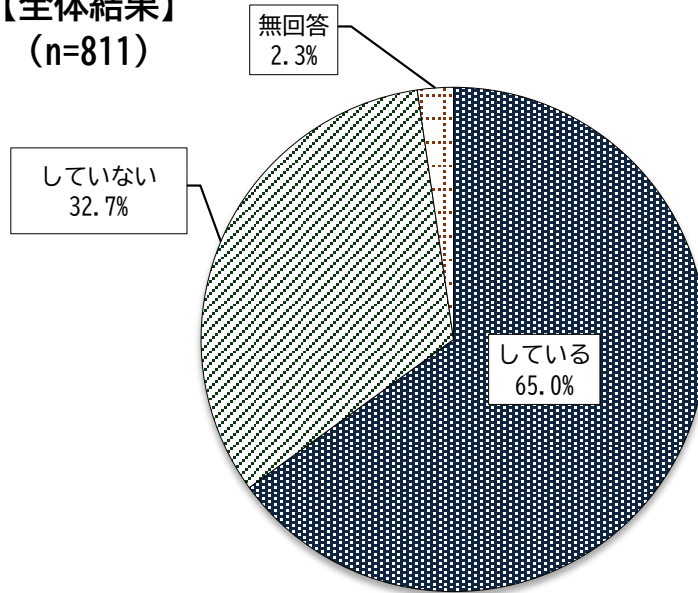
【結果のサマリー】

「入りたいクラブ・部活動がないから」が4割台で最も多い理由です。

③習い事の実施状況

問 あなたは、習い事（スポーツや楽器のレッスン、英会話など）をしていますか。（SA）

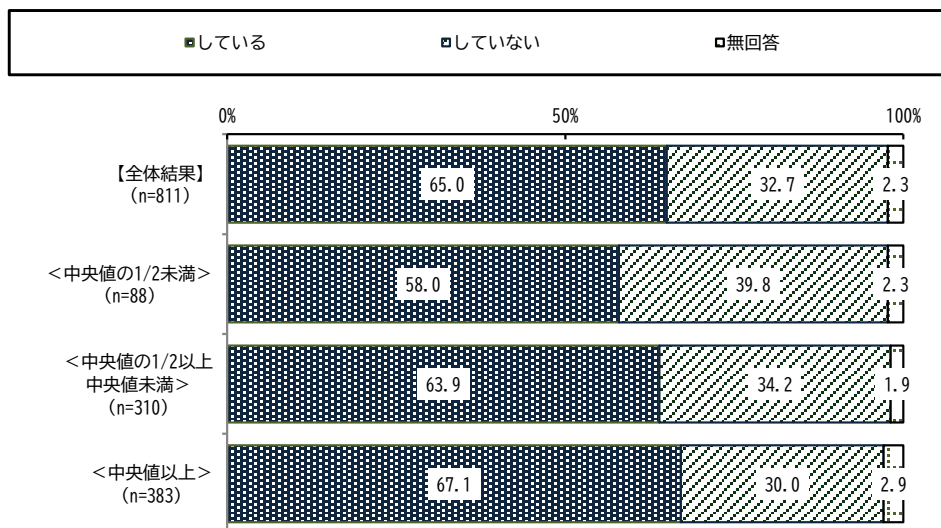
【全体結果】
(n=811)



【結果のサマリー】

約3人に2人の子どもが何らかの習い事をしています。

(等価世帯収入別・世帯構成別・学年別にみた「習い事の実施状況」)



【特徴的な傾向や課題など】

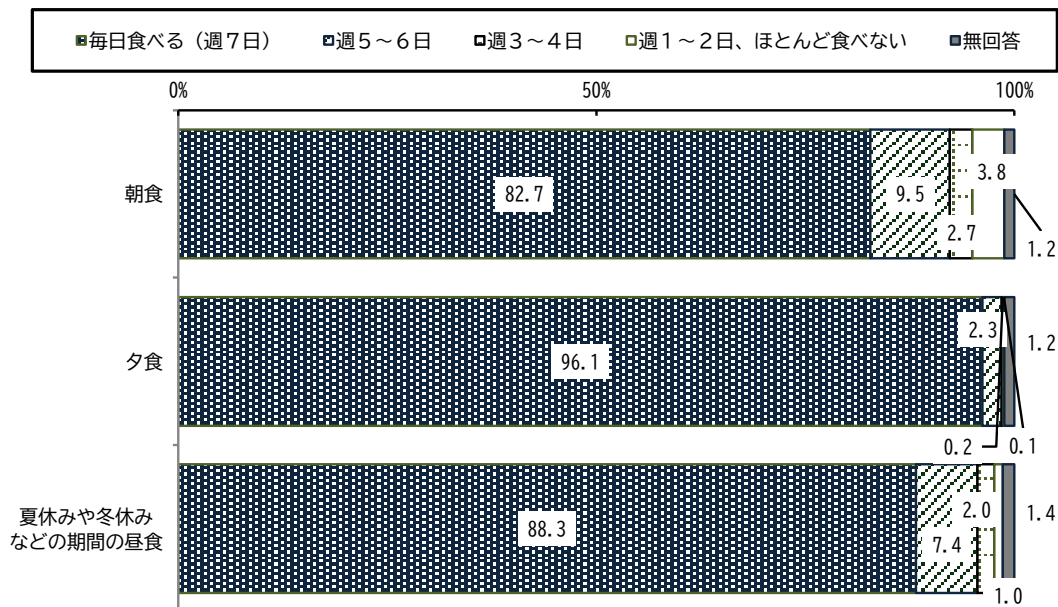
<等価世帯収入が低い層>では、習い事をしている割合が他の層よりも比較的低くなっています。

5. 食生活や日常生活等の状況について

①朝食や夕食、長期休暇時の昼食の摂食状況

問 あなたは、ふだん週にどれくらい食事をしていますか。(各 SA)
「朝食」、「夕食」、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」…それぞれについて

【全体結果】(n=811)



【結果のサマリー】

8割以上の子どもが「毎日」朝食を食べています。

大多数の子どもが「毎日」夕食を食べていますが、『毎日でない』子どもや「週1~2日やほとんど食べない」子どもがいます。

夏休みや冬休みなどの期間の昼食は、9割弱の子どもが「毎日」食べています。

【特徴的な傾向や課題など】

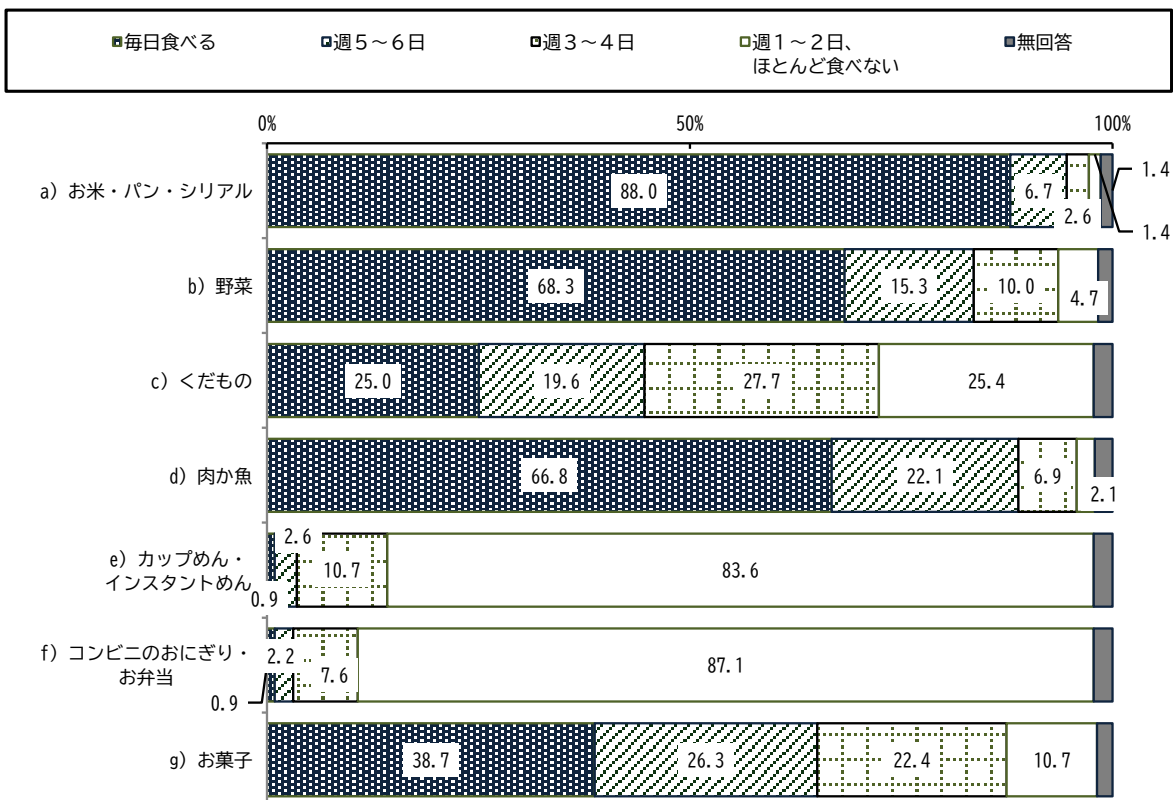
全体的に、子どもたちは定期的に食事をしているようですが、少数ながら摂食していない子どもたちがいることがわかりました。特に、これらの定期的に摂食をしていない子どもたちに対して、食事の重要性を伝え、健康的な食生活を促進する支援が必要です。

②各種食物の摂取状況

問 あなたは、給食以外の食事で、以下の食物をふだんどれくらい食べていますか。(各 SA)

- a) お米・パン・シリアル
- b) 野菜
- c) くだもの
- d) 肉か魚
- e) カップめん・インスタントめん
- f) コンビニのおにぎり・お弁当
- g) お菓子

【全体結果】(n=811)



【結果のサマリー】

「お米・パン・シリアル」は、多くの子どもが定期的に摂取しています。

「野菜」は、約15%が『週3日以下』の摂食状況です。

「くだもの」は、毎日食べる子どもは4人に1人と少なく、『週3日以下』の割合が高くなっています。

「肉か魚」は、約3人に2人が「毎日」摂取しています。

「カップめん・インスタントめん」や「コンビニのおにぎり・お弁当」は、多数が「週1~2日またはほとんど食べない」と回答しています。

「お菓子」は、4割弱の子どもが「毎日」食べています。



【特徴的な傾向や課題など】

野菜とくだもの摂取頻度が比較的低い子どもがいたことがわかりました。バランスの取れた食事の重要性を伝え、野菜や果物をもっと摂取するよう促す取り組みが必要かもしれません。

カップめん・インスタントめん、コンビニのおにぎり・お弁当といった、これらの食品の摂取頻度は低いですが、健康的な食生活のためには、加工食品の過剰摂取を避けることが重要です。

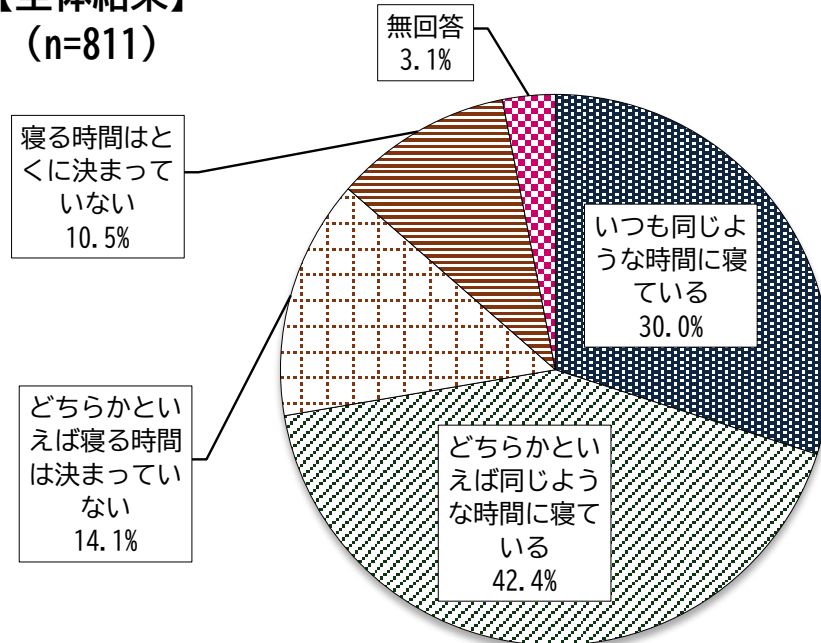
毎日お菓子を食べている子どもが多いことがわかりました。お菓子の摂取を控えめにし、代わりに栄養素を補えるような軽食を選ぶよう促すことが大切です。

一般的に、子どもたちの食生活にはバランスの取れた食事の重要性を伝え、健康的な食習慣を促進するための教育が必要とされます。特に野菜や果物の摂取を増やし、加工食品やお菓子の過剰摂取を避けることが重要です。

③就寝状況

問 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)同じ時間に寝ていますか。(SA)

【全体結果】 (n=811)



【結果のサマリー】

約3割の子どもが「いつも同じような時間に寝ている」と回答しています。

「どちらかといえば同じような時間に寝ている」という回答は4割強で最も多く、合わせて7割強の子どもがある程度一貫した就寝時間を保っていることがわかりました。

一方で、「どちらかといえば寝る時間は決まっていない」と「寝る時間はとくに決まっていない」を合わせると、約4人に1人の子どもが不規則な就寝時間です。

【特徴的な傾向や課題など】

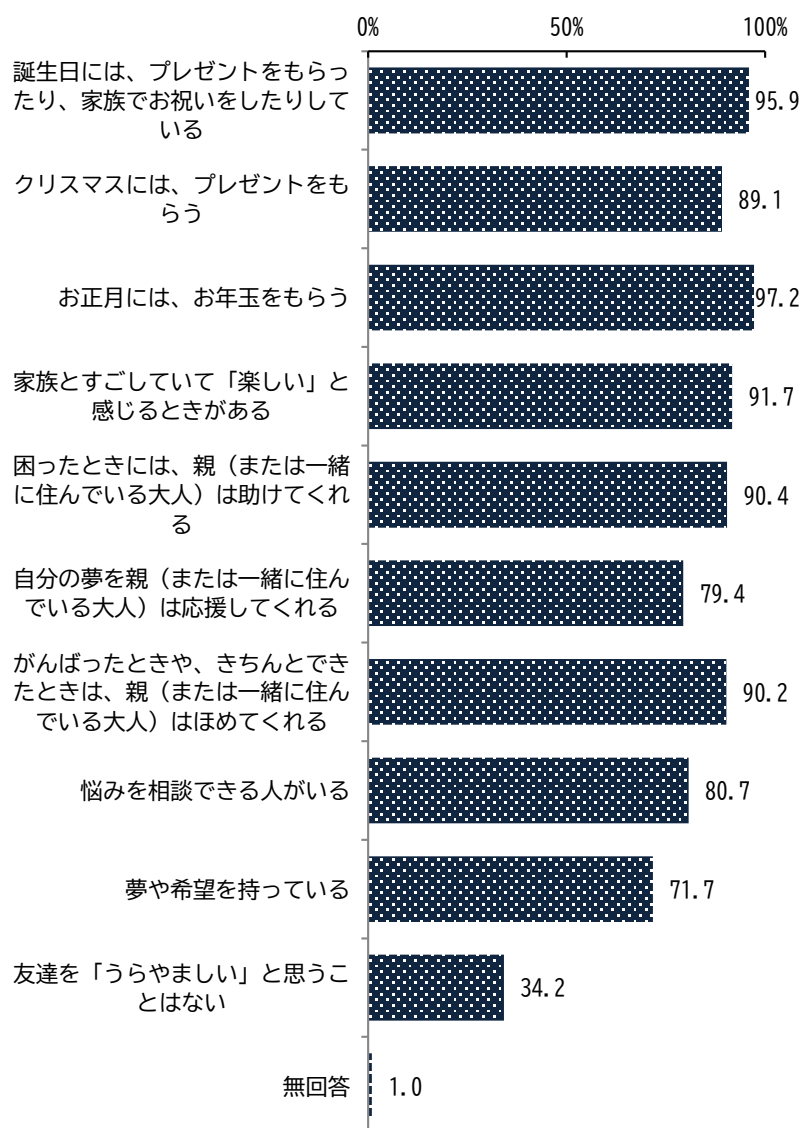
約4分の1の子どもが不規則な就寝時間であることがわかりました。不規則な睡眠は健康に悪影響を及ぼす可能性があるため、定期的な睡眠習慣の重要性を子どもたちに教えることが重要です。

定期的な睡眠習慣の形成を支援するために、学校や家庭での教育プログラムや啓発活動が必要かもしれません。また、不規則な就寝時間を持つ子どもたちの背景を理解し、それに対応するための支援策の検討を始めることも重要です。

④自身にあてまること

問 あなた自身のことについて、以下の中で、あてはまるものを教えてください。(MA)

【全体結果】 (n=811)



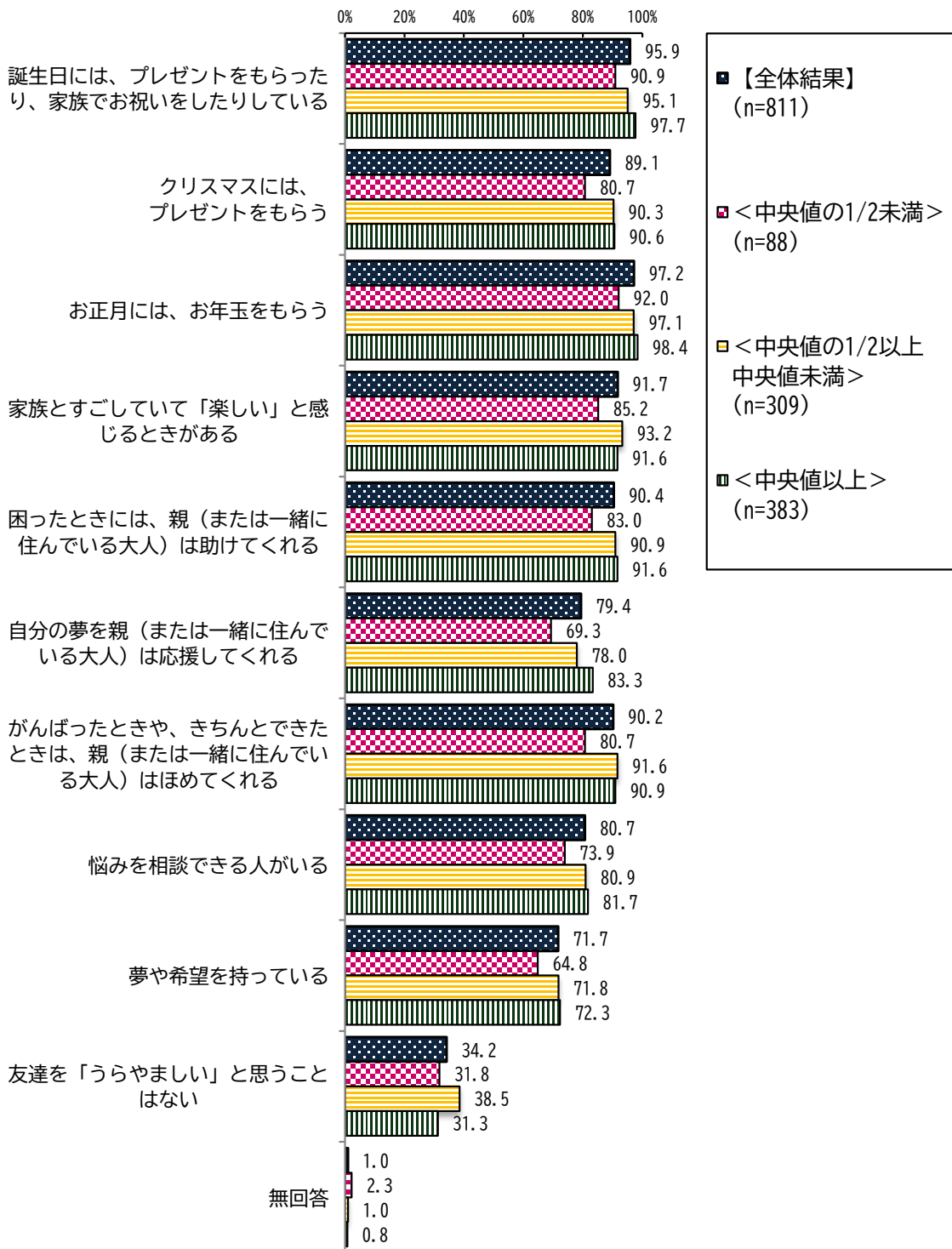
【結果のサマリー】

大多数の子どもは誕生日やクリスマス、お正月に家族とともに祝い、プレゼントやお年玉を受け取っています。

家族との楽しい時間を過ごしていると感じる子どもも多く、親や家族からのサポートや称賛を受けていると感じている子どもも多数います。

一方で、「友達をうらやましいと思うことはない」子どもは3人に1人程度にとどまります。

(等価世帯収入別に見た「自身にあてまること」)



【特徴的な傾向や課題など】

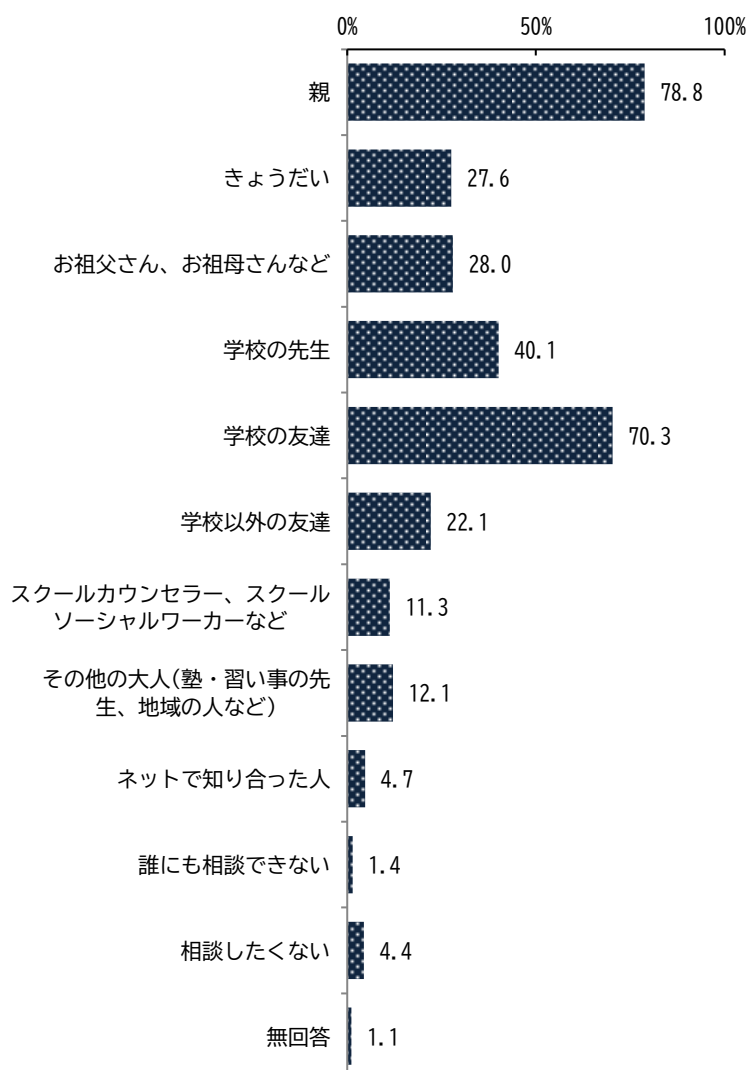
<等価世帯収入が低い層>では、項目全般的に肯定的な回答の割合が他の層よりも低い傾向があります。

<中央値以上>の層では、項目全般的に肯定的な回答の割合が他の層よりも高い傾向があります。

6. 相談できると思う人について

問 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。
(MA)

【全体結果】 (n=811)

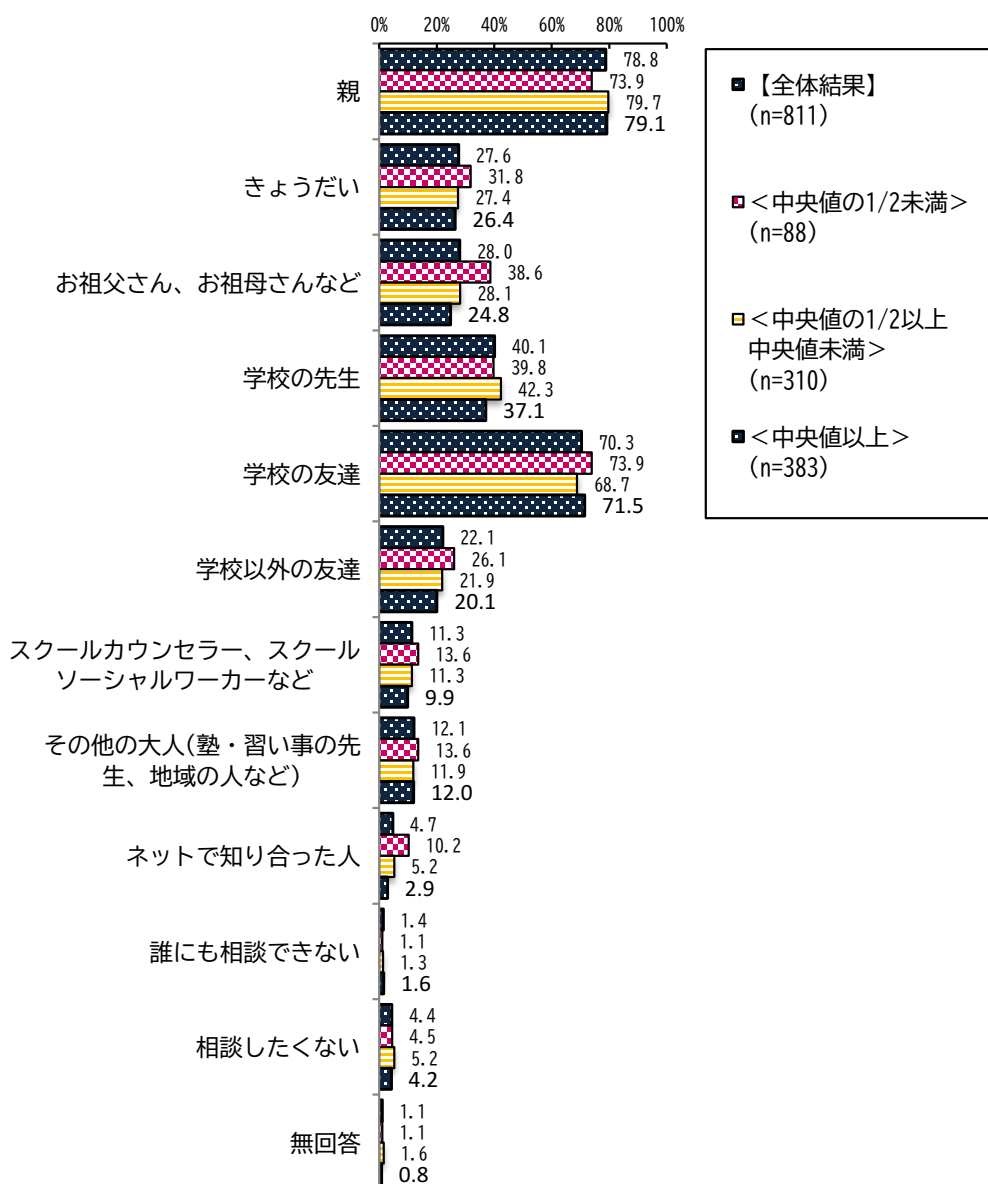


【結果のサマリー】

相談相手として最も多いのは「親」です。8割弱の子どもが困ったときに親に相談できると思っています。「学校の友達」が約7割で続きます。

一方で、「誰にも相談できない」子どもも少数ですが存在します。

(等価世帯収入別に見た「相談できると思う人」)



【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>では、「お祖父さん、お祖母さんなど」に相談できると思う割合が他の層よりも高くなっています。また、「ネットで知り合った人」に相談できると思う割合も約1割とやや高めです。

親や学校の友達に相談できると思っている子どもが多いのは良い傾向ですが、学校の先生に相談できると思っている子どもの割合が4割程度とやや低いのは今後の検討課題です。

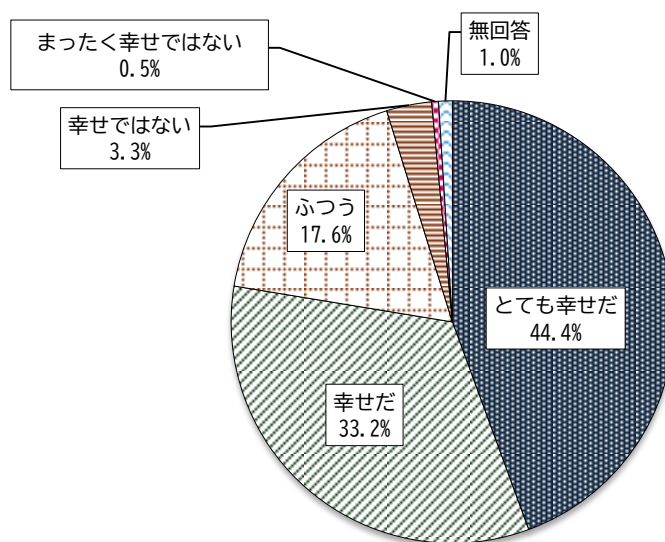
「誰にも相談できない」と思っている子どもが一定数存在することは懸念点です。これらの子どもたちが安心して相談できる環境を整備することが重要です。

7. 幸福感や子どもの心理的な状態、逆境体験について

① 幸福感

問 あなたは、今の生活をどのくらい幸せだと感じますか。(SA)

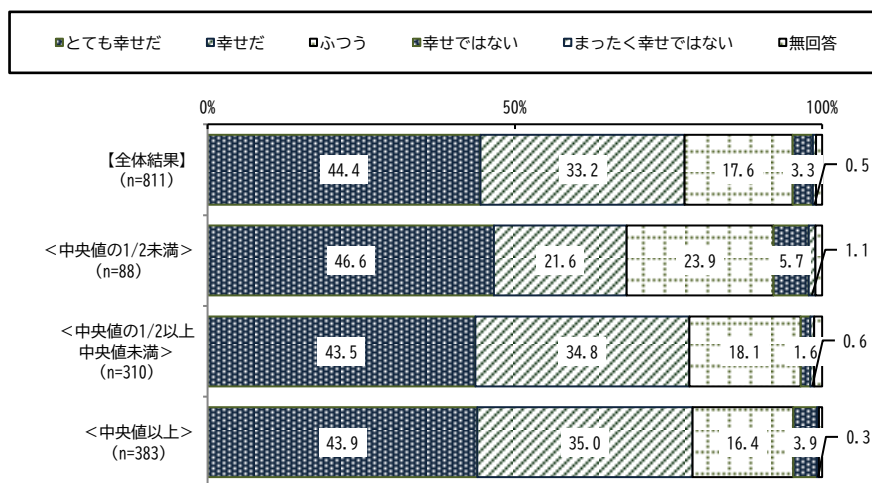
【全体結果】(n=811)



【結果のサマリー】

4人に3人以上(77.6%)の子どもが「とても幸せだ」または「幸せだ」と感じています。

(等価世帯収入別・世帯構成別・学年別にみた「幸福感」)



【特徴的な傾向や課題など】

多くの子どもは現在の生活に対して幸せを感じていますが、一部の子どもたち、特に<等価世帯収入が低い層>の子どもは、幸せを感じる割合がやや低いことがわかりました。<等価世帯収入が低い層>では、「とても幸せだ」と回答した割合は他の層より若干高くなっていますが、「幸せだ」と回答した割合は約2割と低く、『幸せでない』と感じる割合が他の層よりも高くなっており、経済的な要因が子どもの幸福感に影響を与えている可能性があります。

②情緒の問題

問 以下の5項目について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(各SA)

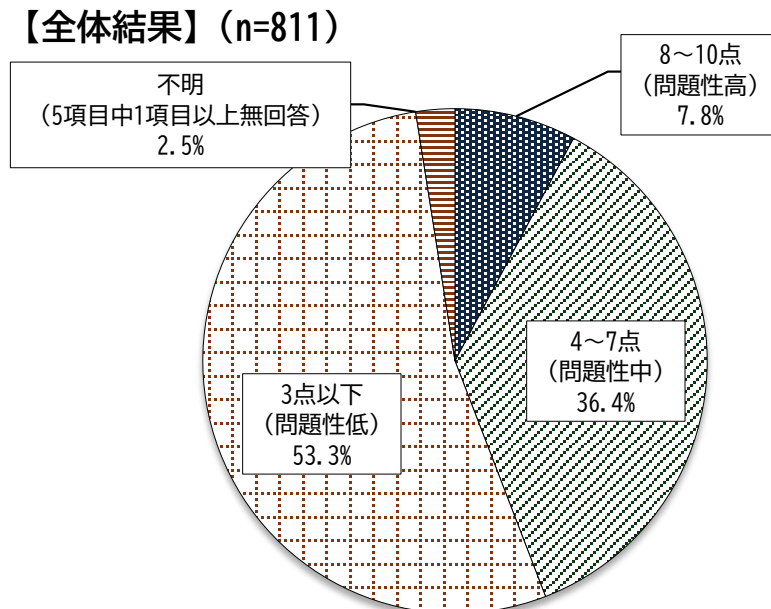
- 1)私は、よく頭やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする
- 2)私は、心配ごとが多く、いつも不安だ
- 3)私は、落ち込んでいたり、泣きたくなったりすることがよくある
- 4)私は、新しいことを始めようとすると不安になり、自信をなくしやすい
- 5)私は、怖がりです、すぐにおびえたりする

選択肢：「あてはまらない (=0点)」、「まああてはまる (=1点)」、「あてはまる (=2点)」

「子どもの心理的な状態」に関して、本調査では「強さと困難さアンケート (SDQ : Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための全15項目を設定しました。

本項では、このうち上記の5つの調査項目の結果を足し合わせて、スコアを算出しています (0~10点)。

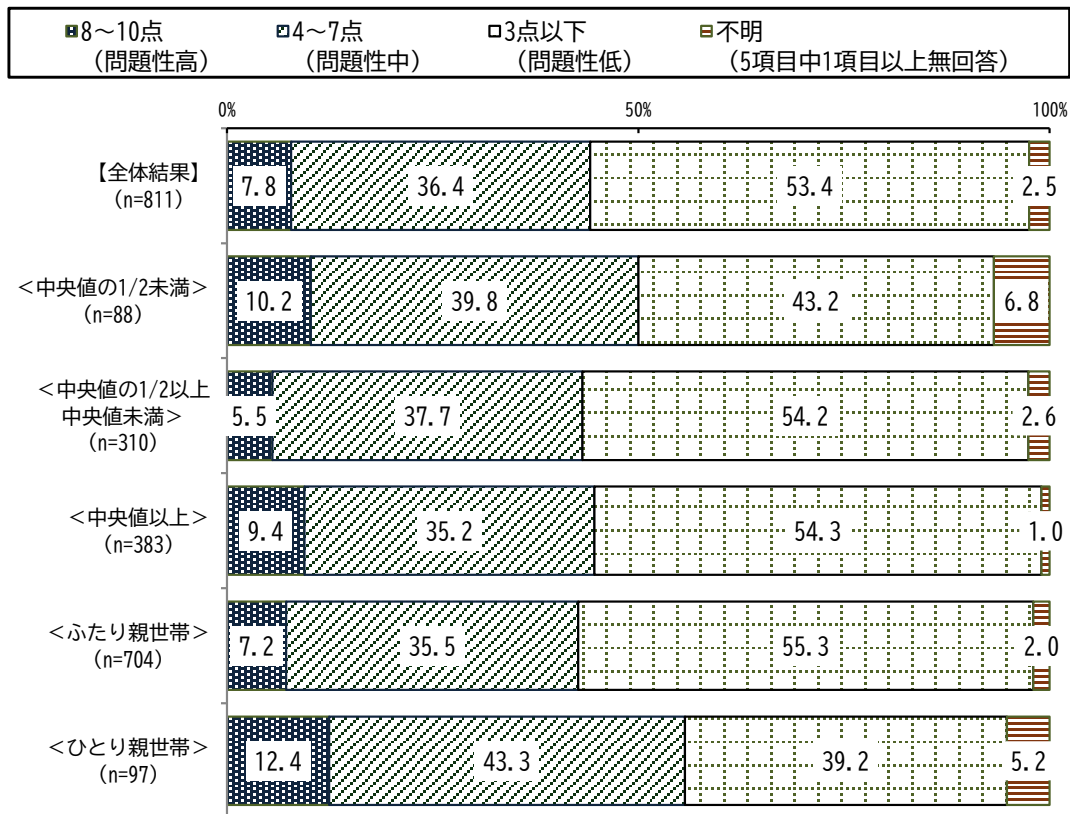
「情緒の問題」に関して、スコアが高いほど、問題性が高いと考えられます。



【結果のサマリー】

「問題性の高い」子どもが1割弱います。

(等価世帯収入別・世帯構成別にみた「情緒の問題」)



【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>と<ひとり親世帯>の子どもでは、「問題性の高い」子どもの割合が1割を超えており、これらの子どもが直面している精神的な課題が示唆されました。経済的な不安や家庭環境がこれらの問題に影響を与えている可能性があります。

③仲間関係の問題

問 以下の5項目について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(各SA)

- 1)私は、だいたいいつも一人にいる
一人で遊んだり、他の人を避けたりすることが多い
- 2)私は、仲のよい友達が少なくとも一人はいる※
- 3)私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている※
- 4)私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする
- 5)私は、他の子どもたちというより、大人というほうが楽しい

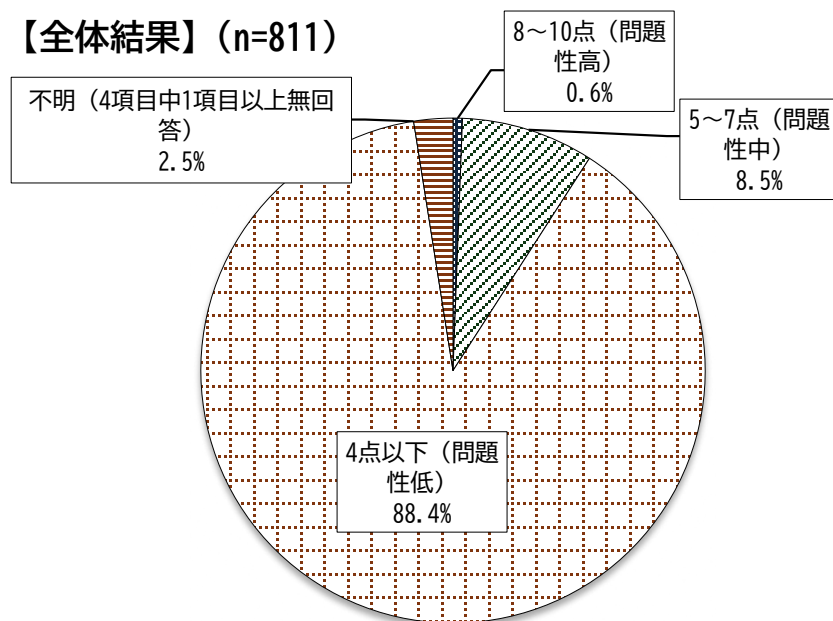
選択肢：「あてはまらない (=0点)」、「まああてはまる (=1点)」、「あてはまる (=2点)」

※「2)私は、仲のよい友達が少なくとも一人はいる」と

「3)私は、同じくらいの年代の子どもからは、だいたいは好かれている」の項目は逆転項目としてスコアを算出しました。

本項では、上記の5つの調査項目の結果を足し合わせて、スコアを算出しています(0~10点)。

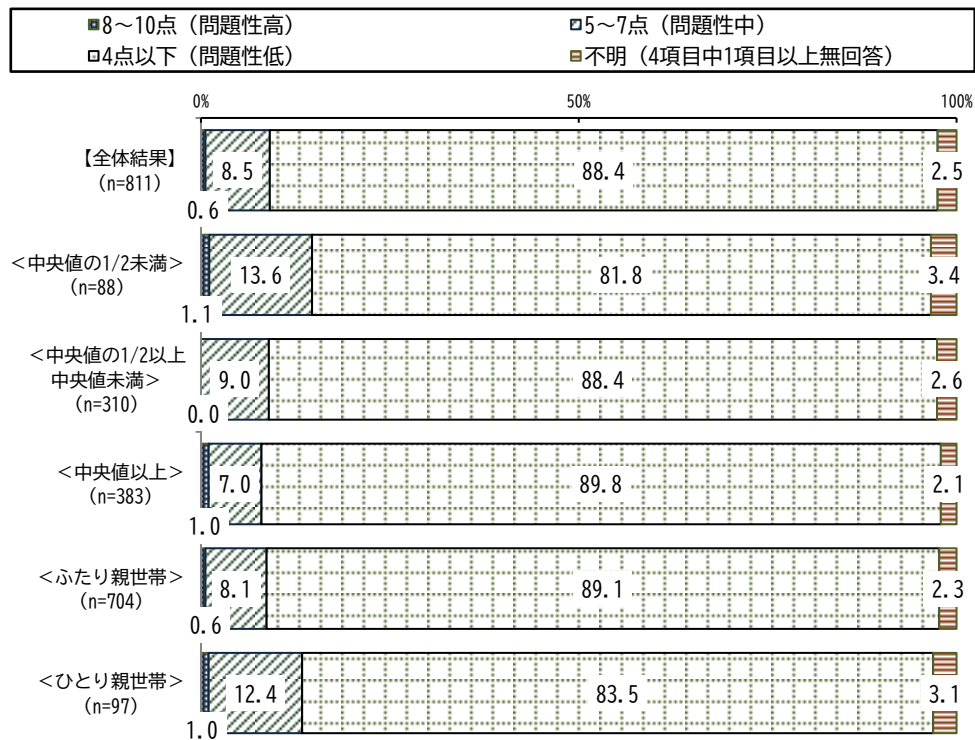
「仲間関係の問題」に関して、スコアが高いほど、問題性が高いと考えられます。



【結果のサマリー】

「問題性が中程度以上」の子どもが1割弱います。

(等価世帯収入別・世帯構成別にみた「仲間関係の問題」)



【特徴的な傾向や課題など】

<等価世帯収入が低い層>と<ひとり親世帯>の子どもでは、「問題性が中程度以上」の子どもの割合が1割を超えており、これらの子どもが直面している社会的な関係性の課題が示唆されました。経済的な不安や家庭環境がこれらの問題に影響を与えている可能性があります。

④向社会性

問 以下の5項目について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(各SA)

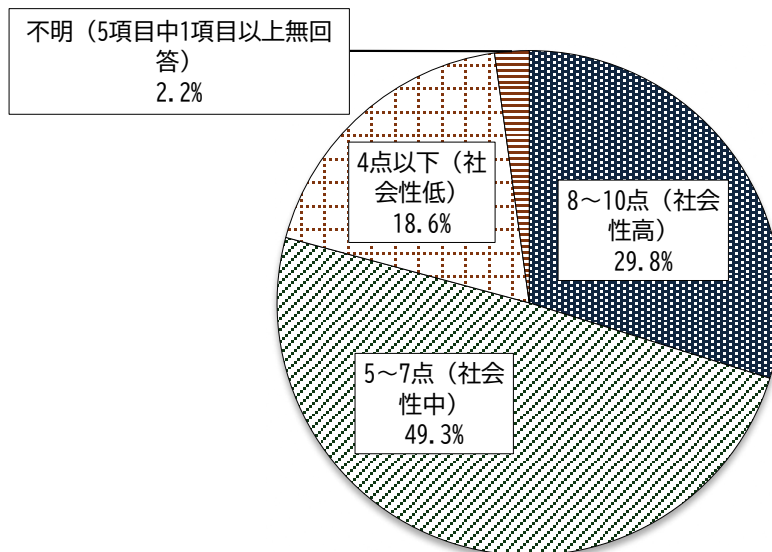
- 1)私は、他の人に親切にしている。私は、他の人の気持ちをよく考える
- 2)私は、他の子どもたちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)
- 3)私は、だれかが悲しんでいた、落ち込んでいたり、いやな思いをしていたりするときは、進んで助ける
- 4)私は、年下の子どもたちに優しくしている
- 5)私は、自分から進んでよくお手伝いをする
(親・学校の先生・他の子どもたちに対してなど)

選択肢:「あてはまらない(=0点)」、「まああてはまる(=1点)」、「あてはまる(=2点)」

本項では、上記の5つの調査項目の結果を足し合わせて、スコアを算出しています(0~10点)。

「向社会性」に関して、スコアが高いほど、社会性が高いと考えられます。

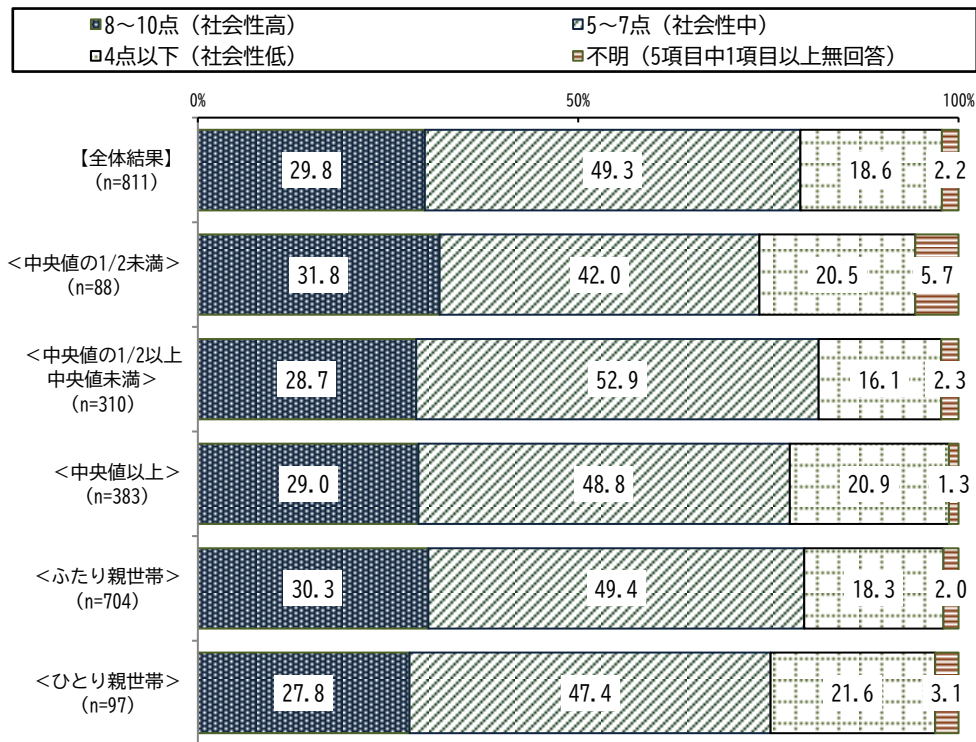
【全体結果】(n=811)



【結果のサマリー】

「社会性の低い」子どもは2割弱います。

(等価世帯収入別・世帯構成別にみた「向社会性」)



【特徴的な傾向や課題など】

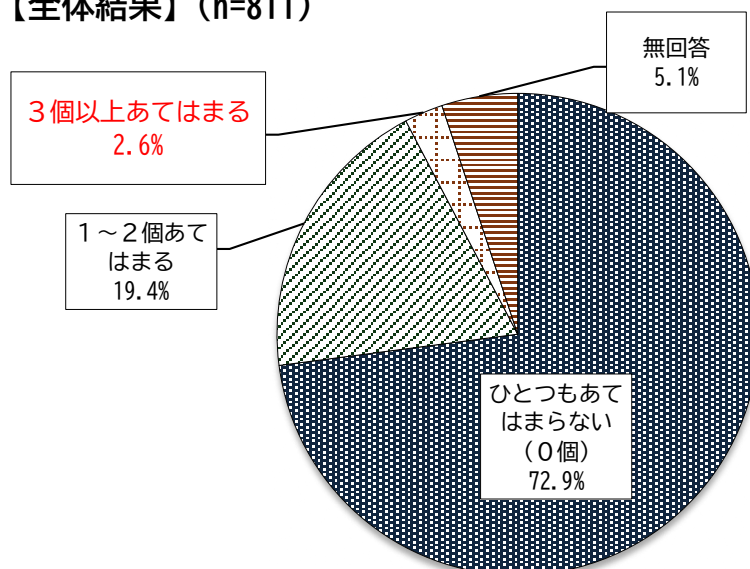
<等価世帯収入が低い層>で「向社会性の高い」子どもの割合が若干高くなっていますが、等価世帯収入別や世帯構成別にみて目立った差異はみられませんでした。

⑤逆境体験

問 あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。いくつあてはまるかを答えてください。(SA)

- a あなたが、一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、身体を傷つけられると思うような行動や態度をされることがよくある
- b あなたが、一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、けられる、物を投げつけられることがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことがある
- c あなたは、自分が家族の誰からも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d あなたは、必要な食事や服をもらえないことがある。または、自分を守ってくれる人は誰もいないと感じることがある
- e あなたの両親が、別居または離婚をしたことがある
- f 一緒に住んでいる人が、誰かに押される、つかまれる、けられることがよくある。または、くり返しなぐられる、刃物などでおどされたことがある
- g 一緒に住んでいる人が、お酒や麻薬などのせいで自分の生活や人間関係を悪くするような行動や態度をしたことがある
- h 一緒に住んでいる人が、うつ病やその他の心の病気になったことがある。または、自殺しようとしたことがある

【全体結果】(n=811)



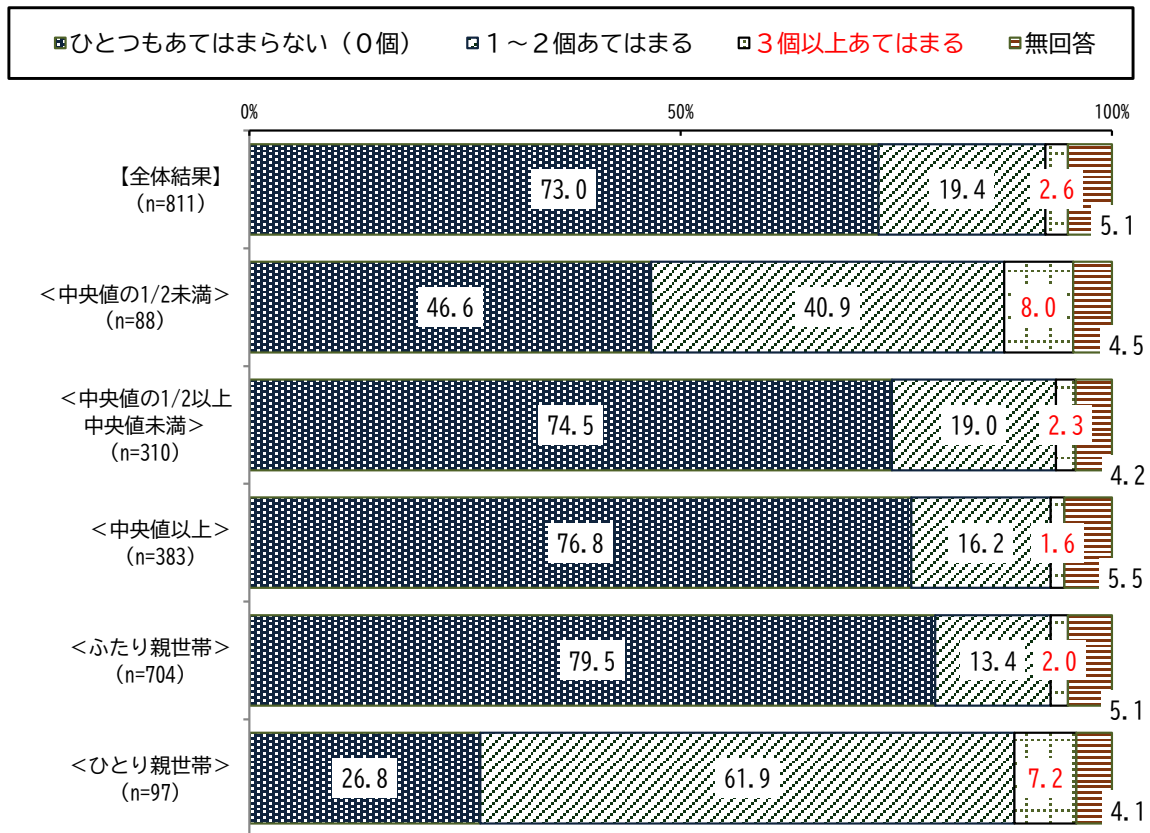
【結果のサマリー】

7割強の子どもが逆境体験について「ひとつもあてはまらない」と回答しています。

「1~2個あてはまる」と回答した子どもは約2割です。

割合は僅かですが「3個以上あてはまる」と回答した子どももいます。

(等価世帯収入別・世帯構成別・学年別にみた「逆境体験」)



【特徴的な傾向や課題など】

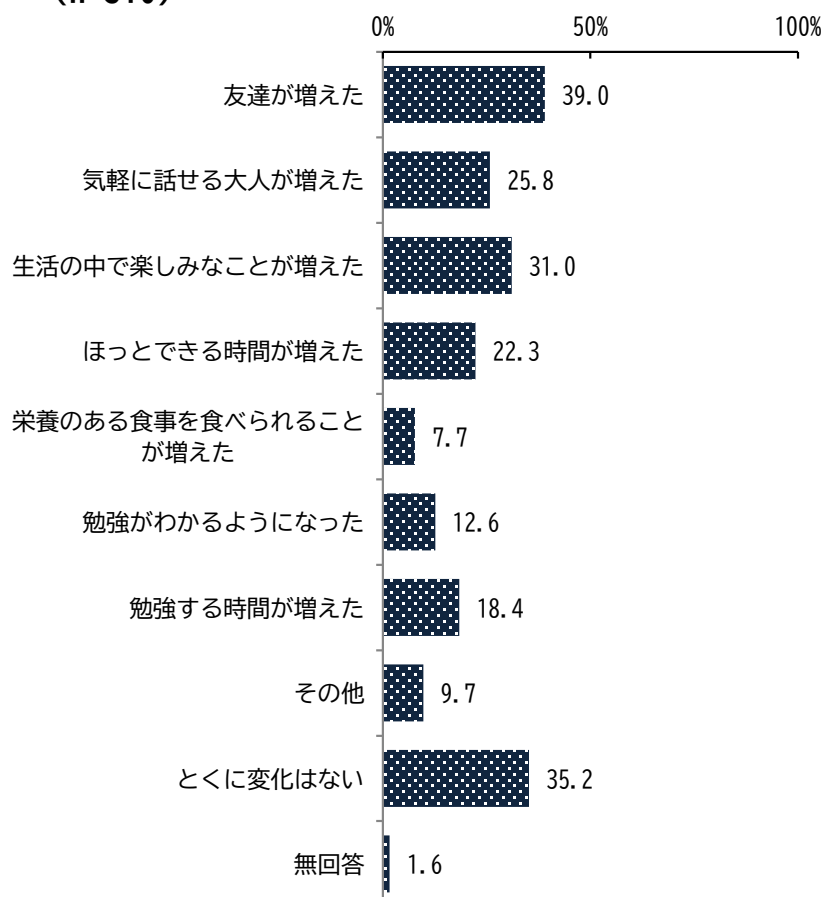
<等価世帯収入が低い層>と<ひとり親世帯>の子どもでは、「ひとつもあてはまらない」の割合が他の層に比べてかなり低く、逆境体験にあてはまる項目が多いことがわかりました。経済的な不安や家庭環境の問題が影響している可能性があります。

子どもが逆境体験から回復し、健全な発達を遂げるためには、特に経済的に厳しい環境にある子どもたちやひとり親世帯の子どもたちに対して、心理的なサポートやカウンセリングサービスの提供が重要となります。

②利用したことによる状況の変化

該当設問 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(MA)

【全体結果】 (n=310)



【結果のサマリー】

利用したことがある子どものうち、約4割が「友だちが増えた」と感じています。

【特徴的な傾向や課題など】

「とくに変化はない」と感じている子どもたちの割合が高いことから、場所（施設）の提供するサービスや活動がすべての子どもにとって有意義であるとは限らないことが示唆されています。プログラムやサービスの質を向上させるための検討が求められます。

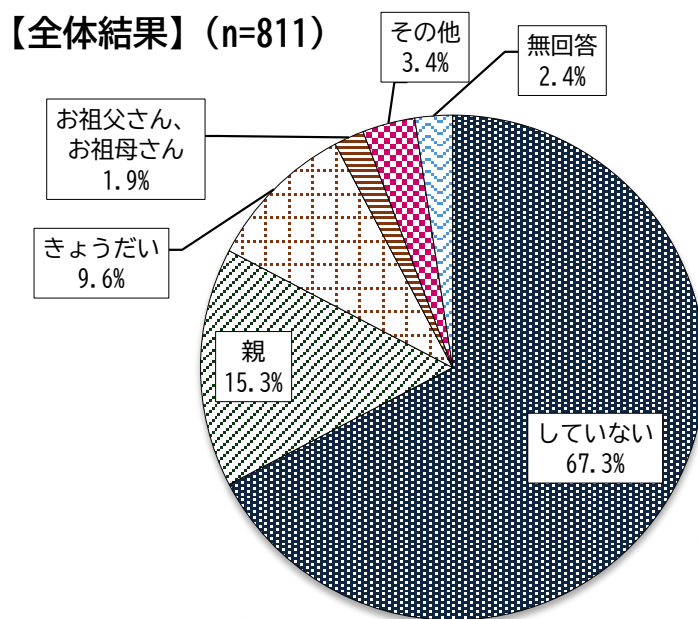
場所（施設）が子どもの社会的なつながりや精神的な充実に寄与していることはわかりますが、教育的な支援やサービスの質に関しては改善の余地があると考えられます。

9. 家族ケア（世話や家事）の状況について

①家族ケアの実施状況

問 あなたは、ふだん（月曜日～日曜日）大人の人に代わって、家族のお世話や家事をしていますか。している場合、誰のお世話をしていますか。（SA※）

※本設問は単数回答設問として調査したが、ケアの相手を複数回答するケースもみられたため、複数回答設問として集計している。



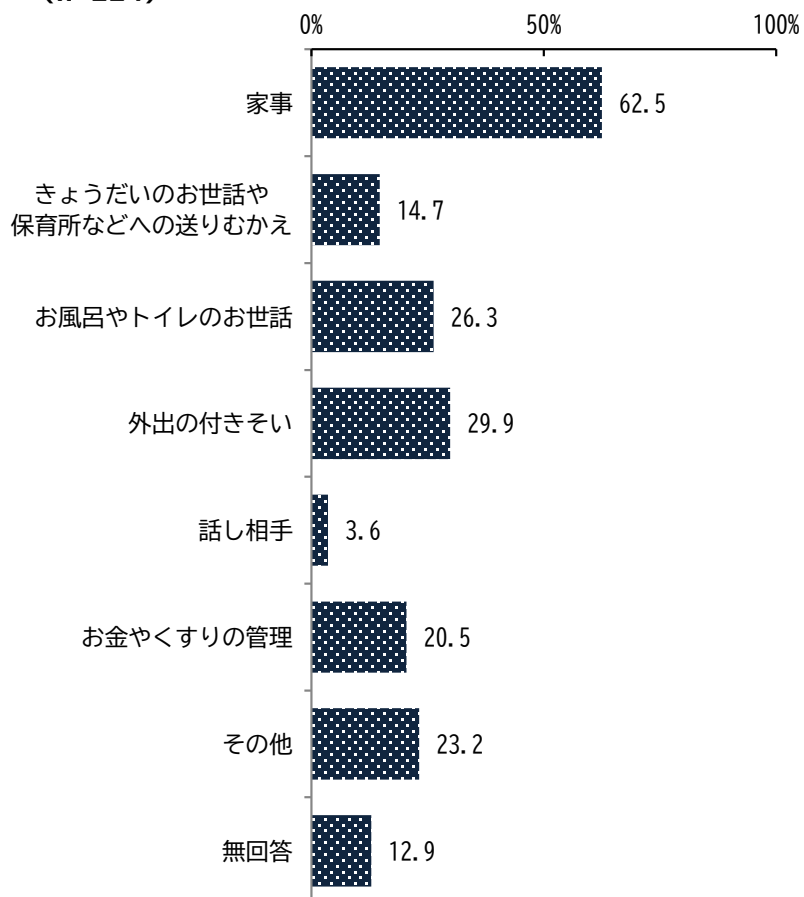
【結果のサマリー】

大多数の子どもは、家族のお世話や家事を「していない」と回答していますが、一定割合の子どもは家族のお世話や家事をしており、その中では、「親」や「きょうだい」のお世話をする子どもが多くなっています。

②家族ケアの内容

該当設問 どのようなお世話をしていますか。(MA)

【全体結果】 (n=224)



【結果のサマリー】

「家事」が最も多く行われているお世話の内容です。

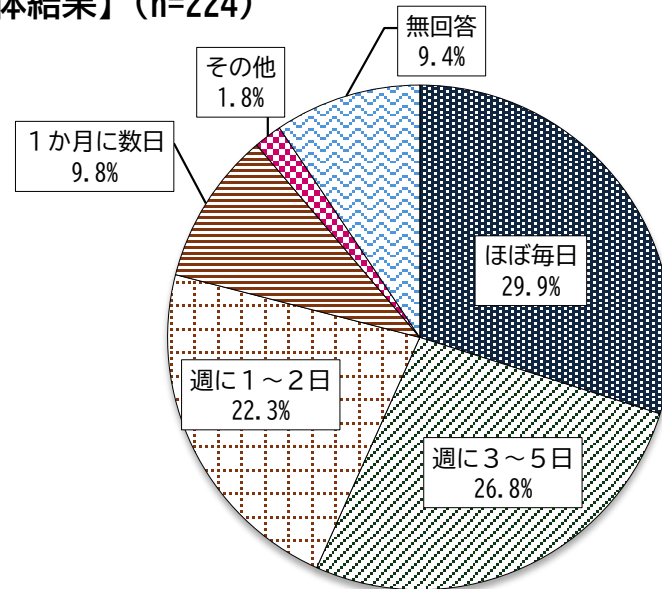
「お風呂やトイレのお世話」、「外出の付きそい」、「お金やくすりの管理」も一定割合の子どもが行っています。

家族のお世話をする子どもは、日常生活に関わるさまざまなお世話をしていることがわかりました。

③家族ケアの頻度

該当設問 どれくらいお世話していますか。(SA)

【全体結果】(n=224)



【結果のサマリー】

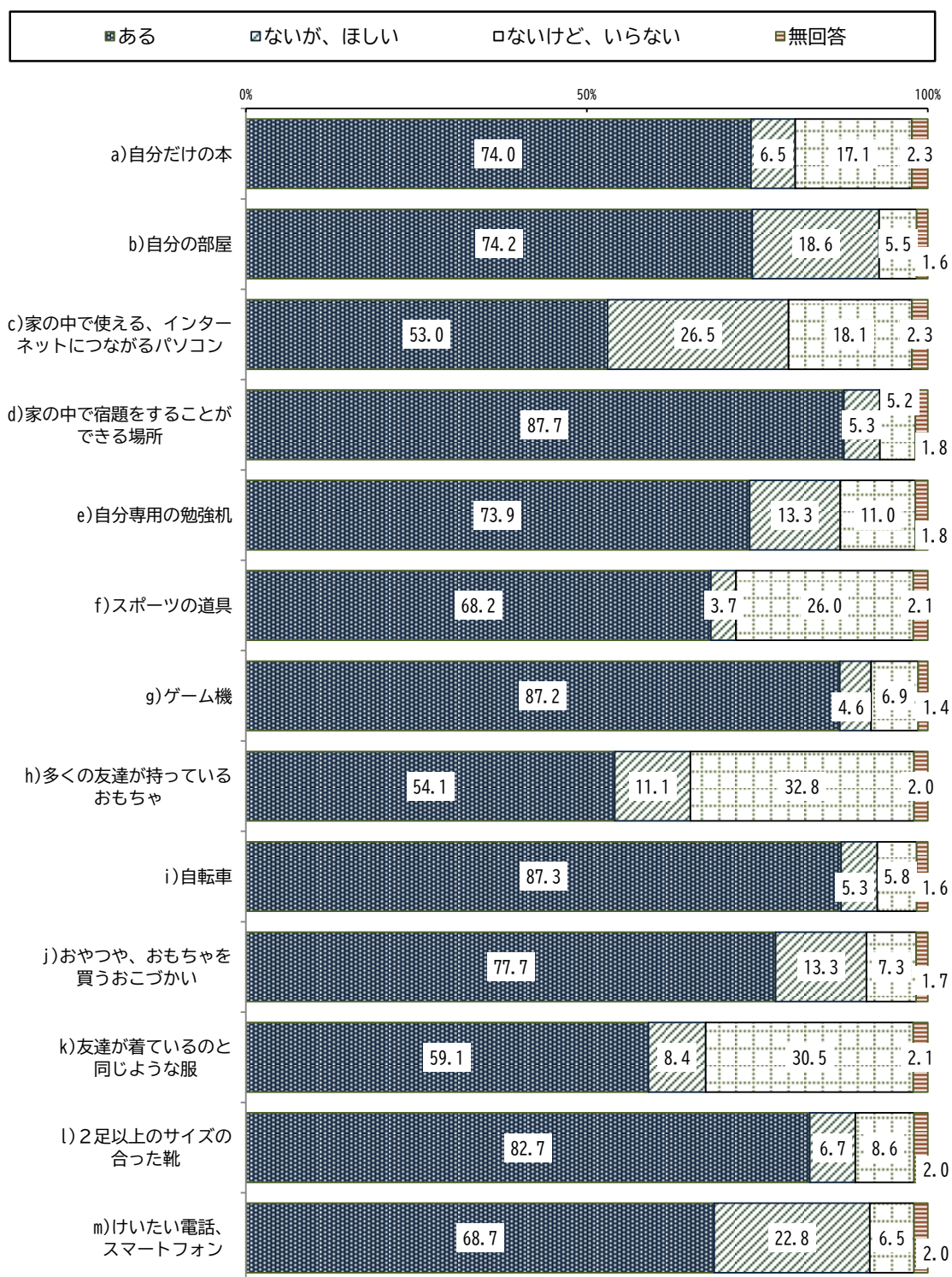
お世話の頻度に関しては、約3割の子どもが「ほぼ毎日」お世話をしています。

10. 自身で使用可能なもの等の所有について

問 あなたは、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ない場合は、それがほしいものであれば「ほしい」、いらなと思うものであれば「いらない」をえらんでください。
(各 SA)

- a)自分だけの本（学校の教科書やマンガは除く）
- b)自分の部屋（きょうだいと使っている場合も含みます）
- c)家の中で使える、インターネットにつながるパソコン
- d)家の中で宿題をすることができる場所
- e)自分専用の勉強机
- f)スポーツの道具（野球のグローブや、サッカーボールなど）
- g)ゲーム機
- h)多くの友達を持っているおもちゃ
- i)自転車
- j)おやつや、おもちゃを買うおこづかい
- k)友達が着ているのと同じような服
- l)2足以上のサイズの合った靴
- m)けいたい電話、スマートフォン

【全体結果】(n=811)



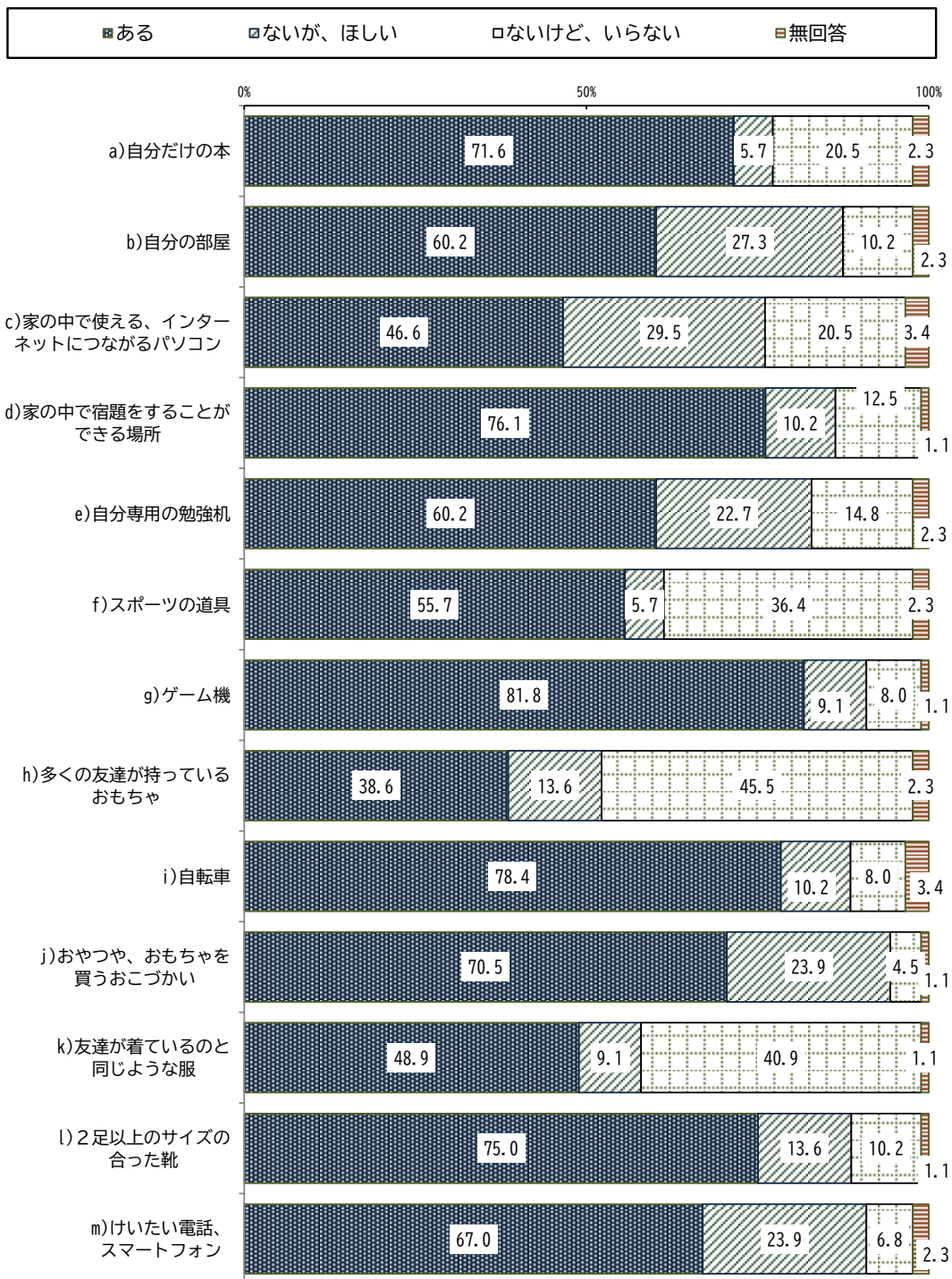
【結果のサマリー】

大多数の子どもたちは「自分の部屋」、「自転車」、「ゲーム機」を持っています。

「自分専用の勉強机」や「おやつや、おもちゃを買うおこづかい」を持っている子どもも多いですが、持っていない子どもの中にはそれをほしいと感じている子ども一定数います。

(＜等価世帯収入が低い層＞の「自身で使用可能なもの等の所有について」)

＜等価世帯収入が低い層＞(n=88)



【特徴的な傾向や課題など】

＜等価世帯収入が低い層＞では、全体結果と比較して、「自分の部屋」や「自分専用の勉強机」を持っている割合が低く、それらをほしいと感じている子どもの割合も高くなっています。

また、この層の子どもは、「多くの友達を持っているおもちゃ」や「友達が着ているのと同じような服」を持っている割合が全体結果よりも低く、それらをほしいと感じる割合がやや高い傾向があります。

IV 資料編（調査白票）

■ 小学生の保護者調査票

**令和5年度
四街道市子どもの生活状況調査
【小学生の保護者】**

この調査は、中学2年生または小学5年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのご様子についてお聞きするため、四街道市が実施するものです。調査の結果は、子育て支援や子どもの健全育成等の施策に役立てることを目的としています。

- 質問は全部で29問あります。回答にかかる時間は約30分です。
- この調査票は、中学2年生または小学5年生のお子さんの保護者の方にお答えください。なお、両方のお子さんがいらっしゃる保護者の方には、同じ調査票が二通配られる場合がありますが、各調査票は、それぞれのお子さんのことについてお答えいただきますようお願いいたします。
- お子さんにも同時にアンケートをお願していますが、お子さんが自由に回答できるように、お子さんの回答した調査票は見ないようお願いいたします。
- この調査票は無記名です。名前を書く必要はありません。答えにくい質問や、答えたくない質問には答えなくても構いません。
- ご回答は、あてはまる回答の番号に○を付けてください。
- ご記入いただいた調査票は、クレー色の小さい封筒に入れて封をし、**お子さん用の青色の小さい封筒（お子さんが回答済みの調査票を封入したもの）**と一緒に大きい茶封筒に入れて、封をして近くの郵便ポストに入れてください。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

調査担当：四街道市子育て支援課（TEL：043-421-6124）
※ 調査票の開封・集計は、調査会社が行います。

1

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生または中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さんとなたとの関係は、以下のどれにあたりますか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1 母親	2 父親
3 祖父または祖母	4 その他（ ）

問2 お子さんがお住まいの学区を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1 四街道小学校区	2 旭小学校区
3 南小学校区	4 中央小学校区
5 大日小学校区	6 八木原小学校区
7 四和小学校区	8 山梨小学校区
9 みぞろ小学校区	10 栗山小学校区
11 和良比小学校区	12 吉岡小学校区

問3 お子さんと生計を同一にしているご家族の人数（あなた、お子さんを含む）を教えてください。単身赴任や学業で一時的に世帯を離れている方がいる場合には、含めてお答えください。（人数を記入）

ご家族の人数は？（ ）人 ※あなた、お子さんを含めてお答えください。

問4 前問で回答した「ご家族」の構成を教えてください。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）（人数を記入）

1 母親	
2 父親	
3 祖父または祖母	
4 兄弟姉妹	
⇒ 兄弟姉妹の人数は？（ ）人 ※お子さんを除いてお答えください。	
5 その他	

2

問5 前問で回答した「ご家族」に、次のような方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

1 介護・介助が必要な方（※介護認定の有無は問いません。）
2 障がいを持っている方（※障がい者手帳交付の有無は問いません。）
3 3か月以上、病氣治療中の方（※生活習慣病の治療は含みません。）
4 上記のような家族はいない

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1 結婚している（再婚や事実婚を含む）				
2 離婚	3 死別	4 未婚	5 わからない	6 いない

問7 前問で「2 離婚」と答えた方は、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの1つに○）

1 取り決めをしており、受け取っている
2 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3 取り決めをしているが、受け取っていない
4 取り決めをしておらず、受け取っていない

問8 お子さんの親が最後に卒業・修了した学校を教えてください。（a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	a) 母親	b) 父親
中学	1	1
高校	2	2
5年制の高等専門学校	3	3
専門学校	4	4
短大	5	5
大学	6	6
大学院	7	7
その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

3

問9 お子さんの親の就労状況を教えてください。（a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約・派遣社員／職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業（家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む）	4	4
働いていない（専業主婦／主夫を含む）	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

問10 前問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。（a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したいため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病氣や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

問11 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（a~c それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	よく参加している	やや参加している	参加してはいない	あまり参加していません	まったく参加していません
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4	
b) PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどの参加	1	2	3	4	
c) 地域や町内会の行事への参加	1	2	3	4	

4

問 12 あなたとお子さんの関わり方について、以下のようなことにどれくらいあてはまりますか。
(a~n それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまる ことがほとんど ない	あてはまる ことが少ない	あてはまる ことが多い	あてはまる ことがほとんど ない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんと、社会の出来事やニュースの内容について話している	1	2	3	4
d) お子さんが好きで、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
e) お子さんから、勉強や成績のことについて話してくれる	1	2	3	4
f) お子さんが勉強する意欲や時間を持てるよう声かけや環境に気を配っている	1	2	3	4
g) お子さん、お子さんの身だしなみや言葉づかいについて話している	1	2	3	4
h) お子さん、友達とのつきあい方や接し方について話している	1	2	3	4
i) お子さん、図書館や美術館などの文化施設に行っている	1	2	3	4
j) お子さんが興味を持った分野の本を買ってあげている	1	2	3	4
k) お子さんに毎日新しいマスクやハンカチを持たせるよう気を付けている	1	2	3	4
l) お子さんの睡眠時間を把握している	1	2	3	4
m) お子さんの食事内容を把握している	1	2	3	4
n) お子さんの夢や希望を応援できている	1	2	3	4

5

問 13 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 保護者の希望	b) 現実的な進路
中学まで	1	1
高校まで	2	2
専門学校まで	3	3
短大または大学まで	4	4
大学院まで	5	5
その他	6	6
まだわからない	7	7

問 14 前問の「b) 現実的な進路」で選んだ答えの一番の理由を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 親（保護者）がそう希望しているから
- 3 一般的な進路だと思うから
- 4 お子さんの学力から考えて
- 5 家庭の経済的な状況から考えて
- 6 その他（ ）

6

問 15 あなたは以下の事柄で頼れる人はいますか。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 困ったときのお金の援助
頼れる人がいる	1	1
頼れる人がいない	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3

問 16 前問で「1 頼れる人がいる」と答えた場合、それは誰ですか。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 困ったときのお金の援助
家族・親族	1	1
友人・知人	2	2
近所の人	3	3
市役所の相談・支援窓口	4	4
民生委員・児童委員	5	5
民間の相談・支援機関	6	6
その他（ ）	7	7

7

問 17 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※ 令和4年の年間収入についてお答えください。
※ 収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金、遺族給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農林漁業等の材料費、営業上の経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利息、不動産収入等、家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、借入金金、各種祝い金等）

- 1 50万円未満
- 2 50～100万円未満
- 3 100～150万円未満
- 4 150～200万円未満
- 5 200～250万円未満
- 6 250～300万円未満
- 7 300～350万円未満
- 8 350～400万円未満
- 9 400～450万円未満
- 10 450～500万円未満
- 11 500～600万円未満
- 12 600～700万円未満
- 13 700～800万円未満
- 14 800～900万円未満
- 15 900～1000万円未満
- 16 1000万円以上

問 18 あなたは、現在の経済的な状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 苦しい
- 5 大変苦しい

8

問 19 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、お菓子・酒・お茶・コーヒーなどの栄養摂取を目的としない食品や高価な食品は含みません。(あてはまるもの 1 つに○)

1	よくあった
2	ときどきあった
3	まれにあった
4	まったくなかった

問 20 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、経済的な理由で、夏休みや冬休みなどの期間のお子さんの昼食として、栄養バランスを考えた食事を用意できないことがありましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

1	よくあった
2	ときどきあった
3	まれにあった
4	まったくなかった

問 21 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの 1 つに○)

1	よくあった
2	ときどきあった
3	まれにあった
4	まったくなかった

問 22 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、経済的な理由で、以下の料金が未払いになったことがありましたか。(1～5 については、あてはまるものをすべてに○、6 の場合は 1 つに○)

1	電気料金
2	ガス料金
3	水道料金
4	家賃
5	通信費 (スマホ・携帯電話代など)
6	あてはまるものはない

9

問 23 以下の a)～f) の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどうでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をやるのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 24 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい幸せだと感じていますか。「5」(とても幸せだ)～「1」(まったく幸せでない)の数字でお答えください。(あてはまる 5～1 の数字 1 つに○)

5	とても幸せだ	~	1	まったく幸せでない
5	4	3	2	1

10

問 25 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(a～e それぞれについて、1～3 のあてはまるもの 1 つに○) また、「3」利用したことがない場合、その理由を教えてください。(a～e それぞれについて、①～⑤のあてはまるもの 1 つに○)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・自立支援センター ※5
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
利用したことがない理由	①	①	①	①	①
制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思っから	②	②	②	②	②
利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	③	③	③	③	③
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	④	④	④	④	④
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

(参考)
 ※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。(四街道市学務課 043-424-8932)
 ※2 生活保護：病気や失業などに伴い生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。(四街道市社会福祉課 043-421-6248)
 ※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方々のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。(四街道市社会福祉協議会くらしサポートセンター「みらい」043-421-3003)
 ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)(四街道市子育て支援課 043-421-6124)
 ※5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。(千葉県母子家庭福祉連合会 043-222-5818、(就業相談専用ダイヤル) 043-225-0608)

11

問 26 あなたのご家庭では、以下の支援をこれまでに利用したことがありますか。(四街道市や市社会福祉協議会が実施するものほか、ボランティア団体等が実施するものを含む) ある場合は「1」に○を付け、利用した場所や団体等の名称を記入してください。(a～d それぞれについて、1～2 のあてはまるもの 1 つに○) また、「2」利用したことがない場合は、今後利用したいと思いますが、(a～d それぞれについて、①～③のあてはまるもの 1 つに○)

	a 子ども食堂 食事提供場所 ※1	b フードバンクなどの食料支援 ※2	c 宅配弁当 ※3	d 学校以外が実施する無料の学習支援 ※4
利用したことがある	1	1	1	1
利用したことがない	2	2	2	2
利用したい(利用条件がある場合があります) 必要ない または 特に利用したいと思わない	①	①	①	①
利用したいかどうかわからない	②	②	②	②
利用したいかどうかわからない	③	③	③	③

1に○を付けた場合、利用したことがある場所や団体等の名称を以下に記入してください。

利用したことがある支援を行っている場所や団体等の名称

(参考)
 ※1 子ども食堂：無料または低額で食事を提供している場所。地区社会福祉協議会やボランティア団体等が実施する子ども食堂があります。
 ※2 フードバンク：企業や家庭、個人から寄付された食品(食料やレトルト食品、お菓子など)を、必要とする方へ無料で配布する活動。フードコートにも、目まで食品を配達する子ども宅食という形態も。四街道市では個人を対象とした定期的な制度は未実施。
 ※3 宅配制度としての宅配弁当：民間企業が実施する有料サービス以外の、支援を必要とする家庭を対象に無料または低額で弁当を配達する活動。四街道市では未実施。
 ※4 無料の学習支援：子育て支援課が実施する「ひとり親家庭等学習支援事業(中学生対象)」、四街道中学校地区社会福祉協議会が実施する「ほのほの学習広場(中学生対象)」、四街道市地域振興財団が実施する「寺子屋(小学生対象)」などがあります。

12

問 27 あなたのご家庭では、お子さんに以下のことをしていますか。している場合には「1」に○を付けてください。していない場合は、ご家庭の方針でしてないものであれば「2」、経済的理由でしてないものであれば「3」に○を付けてください。
(a~k それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	している		していない	
	1	2	3	経済的理由
a) 毎月お小遣いを渡す	1	2	3	
b) 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3	
c) 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	1	2	3	
d) 学習塾に通わせる（家庭教師、通信教育を含む）	1	2	3	
e) お誕生日のお祝いをする	1	2	3	
f) 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3	
g) クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3	
h) 子どもの年齢に合った本を買う	1	2	3	
i) 子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	1	2	3	
j) 子どもにスマートフォンや携帯電話を買う（機種変更を含む）	1	2	3	
k) 子どもが自宅で宿題をすることが出来る場所を用意する	1	2	3	

問 28 あなたのご家庭では、過去1年間において、お子さんと一緒に以下の様な体験をしましたか。ある場合には「1」に○を付けてください。ない場合は、「2」～「5」のうち、その理由としてあてはまるものに○を付けてください。(a~e それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	ある	ない			
		経済的理由	時間の制約	コロナ対策	その他の理由
a) 海水浴やプールに行く	1	2	3	4	5
b) 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4	5
c) キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4	5
d) スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4	5
e) 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4	5

問 29 子どもが心身ともに健やかに成長し、教育の機会が均等に保障され、夢や希望を持って成長することができるようになるために、あなたが最も重要だと思うものを1つ選んでください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 生まれ育った環境に左右されない社会づくり
- 2 国や県、市の支援策
- 3 家庭の経済力
- 4 子ども本人の努力

質問はこれで終わりです。ありがとうございました。

全部答え終わったら、グレー色の小さい封筒に入れて封をした後に、

お子さんの青色の封筒と一緒に大きい茶封筒に入れて、封をして

12月20日(水)までに、近くの郵便ポストに入れてください。

子育てで悩んでいることがあったら話してください

子育て、心や体の発達、学校生活、いじめ、虐待など

子どもに関することで悩んでいませんか。

「ひとりで頑張らなければ!」「完璧にやらなければ!」と思わず、

「大変さ」「しんどさ」を家庭児童相談員に話してみてください。一緒に考えましょう。

場 所：家庭児童相談室（市役所子育て支援課内）※予約不要、来所・電話

電話番号：043-423-0783

日 時：月曜～金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前9時～正午、午後1時～午後5時

もしかしてDV?と思ったら・・・

配偶者やパートナーなど親しい関係にある、またはあったものから受ける

あらゆる形の暴力をDV（ドメスティック・バイオレンス）といいます。

身体的なものだけでなく、精神的なもの（生活費を渡さないなども含む）、

性的なものも含まれ、子どもの前で行われるDVは子どもに対する

“心理的虐待”にあたります。

もし、あなたがDVで苦しんでいるら、迷わず相談してください。

相談は、女性・男性問わず受け付けます。

場 所：市役所子育て支援課 ※予約不要、来所・電話

電話番号：043-388-8100

日 時：月曜～金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前9時～正午、午後1時～午後5時

子どもの権利をご存じですか

子どもにも、大人と同じように「権利」があります。

でも、子どもは自分の意見をまだ上手く伝えられません。

「まだ早い」「わがままになる」などと思わず、

「何が子どもにとって最も良いことなのか」お子さんと一緒に考えてみてください。

四街道市では、子どもの権利を守り、地域みんなで見守っていくために

「四街道市みんなが笑顔のまち子ども条例」を制定しています。

ご協力ありがとうございました。

点線を目安に折って、封筒に入れてください。

■ 中学生の保護者調査票

令和5年度
四街道市子どもの生活状況調査
【中学生の保護者】

▶ この調査は、中学2年生または小学5年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについてお聞きするため、四街道市が実施するものです。調査の結果は、子育て支援や子どもの健全育成等の施策に役立てることを目的としています。

・ 質問は全部で29問あります。回答にかかる時間は約30分です。

・ この調査票は、中学2年生または小学5年生のお子さんの保護者の方にお答えください。なお、両方のお子さんがいらっしゃる保護者の方には、同じ調査票が二通配られる場合もありますが、各調査票は、それぞれのお子さんのことについてお答えいただきますようお願いいたします。

・ お子さんにも同時にアンケートをお願いしていますが、お子さんが自由に回答できるよう、お子さんの回答した調査票は見ないようお願いいたします。

・ この調査票は無記名です。名前を書く必要はありません。答えにくい質問や、答えたくない質問には答えずとも構いません。

・ ご回答は、あてはまる回答の番号に○を付けてください。

▶ ご記入いただいた調査票は、**グレー色の小さい封筒**に入れて封をし、**お子さん用の青色の小さい封筒**（**お子さんが回答済みの調査票をいれ封をしたもの**）と一緒に**大きい茶封筒**に入れて、封をして近くの郵便ポストに入れてください。

・ この調査票は、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

調査担当：四街道市子育て支援課（TEL：043-421-6124）

※ 調査票の開封・集計は、調査会社が行います。

1

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生または中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、**継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方**を含みます。

問1 お子さんとあなたの関係は、以下のどれにあたりますか。**お子さんからみた関係**でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1 母親	2 父親
3 祖父または祖母	4 その他（ ）

問2 お子さんがお住まいの学区を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1 四街道中学校区	2 千代田中学校区
3 旭中学校区	4 四街道西中学校区
5 四街道北中学校区	

問3 お子さんと生計を同一にしているご家族の人数（あなた、お子さんを含む）を教えてください。単身赴任や学業で一時的に世帯を離れている方がいる場合には、含めてお答えください。（人数を記入）

ご家族の人数は？（ ）人 ※あなた、お子さんを含めてお答えください。

問4 前問で回答した「ご家族」の構成を教えてください。**お子さんからみた関係**でお答えください。（あてはまるものすべてに○）（人数を記入）

1 母親	
2 父親	
3 祖父または祖母	
4 兄弟姉妹	
＝ 兄弟姉妹の人数は？（ ）人 ※お子さんを除いてお答えください。	
5 その他	

2

問5 前問で回答した「ご家族」に、次のような方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

1 介護・介助が必要な方（※介護認定の有無は問いません。）
2 障がいを持っている方（※障がい者手帳交付の有無は問いません。）
3 3か月以上、病気治療中の方（※生活習慣病の治療は含みません。）
4 上記のような家族はいない

問6 お子さんと同じ、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1 結婚している（再婚や事実婚を含む）	2 離婚	3 死別	4 未婚	5 わからない	6 いない
---------------------	------	------	------	---------	-------

問7 前問で「2. 離婚」と答えた方は、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの1つに○）

1 取り決めをしており、受け取っている
2 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3 取り決めをしているが、受け取っていない
4 取り決めをしておらず、受け取っていない

問8 お子さんの親が最後に卒業・修了した学校を教えてください。（a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	a) 母親	b) 父親
中学	1	1
高校	2	2
5年制の高等専門学校	3	3
専門学校	4	4
短大	5	5
大学	6	6
大学院	7	7
その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

3

問9 お子さんの親の就労状況を教えてください。（a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約・派遣社員／職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業（家族従業員、内職、フリーランスを含む）	4	4
働いていない（専業主婦／主夫を含む）	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

問10 前問で「5. 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。（a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したいため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

問11 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（a~c それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	まったく 参加して いない	あまり 参加して いない	と ま り ま り 参 加 し て い る	よ く 参 加 し て い る	ま った く 参 加 し て い ない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4	
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどの参加	1	2	3	4	
c) 地域や町内会の行事への参加	1	2	3	4	

4

問 12 あなたとお子さんの関わり方について、以下のようなことにどれくらいあてはまりますか。
(a~n それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまる ことがほとんど ない	あてはまる ことが少ない	あてはまる ことが多い	あてはまる ことがほとんど ない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんと、社会の出来事やニュースの内容について話している	1	2	3	4
d) お子さんが好きで、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
e) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
f) お子さんが勉強する意欲や時間を持てるよう声かけや環境に気を配っている	1	2	3	4
g) お子さん、お子さんの身だしなみや言葉づかいについて話している	1	2	3	4
h) お子さん、友達とのつきあい方や接し方について話している	1	2	3	4
i) お子さん、図書館や美術館などの文化施設に行っている	1	2	3	4
j) お子さんが興味を持った分野の本を買ってあげている	1	2	3	4
k) お子さんに毎日新しいマスクやハンカチを持たせるよう気をつけている	1	2	3	4
l) お子さんの睡眠時間を把握している	1	2	3	4
m) お子さんの食事内容を把握している	1	2	3	4
n) お子さんの夢や希望を応援できている	1	2	3	4

5

問 13 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 保護者の希望	b) 現実的な進路
中学まで	1	1
高校まで	2	2
専門学校まで	3	3
短大または大学まで	4	4
大学院まで	5	5
その他	6	6
まだわからない	7	7

問 14 前問の「b) 現実的な進路」で選んだ答えの一番の理由を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 親（保護者）がそう希望しているから
- 3 一般的な進路だと思うから
- 4 お子さんの学力から考えて
- 5 家庭の経済的な状況から考えて
- 6 その他（ ）

6

問 15 あなたは以下の事柄で頼れる人はいませんか。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 困ったときのお金の援助
頼れる人がいる	1	1
頼れる人がいない	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3

問 16 前問で「1 頼れる人がいる」と答えた場合、それは誰ですか。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 困ったときのお金の援助
家族・親族	1	1
友人・知人	2	2
近所の人	3	3
市役所の相談・支援窓口	4	4
民生委員・児童委員	5	5
民間の相談・支援機関	6	6
その他（ ）	7	7

7

問 17 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※ 令和4年の年間収入についてお答えください。
※ 収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金、遺族年金、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農林漁業等の材料費、営業上の経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利息、不動産収入等、家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く)
- ・その他の収入(仕送り、養育費、借入金、各種祝い金等)

- 1 50万円未満
- 2 50~100万円未満
- 3 100~150万円未満
- 4 150~200万円未満
- 5 200~250万円未満
- 6 250~300万円未満
- 7 300~350万円未満
- 8 350~400万円未満
- 9 400~450万円未満
- 10 450~500万円未満
- 11 500~600万円未満
- 12 600~700万円未満
- 13 700~800万円未満
- 14 800~900万円未満
- 15 900~1000万円未満
- 16 1000万円以上

問 18 あなたは、現在の経済的な状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 苦しい
- 5 大変苦しい

8

問 19 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、お菓子・酒・お茶・コーヒーなどの栄養摂取を目的としない食品や高価な食品は含みません。(あてはまるもの 1 つに○)

1	よくあった
2	ときどきあった
3	まれにあった
4	まったくなかった

問 20 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、経済的な理由で、夏休みや冬休みなどの期間のお子さんの昼食として、栄養バランスを考えた食事を用意できないことがありましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

1	よくあった
2	ときどきあった
3	まれにあった
4	まったくなかった

問 21 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの 1 つに○)

1	よくあった
2	ときどきあった
3	まれにあった
4	まったくなかった

問 22 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、経済的な理由で、以下の料金が未払いになったことがありましたか。(1～5 については、あてはまるものをすべてに○、6 の場合は 1 つに○)

1	電気料金
2	ガス料金
3	水道料金
4	家賃
5	通信費 (スマホ・携帯電話代など)
6	あてはまるものはない

9

問 23 以下の a)～f) の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどうでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも いい	たいてい いい	ときどき いい	少しだけ いい	まったく ない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をやるのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 24 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい幸せだと感じていますか。「5」(とても幸せだ)～「1」(まったく幸せでない)の数字でお答えください。(あてはまる 5～1 の数字 1 つに○)

5	とても幸せだ	～	1	まったく幸せでない
5	4	3	2	1

10

問 25 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(a～e それぞれについて、1～3 のあてはまるもの 1 つに○) また、「3」利用したことがない場合、その理由を教えてください。(a～e それぞれについて、①～⑤のあてはまるもの 1 つに○)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・自立支援センター ※5
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
利用したことがない理由	①	①	①	①	①
制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	②	②	②	②	②
利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	③	③	③	③	③
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	④	④	④	④	④
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

(参考)
 ※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。(四街道市学務課 043-424-8932)
 ※2 生活保護：病気や失業などに伴い生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。(四街道市社会福祉課 043-421-6248)
 ※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方々のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。(四街道市社会福祉協議会くらしサポートセンター「みらい」043-421-3003)
 ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)(四街道市子育て支援課 043-421-6124)
 ※5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。(千葉県母子家庭福祉連合会 043-222-5818、(就業相談専用ダイヤル) 043-225-0608)

11

問 26 あなたのご家庭では、以下の支援をこれまでに利用したことがありますか。(四街道市や市社会福祉協議会が実施するものほか、ボランティア団体等が実施するものを含む) ある場合は「1」に○を付け、利用した場所や団体等の名称を記入してください。(a～d それぞれについて、1～2 のあてはまるもの 1 つに○) また、「2」利用したことがない場合は、今後利用したいと思いますが、(a～d それぞれについて、①～③のあてはまるもの 1 つに○)

	a 子ども食堂等の食事提供場所 ※1	b フードバンクなどの食料支援 ※2	c 支援制度としての宅配弁当 ※3	d 学校以外が実施する無料の学習支援 ※4
利用したことがある	1	1	1	1
利用したことがない	2	2	2	2
利用したい(利用条件がある場合があります) 必要ない または 特に利用したいと思わない	①	①	①	①
利用したいかどうかわからない	②	②	②	②
利用したいかどうかわからない	③	③	③	③

1に○を付けた場合、利用したことがある場所や団体等の名称を以下に記入してください。

利用したことがある 支援を行っている場所や団体等の名称

(参考)
 ※1 子ども食堂：無料または低額で食事を提供している場所。地区社会福祉協議会やボランティア団体等が実施する子ども食堂があります。
 ※2 フードバンク：企業や個人から寄付された食品(食材やレトルト食品、お菓子など)を、必要とする方へ無料で配布する活動。フードコートにも、目まで食品を配達する子ども宅食という形態も。四街道市では個人を対象とした定期的な制度は未実施。
 ※3 支援制度としての宅配弁当：民間企業が実施する有料サービス以外の、支援を必要とする家庭を対象に無料または低額で弁当を配達する活動。四街道市では未実施。
 ※4 無料の学習支援：子育て支援課が実施する「ひとり親家庭等学習支援事業(中学生対象)」、四街道中学校地区社会福祉協議会が実施する「ほのほの学習広場(中学生対象)」、四街道市地域振興財団が実施する「寺子屋(小学生対象)」などがあります。

12

問 27 あなたのご家庭では、お子さんに以下のことをしていますか。している場合には「1」に○を付けてください。していない場合は、ご家庭の方針でしてないものであれば「2」、経済的理由でしてないものであれば「3」に○を付けてください。
(a~k それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	している		していない	
	1	2	3	経済的理由
a) 毎月お小遣いを渡す	1	2	3	
b) 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3	
c) 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	1	2	3	
d) 学習塾に通わせる（家庭教師、通信教育を含む）	1	2	3	
e) お誕生日のお祝いをする	1	2	3	
f) 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3	
g) クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3	
h) 子どもの年齢に合った本を買う	1	2	3	
i) 子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	1	2	3	
j) 子どもにスマートフォンや携帯電話を買う（機種変更を含む）	1	2	3	
k) 子どもが自宅で宿題をすることが出来る場所を用意する	1	2	3	

13

問 28 あなたのご家庭では、過去1年間において、お子さんと一緒に以下の様な体験をしましたか。ある場合には「1」に○を付けてください。ない場合は、「2」～「5」のうち、その理由としてあてはまるものに○を付けてください。(a~e それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	ある	ない			
		経済的理由	時間の制約	コロナ対策	その他の理由
a) 海水浴やプールに行く	1	2	3	4	5
b) 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4	5
c) キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4	5
d) スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4	5
e) 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4	5

問 29 子どもが心身ともに健やかに成長し、教育の機会が均等に保障され、夢や希望を持って成長することができるようになるために、あなたが最も重要だと思うものを1つ選んでください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 生まれ育った環境に左右されない社会づくり
- 2 国や県、市の支援策
- 3 家庭の経済力
- 4 子ども本人の努力

質問はこれで終わりです。ありがとうございました。

全部答え終わったら、グレー色の小さい封筒に入れて封をした後に、

お子さんの青色の封筒と一緒に大きい茶封筒に入れて、封をして

12月20日(水)までに、近くの郵便ポストに入れてください。

14

子育てで悩んでいることがあったら話してください

子育て、心や体の発達、学校生活、いじめ、虐待など

子どもに関することで悩んでいませんか。

「ひとりで頑張らなければ!」「完璧にやらなければ!」と思わず、

「大変さ」「しんどさ」を家庭児童相談員に話してみてください。一緒に考えましょう。

場 所：家庭児童相談室（市役所子育て支援課内）※予約不要、来所・電話

電話番号：043-423-0783

日 時：月曜～金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前9時～正午、午後1時～午後5時

もしかしてDV?と思ったら・・・

配偶者やパートナーなど親しい関係にある、またはあったものから受ける

あらゆる形の暴力をDV（ドメスティック・バイオレンス）といいます。

身体的なものだけでなく、精神的なもの（生活費を渡さないなども含む）、

性的なものも含まれ、子どもの前で行われるDVは子どもに対する

“心理的虐待”にあたります。

もし、あなたがDVで苦しんでいたら、迷わず相談してください。

相談は、女性・男性問わず受け付けます。

場 所：市役所子育て支援課 ※予約不要、来所・電話

電話番号：043-388-8100

日 時：月曜～金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前9時～正午、午後1時～午後5時

子どもの権利をご存じですか

子どもにも、大人と同じように「権利」があります。

でも、子どもは自分の意見をまだ上手く伝えられません。

「まだ早い」「わがままになる」などと思わず、

「何が子どもにとって最も良いことなのか」お子さんと一緒に考えてみてください。

四街道市では、子どもの権利を守り、地域みんなで見守っていくために

「四街道市みんなが笑顔のまち子ども条例」を制定しています。

15

ご協力ありがとうございました。

点線を目安に折って、封筒に入れてください。

小学生調査票

れいわ ねんど
令和5年度

よつかいどうしこ せいけつじほくちようま
四街道市子どもの生活状況調査

しょうがくせい
【小学生】

- これは、子どもの生活の様子などを調べるための調査です。四街道市が実施しています。
- この調査票の回答は、あなたが自分で書いてください。安心して答えられるよう、おうちの人や学校の先生には見せないでください。
- 質問は全部で27問です。回答にかかる時間はいいたい30分です。
- 名前は書かないでください。
- 自分の思ったおりの答えを書いてください。間違った答えや、正しい答えはありません。
- 答えにくい質問や、答えたくない質問には答えなくても大丈夫です。
- 答えは、あてはまるものに○をつけてください。○のつけ方は、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにたがってください。
- 全部書き終わったら、自分で青色の小さい封筒に入れて、シールをはがしてしてから、おうちの人に渡してください。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。また、この調査票は名前を書かないので、あなたがどのように答えたかは誰にもわかりません。調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

らうまかんとく よつかいどうしこたか しそくま
調査担当：四街道市子育て支援課 (TEL: 043-421-6124)

※ 調査票の开封・集計は、調査会社が行います。

1

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 男
2 女
3 その他(答えない)

問2 あなたの身長と体重を教えてください。(□の中に書いてください。)

身長 □ センチ 体重 □ キログラム

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※ 勉強には、学校の宿題も含みます。
(1～8については、あてはまるものすべてに○、9の場合は1つに○)

1 自分で勉強する
2 塾で勉強する
3 学校の補習を受ける
4 家庭教師に教えてもらう
5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
6 家の人に教えてもらう
7 友達と勉強する
8 その他
9 学校の授業以外で勉強しない

2

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日にどれくらいの時間、勉強しますか。
※ 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含まれます。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分ほど少ない	1時間ほど少ない	30分ほど多い	1時間以上	2時間以上	3時間以上
a) 学校がある日(月曜日～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	

問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 上のほう
2 少し上のほう
3 まん中くらい
4 少し下のほう
5 下のほう
6 わからない


3

問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 いつもわかる
2 だいたいわかる
3 教科によってはわからないことがある
4 わからないことが多い
5 ほとんどわからない

問7 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人におきます。
いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

1 1・2年生のころ
2 3年生のころ
3 4年生のころ
4 5年生になってから



4

問8 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。まだ決まっていなくても、あせる必要はありません。その場合は、なんとなく考えている希望が、「7 まだわからない」と答えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 中学まで
2 高校まで
3 専門学校まで
4 短大または大学まで
5 大学院まで
6 その他
7 まだわからない →問10に選んでください。

問9 前の質問で1～6と答えた人にお聞きします。そう考える理由を教えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○、9の場合は1つに○)

1 希望する学校や職業があるから
2 自分の成績から考えて
3 親がそう言っているから
4 兄・姉がそうしているから
5 まわりの先輩や友達がそうしているから
6 家にお金がないと思うから
7 働く必要があるから
8 その他
9 どの理由もない

問10 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 持っている
2 どちらかといえば、持っている
3 どちらかといえば、持っていない
4 持っていない

5

問11 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

1 参加している →問13に選んでください。
2 参加していない

問12 前の質問で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 入りたいクラブ・部活動がないから
2 塾や習い事が忙しいから
3 お金がかかるから
4 家の事情(家族のお世話、家事など)があるから
5 一緒にいる友達がないから
6 その他

問13 あなたは、習い事(スポーツや楽器のレッスン、英会話など)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 している
2 していない

問14 あなたは、ふだんどこでどれくらい読書をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	週7日 (週7日 の 毎日 読む)	週5 ～ 6日 読む	週3 ～ 4日 読む	週1 ～ 2日 読む (ほとんども 読まない)
a) 小説	1	2	3	4
b) 文芸	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の読書	1	2	3	4

6

問15 あなたは、給食以外の食事で、以下の食物をふだんどれくらい食べていますか。(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	週7日 (毎日 食べる)	週5 ～ 6日 読む	週3 ～ 4日 読む	週1 ～ 2日 読む (ほとんども 読まない)
a) お米・パン・シリアル	1	2	3	4
b) 野菜	1	2	3	4
c) くだもの	1	2	3	4
d) 肉が魚	1	2	3	4
e) カップめん・インスタントめん	1	2	3	4
f) コンビニのおにぎり・お弁当	1	2	3	4
g) お菓子	1	2	3	4

問16 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)同じ時間に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 いつも同じような時間に寝ている
2 どちらかといえば同じような時間に寝ている
3 どちらかといえば寝る時間は決まっていない
4 寝る時間はとくに決まっていない

7

問17 あなた自身のことについて、以下の1～10の中で、あてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1 誕生日には、プレゼントをもらったり、家族でお祝いをしたりしている
2 クリスマスには、プレゼントをもらう
3 お正月には、お年玉をもらう
4 家族とすごして「楽しい」と感じる時がある
5 帰ったときには、親(または一緒に住んでいる大人)は助けてくれる
6 自分の夢を親(または一緒に住んでいる大人)は応援してくれる
7 がんばったときや、きちんとできたときは、親(または一緒に住んでいる大人)はほめてくれる
8 悩みを相談できる人がいる
9 夢や希望を持っている
10 友達を「うらやましい」と思うことはない

問18 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○、10～11の場合は1つに○)

1 親
2 きょうだい
3 お祖父さん、お祖母さんなど
4 学校の先生
5 学校の友達
6 学校以外の友達
7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
8 その他の大人(ごきょうろームの人、塾・習い事の先生、地域の人など)
9 ネットで知り合った人
10 誰にも相談できない
11 相談したくない

8

問 19 あなたは、今の生活をどのくらい幸せに感じますか。
「5」（とても幸せだ）～「1」（まったく幸せでない）の数字で答えてください。
（あてはまる5～1の数字 1つに○）

5 とても幸せだ		～		1 まったく幸せでない
5	4	3	2	1



9

問 21 あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。いくつあてはまるかを答えてください。
（0～8のうち、あてはまるもの 1つに○）

- a あなたが、一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、身体を傷つけられると思ふような行動や態度をされることがある
- b あなたが、一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、けられる、物を投げつけられることがある。または、いけをするほど強くなられたことがある
- c あなたは、自分が家族の誰からも愛されていない、大切にされていない、愛してもらえていないと感じることがある
- d あなたは、必要な賞状や褒めをもらえないことがある。または、自分を誇ってくれる人は誰もいないと感じることがある
- e あなたの両親が、別言または離婚をしたことがある
- f 一緒に住んでいる人が、誰かに押される、つかまれる、けられることがある。または、くり返しなぐられる、刃物などでおどされたことがある
- g 一緒に住んでいる人が、お酒や麻薬などのせいで自分の生活や人間関係を悪くするような行動や態度をしたことがある
- h 一緒に住んでいる人が、うつ病やその他の心の病気になることがあった。または、自殺しようとしたことがある

- 0 ひとつもあてはまらない（0個）
- 1 1個あてはまる
- 2 2個あてはまる
- 3 3個あてはまる
- 4 4個あてはまる
- 5 5個あてはまる
- 6 6個あてはまる
- 7 7個あてはまる
- 8 すべてあてはまる（8個）

※ 上のようなことをされたり、思い出したりして、つらい気持ちになったときは、家庭児童相談室（043-423-0783）や、学校のスクールカウンセラー、「チャイルドライン」（フリーダイヤル：0120-99-7777）に話してみてください。

11

問 20 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれから答えてください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がくだらないと感じたり、意味がないと感じたりしたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのご半年（6ヶ月）のことを考えて答えてください。（a～o それぞれについて、あてはまるもの 1つに○）

	とてもあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	とてもあてはまる
a) 私は、他の人に親切にするようにしている。私は、他の人の気持ちをよく考える	1	2	3	
b) 私は、よく顔やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする	1	2	3	
c) 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）	1	2	3	
d) 私は、だいたいいつも一人でいる。一人で遊んだり、他の人を避けたりすることが多い	1	2	3	
e) 私は、心配することが多く、いつも不安だ	1	2	3	
f) 私は、誰かが悲しんでいたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしていたりするときは、進んで助ける	1	2	3	
g) 私は、仲のよい友達が多く、いつも一人はいる	1	2	3	
h) 私は、落ち込んでいたり、泣きまわることがよくある	1	2	3	
i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている	1	2	3	
j) 私は、新しいことを始めようとするとき不安になり、自信を失いやすい	1	2	3	
k) 私は、半分の子どもたちに嫌われている	1	2	3	
l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする	1	2	3	
m) 私は、自分から進んでよく手伝いをする（朝・学校の先生・他の子どもたちに対してなど）	1	2	3	
n) 私は、他の子どもたちと比べると、大人というほうが楽しい	1	2	3	
o) 私は、補償で、すぐにお金が返ってくる	1	2	3	

10

問 22 あなたは、以下の a～d のような場所を利用したことがありますか。利用したことはない場合、今後利用したいと思えますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの 1つに○）

	利用したことがある	利用したことはない		
		あてはまらない と思わない	あてはまる と思わない	あてはまる と思いたい
a) (自分や友達の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (こどもルームや放課後等デイサービス、放課後子ども教室、児童センター、プレーパークなど)	1	2	3	4
b) (自分や友達の家以外で) 食事や飲み物を安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
c) (家や学校以外で) 勉強を無料で教えてくれる場所 (公民館で行う寺子屋など)	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)	1	2	3	4

問 23 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた人にお問します。そこを利用することで、以下のような変化がありましたか。
（1～8については、あてはまるものすべてに○、9の場合は、1つに○）

- 1 友達が増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しいことが増えた
- 4 ほどできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事を食べられることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 ほとんど変化はない

12

問 24 あなたは、ふだん（月曜日～日曜日）大人の人に代わって、家族のお世話や家事をしていますか。している場合、誰のお世話をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

1	していない → 問 27 に記入してください。
2	親
3	きょうだい
4	お祖父さん、お祖母さん
5	その他

問 25 前の質問で2～5と答えた人にお聞します。どのようなお世話をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1	家事（食後の準備や掃除、洗濯）
2	きょうだいのお世話や保育所などへの送り迎え
3	お風呂やトイレのお世話
4	外出の付き添い（買い物、散歩など）
5	病後の付き添い
6	ぐちを聞いたり、話し相手になるなど
7	見守り
8	通訳（日本語や手話）
9	お金の管理
10	薬の管理
11	その他

問 26 問 24 で2～5と答えた人にお聞します。どれくらいお世話していますか。（あてはまるもの1つに○）

1	ほぼ毎日
2	週に3～5日
3	週に1～2日
4	1か月に数日
5	その他

問 27 あなたは、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合には「1」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2」、いらぬと思うものであれば「3」に○をつけてください。（a～m それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	ある		ない	
	1	2	ほしくない	いらぬ
a) 自分だけの本（学校の教科書やマンガは除く）	1	2	3	
b) 自分の部屋（きょうだいと使っている場合も含まれます）	1	2	3	
c) 家の中で使える、インターネットにつながるパソコン	1	2	3	
d) 家の中で宿題をすることができる場所	1	2	3	
e) 自分専用の勉強机	1	2	3	
f) スポーツの道具（野球のグローブや、サッカーボールなど）	1	2	3	
g) ゲーム機	1	2	3	
h) 多くの友達を持っているおもちゃ	1	2	3	
i) 自転車	1	2	3	
j) おやつや、おもちゃを買うおごっこ	1	2	3	
k) 友達が集まっていると聞いたら、一緒に行く	1	2	3	
l) 2足以上のサイズの合った靴	1	2	3	
m) ほしい電話、スマートフォン	1	2	3	

質問はこれで終わりです。ありがとうございました。

全部答え終わったら、この調査票を青色の小さい封筒に入れて

シールをはがしてとじてから、おうちの大人に渡してください。

「子ども食堂」ってどんなところ？
 国街道市には、いくつかの「子ども食堂」があります。
 無料や安い料金で食事ができ、
 家とも学校とも違う、なんだか楽しい場所。
 行ってみたいと思ったら、学校の先生や
 おうちの大人に聞いてみてください。



家事や家族のお世話をひとりでごんばっていませんか？
 あなたがもし、勉強する時間が持てなかったり、自分のやりたいことを
 ずっとがまんしているのなら、学校の先生やまわりの大人に教えて
 ください。はずかしいことはありません。あなたの話をじっくり
 聞きたい、あなたを褒めたいと思っている大人が必ずいます。

チャイルドライン
 あなたがもし、つらいことや誰にも相談できないことがあったら、
 「チャイルドライン」に電話してみてください。
 （電話代はかかりません）
 電話番号：0120-99-7777
 つながる時間：午後4時～午後9時（毎日）
 ○ひみつは守るよ
 ○どんなことも、一緒に考えよう
 ○名前や住所は言わなくていい
 ○切りたいときに、切ってもいい



18 さいまでの子どもがつながる
チャイルドライン。

ありがとうございます。
 点線のところで折って、
 封筒に入れてください。



■ 中学生調査票

れいわ ねんど
令和5年度

よつかいどうしこ せいけつじほくちようま
四街道市子どもの生活状況調査

ちゅうがくせい
【中学生】

- これは、子どもの生活の様子などを調べるための調査です。四街道市が実施しています。
- この調査票の回答は、あなたが自分で書いてください。安心して答えられるよう、おうちの人や学校の先生には見せないでください。
- 質問は全部で27問です。回答にかかる時間はいずれも30分です。
- 名前は書かないでください。
- 自分の思うとおりの答えを書いてください。間違った答えや、正しい答えはありません。
- 答えにくい質問や、答えたくない質問には答えなくても大丈夫です。
- 答えは、あてはまるものに○をつけてください。○のつけ方は、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにたがってください。
- 全部書き終わったら、自分で青色の小さい封筒に入れて、シールをはがしてしてから、おうちの人に渡してください。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。また、この調査票は名前を書かないので、あなたがどのように答えたかは誰にもわかりません。調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

調査担当：四街道市子育て支援課 (TEL：043-421-6124)

※ 調査票の开封・集計は、調査会社が行います。

1

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1 男

2 女

3 その他(答えたくない)

問2 あなたの身長と体重を教えてください。(□の中に書いてください。)

身長 □ センチ 体重 □ キログラム

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※ 勉強には、学校の宿題も含みます。
(1～8については、あてはまるものすべてに○、9の場合は1つに○)

1 自分で勉強する

2 塾で勉強する

3 学校の補習を受ける

4 家庭教師に教えてもらう

5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する

6 家の人に教えてもらう

7 友達と勉強する

8 その他

9 学校の授業以外で勉強しない

2

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日にどれくらいの時間、勉強しますか。
※ 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含まれます。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分～1時間以上	1時間より少ない	1時間以上	2時間以上	3時間以上
a) 学校がある日(月曜日～金曜日)	1	2	3	4	5	6		
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6		

問5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 上のほう

2 少し上のほう

3 まん中くらい

4 少し下のほう

5 下のほう

6 わからない

3

問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 いつもわかる

2 だいたいわかる

3 教科によってはわからないことがある

4 わからないことが多い

5 ほとんどわからない

問7 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。
いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)


1 小学1・2年生のころ

2 小学3・4年生のころ

3 小学5・6年生のころ

4 中学1年生のころ

5 中学2年生になってから



4

問8 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。まだ決まっていなくても、あせる必要はありません。その場合は、なんとなく考えている希望が、「7 まだわからない」と答えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学まで
- 2 高校まで
- 3 専門学校まで
- 4 短大または大学まで
- 5 大学院まで
- 6 その他
- 7 まだわからない →問10に記入してください。

問9 前の質問で1～6と答えた人にお聞きします。そう考える理由を教えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○、9の場合は1つに○)

- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達にそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 働く必要があるから
- 8 その他
- 9 どの理由もない

問10 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 持っている
- 2 どちらかといえば、持っている
- 3 どちらかといえば、持っていない
- 4 持っていない

5

問11 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 参加している →問13に記入してください。
- 2 参加していない

問12 前の質問で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 入りたいクラブ・部活動がないから
- 2 塾や習い事が忙しいから
- 3 お金がかかるから
- 4 家の事情(家族のお世話、家事など)があるから
- 5 一緒にいる友達がないから
- 6 その他

問13 あなたは、習い事(スポーツや楽器のレッスン、英会話など)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 している
- 2 していない

問14 あなたは、ふだんどこでどれくらい読書をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	週7日 (週7日 の 毎日)	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日 (ほとんども 読まない)
a) 朝読	1	2	3	4
b) 夕読	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の読書	1	2	3	4

6

問15 あなたは、給食以外の食事で、以下の食物をふだんどれくらい食べていますか。(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	週7日 (週7日 の 毎日)	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日 (ほとんども 食べない)
a) お米・パン・シリアル	1	2	3	4
b) 野菜	1	2	3	4
c) くだもの	1	2	3	4
d) 肉が魚	1	2	3	4
e) カップめん・インスタントめん	1	2	3	4
f) コンビニのおにぎり・お弁当	1	2	3	4
g) お菓子	1	2	3	4

問16 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)同じ時間に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつも同じような時間に寝ている
- 2 どちらかといえば同じような時間に寝ている
- 3 どちらかといえば寝る時間は決まっていない
- 4 寝る時間はとくに決まっていない

7

問17 あなた自身のことについて、以下の1～10の中で、あてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 誕生日には、プレゼントをもらったり、家族でお祝いをしたりしている
- 2 クリスマスには、プレゼントをもらう
- 3 お正月には、お年玉をもらう
- 4 家族とすごして「楽しいと感じる」ときがある
- 5 帰ったときには、親(または一緒に住んでいる大人)は助けてくれる
- 6 自分の夢を親(または一緒に住んでいる大人)は応援してくれる
- 7 がんばったときや、きちんとできたときは、親(または一緒に住んでいる大人)はほめてくれる
- 8 悩みを相談できる人がいる
- 9 夢や希望を持っている
- 10 友達を「うらやましい」と思うことはない

問18 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○、10～11の場合は1つに○)

- 1 親
- 2 きょうだい
- 3 お祖父さん、お祖母さんなど
- 4 学校の先生
- 5 学校の友達
- 6 学校以外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 その他の大人(塾、習い事の先生、地域の大人など)
- 9 ネットで知り合った人
- 10 誰にも相談できない
- 11 相談したくない

8

問 19 あなたは、今の生活をどのくらい幸せに感じますか。
「5」（とても幸せだ）～「1」（まったく幸せでない）の数字で答えてください。
（あてはまる5～1の数字1つに○）

5 とても幸せだ		～		1 まったく幸せでない
5	4	3	2	1



9

問 20 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれから答えてください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がくだらなく感じたり、意味がないと感じたりしたとしても、自分の質問に答えてください。あなたのご卒業（5）のことを考えて答えてください。（a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	とてもあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	とてもあてはまる
a) 私は、他の人に親切にするようにしている。私は、他の人の気持ちをよく考える	1	2	3	
b) 私は、よく顔やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする	1	2	3	
c) 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）	1	2	3	
d) 私は、だいたいいつも一人でいる。一人で遊んだり、他の人を避けてたりすることが多い	1	2	3	
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ	1	2	3	
f) 私は、誰かが悲しんでいたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしていたりするときは、進んで助ける	1	2	3	
g) 私は、仲のよい友達がなくとも一人はいる	1	2	3	
h) 私は、落ち込んでいたり、泣きまわったりすることがよくある	1	2	3	
i) 私は、同じく5歳の児童の子どもからは、だいたい好かれている	1	2	3	
j) 私は、新しいことを始めようとするとき不安になり、自信を失いやすい	1	2	3	
k) 私は、5歳の子どもたちに優しくしている	1	2	3	
l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする	1	2	3	
m) 私は、自分から進んでよくお手伝いをする（朝・学校の先生・他の子どもたちに対してなど）	1	2	3	
n) 私は、他の子どもたちといるより、一人というほうが楽しい	1	2	3	
o) 私は、補償で、すぐにおびえたりする	1	2	3	

10

問 21 あなたは今までに、以下の a～h のようなことがありましたか。いくつあてはまるかを答えてください。（0～8のうち、あてはまるもの1つに○）

- a あなたが、一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、身体を傷つけられると思われる行動や態度をされることがある
- b あなたが、一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、けられる、物を投げつけられることがある。または、いけをするほど強くなられたことがある
- c あなたは、自分が家族の誰からも愛されていない、大切にされていない、愛してもらえていないと感じることがある
- d あなたは、必要な賞状や褒めをもらえないことがある。または、自分を誇ってれる人は誰もいないと感じることがある
- e あなたの両親が、別居または離婚をしたことがある
- f 一緒に住んでいる人が、誰かに押される、つかまれる、けられることがある。または、くり返しなぐられる、刃物などでおどされたことがある
- g 一緒に住んでいる人が、お酒や麻薬などのせいで自分の生活や人間関係を悪くするような行動や態度をしたことがある
- h 一緒に住んでいる人が、うつ病やその他の心の病気になることがあった。または、自殺しようとしたことがある

0	ひとつもあてはまらない（0個）
1	1個あてはまる
2	2個あてはまる
3	3個あてはまる
4	4個あてはまる
5	5個あてはまる
6	6個あてはまる
7	7個あてはまる
8	すべてあてはまる（8個）

※ 上のようなことをされたり、思い出したりして、つらい気持ちになったときは、家庭児童相談室（043-423-0783）や、学校のスクールカウンセラー、「チャイルドライン」（フリーダイヤル：0120-99-7777）に話してみてください。

11

問 22 あなたは、以下の a～d のような場所を利用したことがありますか。利用したことはない場合、今後利用したいと思えますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	利用したことはない場合			
	利用したことはない （思いや りがない）	あてはまる 利用したい	利用したことはない （思いや りがない） 今後でも 利用したい	今後利用 したいか （思いや りがない）
a) (自分や友達の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所（放課後等サービス、児童センター、プレーパークなど）	1	2	3	4
b) (自分や友達の家以外で)賞状を無料または安く食べることができる場所（子ども食堂など）	1	2	3	4
c) (家や学校以外で)勉強を無料で教えてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で)荷でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）	1	2	3	4

問 23 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた人にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（1～8については、あてはまるものすべてに○、9の場合は、1つに○）

- 1 友達が増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみが増えた
- 4 ぼーてる時間が増えた
- 5 栄養のある賞状を食べられることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 ほとんど変化はない

12

問 24 あなたは、ふだん（月曜日～日曜日）大人の人に代わって、家族のお世話や家事をしていますか。している場合、誰のお世話をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

1	していない → 問 27 に答えてください。
2	親
3	きょうだい
4	お祖父さん、お祖母さん
5	その他

問 25 前の質問で2～5と答えた人にお聞きます。どのようなお世話をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1	家事（食後の準備や掃除、洗濯）
2	きょうだいのお世話や保育所などへの送り迎え
3	お風呂やトイレのお世話
4	外出の付き添い（買い物、散歩など）
5	病後の付き添い
6	ぐちを聞いたり、話し相手になるなど
7	見守り
8	通訳（日本語や手話）
9	お金の管理
10	薬の管理
11	その他

問 26 問 24 で2～5と答えた人にお聞きます。どれくらいお世話していますか。（あてはまるもの1つに○）

1	ほぼ毎日
2	週に3～5日
3	週に1～2日
4	1か月に数日
5	その他

問 27 あなたは、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合には「1」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2」、いらぬと思うものであれば「3」に○をつけてください。（a～m それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	ある		ない	
	1	2	ほしくない	いらぬ
a) 自分だけの本（学校の教科書やマンガは除く）	1	2	3	
b) 自分の部屋（きょうだいと使っている場合も含まれます）	1	2	3	
c) 家の中で使える、インターネットにつながるパソコン	1	2	3	
d) 家の中で宿題をすることができる場所	1	2	3	
e) 自分専用の勉強机	1	2	3	
f) スポーツの道具（野球のグローブや、サッカーボールなど）	1	2	3	
g) ゲーム機	1	2	3	
h) 多くの友達が持っているおもちゃ	1	2	3	
i) 自転車	1	2	3	
j) おやつや、おもちゃを買うおごっこ	1	2	3	
k) 友達が集まっていると聞いたら、一緒に行く	1	2	3	
l) 2足以上のサイズの合った靴	1	2	3	
m) ほしい電話、スマートフォン	1	2	3	

質問はこれで終わりです。ありがとうございました。

全部答え終わったら、この調査票を青色の小さい封筒に入れて

シールをはがしてとじてから、おうちの大人に選んでください。

「子ども食堂」ってどんなところ？
 国街道市には、いくつかの「子ども食堂」があります。
 無料や安い料金で食事が出て、
 家とも学校とも違う、なんだか楽しい場所。
 行ってみたいと思ったら、学校の先生や
 おうちの大人に聞いてみてください。



家事や家族のお世話をひとりでごんばっていませんか？
 あなたがもし、勉強する時間が持てなかったり、自分のやりたいことを
 ずっとがまんしているのなら、学校の先生やまわりの大人に教えて
 ください。はずかしいことはありません。あなたの話をじっくり
 聞きたい、あなたを笑えたいと思っている大人が必ずいます。

チャイルドライン
 あなたがもし、つらいことや誰にも相談できないことがあったら、
 「チャイルドライン」に電話してみてください。
 （電話代はかかりません）
 電話番号：0120-99-7777
 つながる時間：午後4時～午後9時（毎日）
 ○ひみつは守るよ
 ○どんなことも、一緒に考えよう
 ○名前や住所は言わなくていい
 ○切りたいときに、切ってもいい



18 さいまでの子どもがつながる
チャイルドライン。

ありがとうございます。
 点線のところで折って、
 封筒に入れてください。



四街道市子どもの生活状況調査 調査結果報告書

四街道市

発行日 令和6年3月

発行者 四街道市健康こども部子育て支援課

住 所 〒284-8555 四街道市鹿渡無番地

TEL 043-421-6124 FAX 043-424-2011

